

湖西市
子ども・子育て支援事業に関する
アンケート調査報告書

平成 31 年 3 月
静岡県 湖西市

目 次

第1章 調査実施の概要	3
1 調査の目的.....	3
2 調査の設計.....	3
3 調査票の配布と回収状況.....	4
4 報告書の見方について.....	4
(1) 年齢・学年の定義.....	4
(2) 電算処理の注意点.....	4
(3) グラフの見方について.....	5
5 低所得層（所得層Ⅰ）の算出について.....	5
6 調査対象者の属性・家族状況.....	6
(1) 居住地域.....	6
(2) 就学前児童の属性.....	6
(3) 小学生の属性.....	7
(4) 調査回答者の状況と配偶者の有無.....	7
(5) 調査対象者の年齢・学年.....	8
(6) 世帯状況.....	9
(7) 住まいの状況.....	9
7 低所得世帯基準への該当状況.....	10
8 世帯の家計の状況.....	10
(1) 世帯員の内訳.....	10
(2) 世帯の年間収入.....	11
9 調査結果からみた課題・分析.....	12
第2章 子育て家庭を取り巻く環境	19
1 子育ての環境について.....	19
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況.....	19
(2) 子育てに関する相談者の状況.....	22
(3) 子どもの携帯電話／スマートフォンの所持.....	22
2 保護者の就労状況.....	23
(1) 母親の就労状況.....	23
(2) 父親の就労状況.....	28

第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望	33
1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望	33
(1) 平日の定期的な教育・保育事業.....	33
(2) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用の理由.....	34
2 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望	40
(1) 土曜と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望.....	40
(2) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望.....	43
3 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用希望.....	45
(1) 地域の子育て支援拠点事業の利用状況.....	45
(2) 今後の利用意向.....	47
(3) 子育て支援事業の周知度・利用状況と今後の利用意向について	48
4 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ.....	50
(1) 病気やケガで保育所や幼稚園が利用できない時の対処について	50
5 不定期の一時保育の利用について.....	55
(1) 不定期に利用している教育・保育事業の状況.....	55
(2) 宿泊を伴う一時保育の利用状況.....	59
6 放課後の過ごし方について	61
(1) 平日の放課後の過ごし方について	61
(2) 土曜日と日曜日・祝日、長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望.....	71
第4章 育児休業制度の利用状況等	77
1 育児と仕事の両立支援制度について	77
(1) 国の両立支援制度の認知状況.....	77
(2) 育児休業制度の利用状況.....	77
(3) 育児休業取得後の職場復帰の状況	79
(4) 短時間勤務制度の利用状況	82
(5) 育児休業取得期間の希望.....	84
2 子育ての環境や支援への満足度	85
(1) 地域の子育て環境や支援への満足度	85
(2) 子育ての悩みや不安	86
(3) 行政に期待する支援について	88
第5章 子どもの居場所について	95
1 子どもへの支援活動について	95

第6章 子ども・子育て支援に関する自由意見	101
1 就学前児童の保護者の自由意見	101
2 小学生の保護者の自由意見	107
資料編	113
1 就学前児童の調査票	113
2 小学生の調査票	119

第1章

調査実施の概要

第1章 調査実施の概要

1 調査の目的

本市では「子ども・子育て支援法」に基づき、全ての子どもや子育て家庭が健やかに成長することができる社会の実現を目指して、平成27年3月に「湖西市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、様々な子育て支援事業に取り組んでいますが、本計画が平成27年度から31年度までの5か年計画であることから、2020年度を始期とする第2期計画の策定を予定しています。

第2期計画策定にあたり、必要な情報を得るため、子育て家庭ニーズの動向分析等を行い、市の現状と今後の子ども・子育て支援における課題を整理することを目的としたアンケート形式によるニーズ調査を実施しました。

2 調査の設計

調査票は調査対象者別に作成しており、各調査の件数および調査期間・方法は、以下のとおりです。

なお、「未就学児童」は、報告書内において「就学前児童」と記載しています。

■ 調査票の種類と調査対象者及び調査の実施方法

①調査票「湖西市の子ども・子育て支援に関するアンケート調査【就学前児童保護者用】」	
調査対象者	平成30年11月1日現在、湖西市に在住の就学前児童を持つ保護者
調査票配布数	2,018人
調査期間	平成30年12月6日～平成30年12月21日
調査方法	郵送方式による配布・回収
②調査票「湖西市の子ども・子育て支援に関するアンケート調査【小学生保護者用】」	
調査対象者	平成30年11月1日現在、湖西市に在住の小学生を持つ保護者 (無作為抽出)
調査票配布数	1,000人
調査期間	平成30年12月6日～平成30年12月21日
調査方法	郵送方式による配布・回収

3 調査票の配布と回収状況

調査によるそれぞれの配布・回答状況は、以下のとおりです。

■ 調査票の配布・回収状況

調査対象者	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
就学前児童の保護者	2,018	961	47.6
小学生の保護者	1,000	419	41.9

4 報告書の見方について

(1) 年齢・学年の定義

就学前児童・小学生の年齢定義は、アンケート調査において誕生日の年月を回答しているため、下表による年齢区分により集計を行いました。

年齢区分	該当する生年月	年齢区分	該当する生年月
0歳児	平成29年4月以降	6歳児	平成23年4月～平成24年3月
1歳児	平成28年4月～平成29年3月	7歳児	平成22年4月～平成23年3月
2歳児	平成27年4月～平成28年3月	8歳児	平成21年4月～平成22年3月
3歳児	平成26年4月～平成27年3月	9歳児	平成20年4月～平成21年3月
4歳児	平成25年4月～平成26年3月	10歳児	平成19年4月～平成20年3月
5歳児	平成24年4月～平成25年3月	11歳児	平成18年4月～平成19年3月

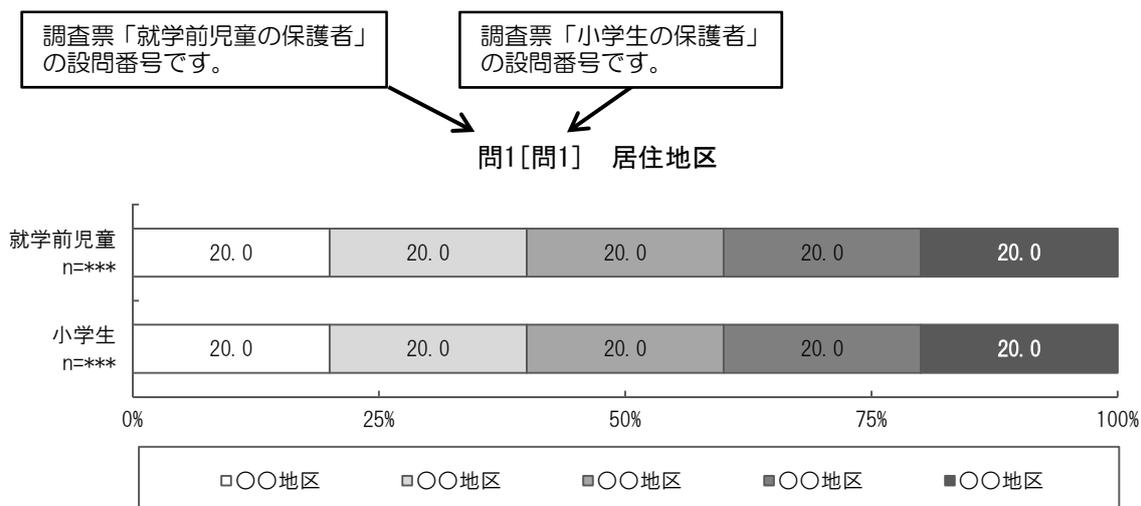
(注) 調査期間【平成30年度】における年齢定義

(2) 電算処理の注意点

調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。なお、基数となる実数は「n」として掲載し、各グラフや表の比率は「n」を母数とした割合を示しています。

また、複数回答が可能な設問では、各項目の割合の合計が100%を超える場合があります。

(3) グラフの見方について



5 低所得層（所得層Ⅰ）の算出について

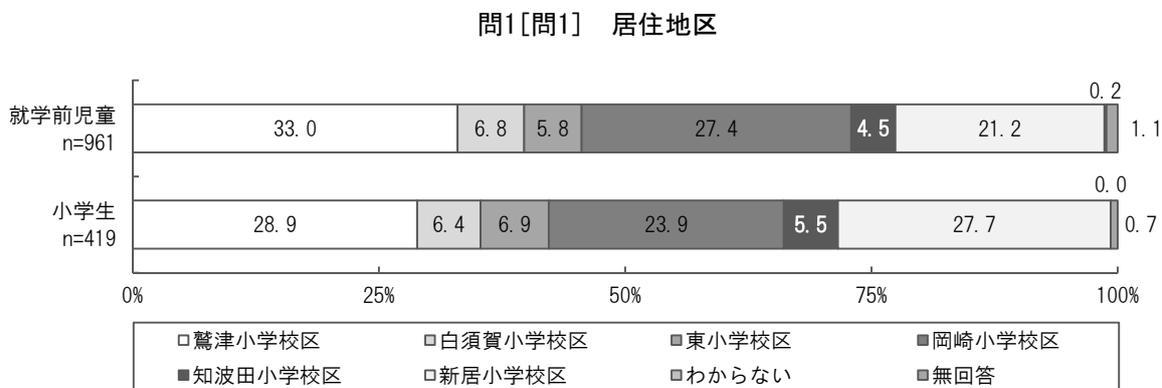
等価可処分所得（世帯の可処分所得【いわゆる手取り収入】を世帯人数の平方根で割り調整した所得）の中央値である122万円未満を貧困層とし、全体に占める貧困の割合を算出しました。

本報告書では、基準値122万を下回る世帯を所得層Ⅰ、上回る世帯を所得層Ⅱとしています。

6 調査対象者の属性・家族状況

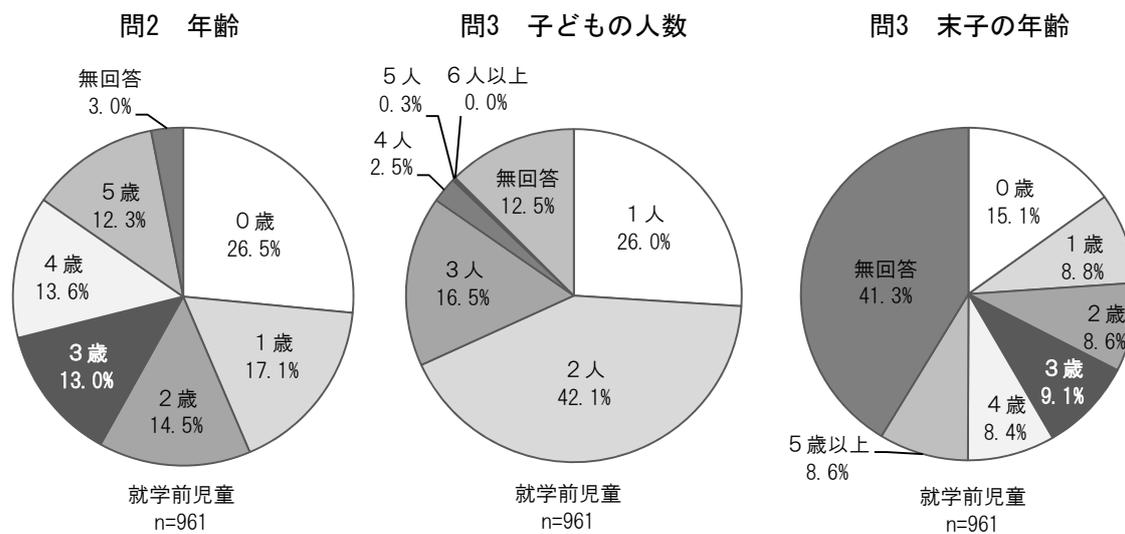
(1) 居住地域

○調査対象者別の回答者の居住地区は、以下のとおりです。



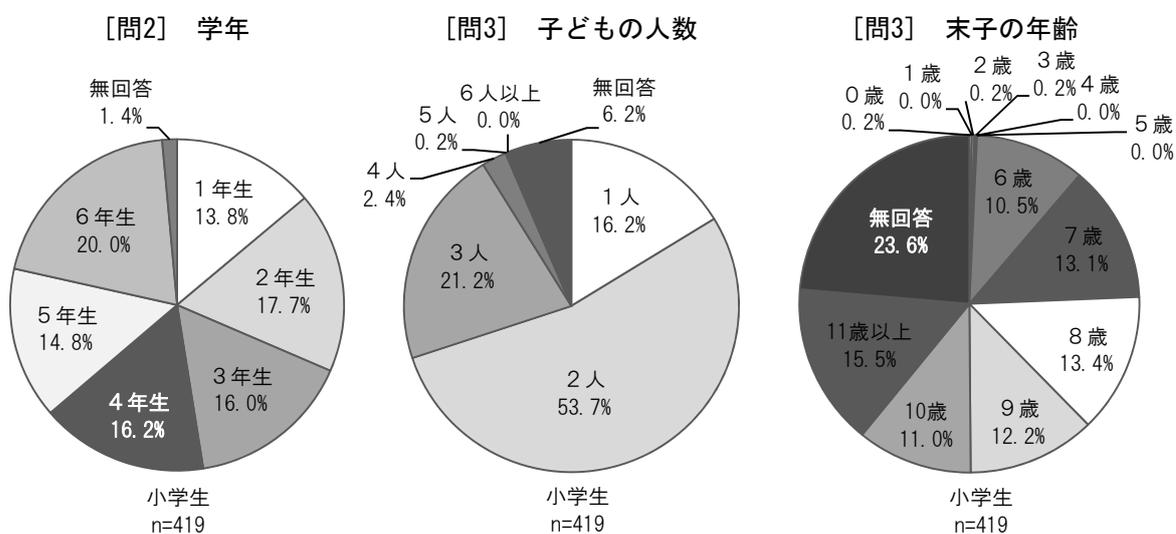
(2) 就学前児童の属性

○回答された961人の就学前児童の属性は、以下のとおりです。



(3) 小学生の属性

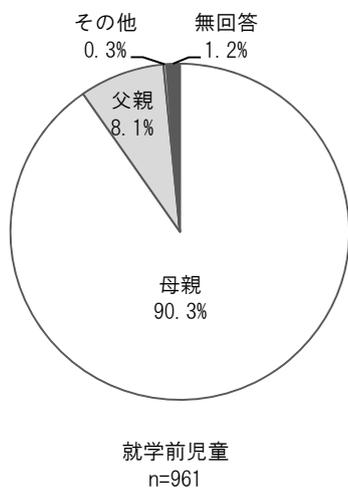
○回答された419人の小学生の属性は、以下のとおりです。



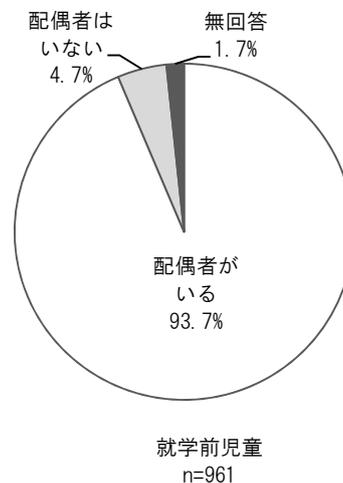
(4) 調査回答者の状況と配偶者の有無

○この調査の回答者は、以下のとおりです。

問4 調査回答者（就学前児童）

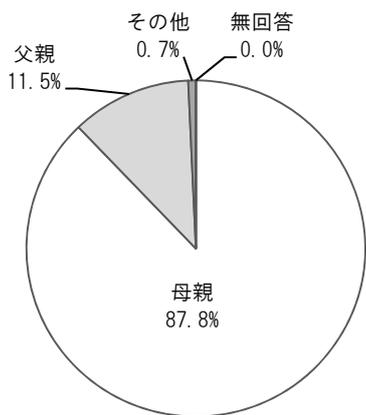


問5(1) 配偶者の有無（就学前児童）





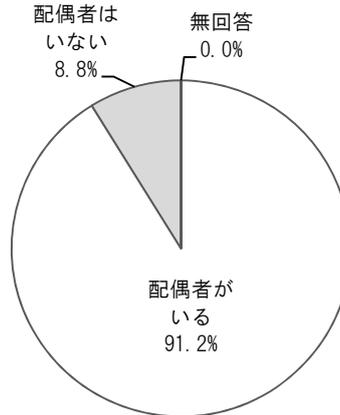
[問4] 調査回答者（小学生）



小学生
n=419



[問5(1)] 配偶者の有無（小学生）

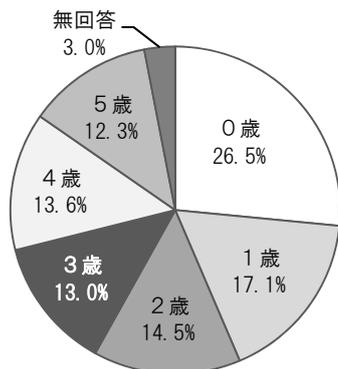


小学生
n=419

(5) 調査対象者の年齢・学年

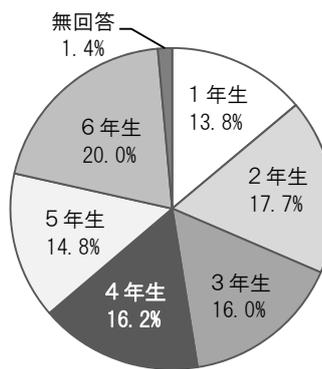
○調査対象者の年齢・学年は、以下のとおりです。

問2 年齢



就学前児童
n=961

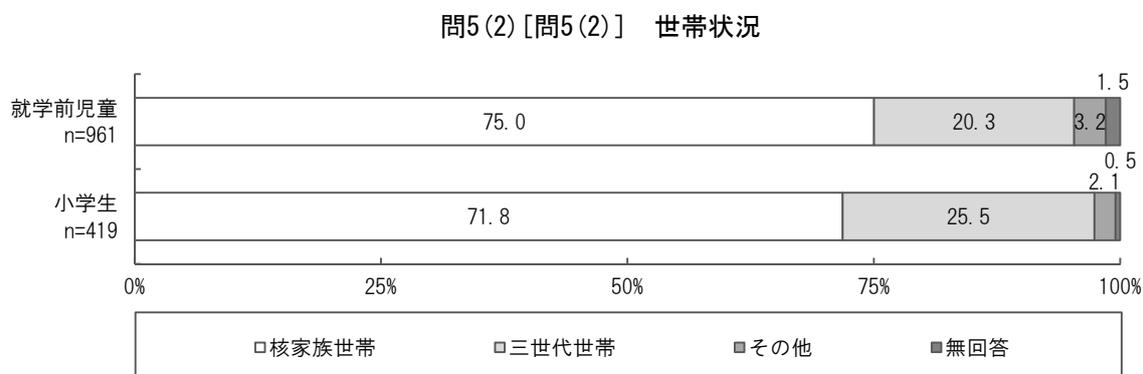
[問2] 学年



小学生
n=419

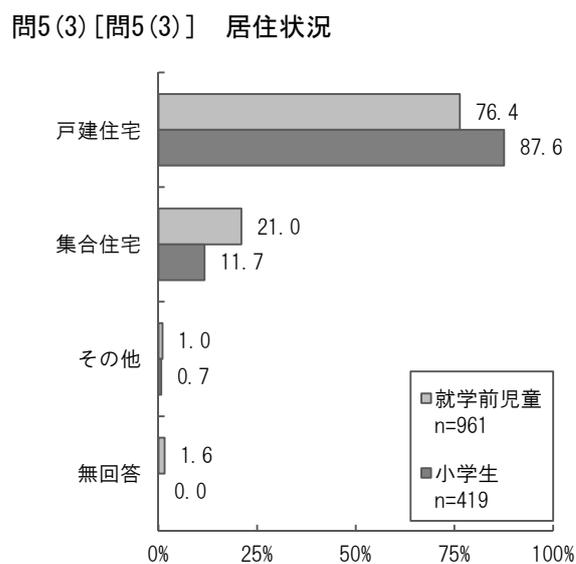
(6) 世帯状況

○世帯状況は、以下のとおりです。



(7) 住まいの状況

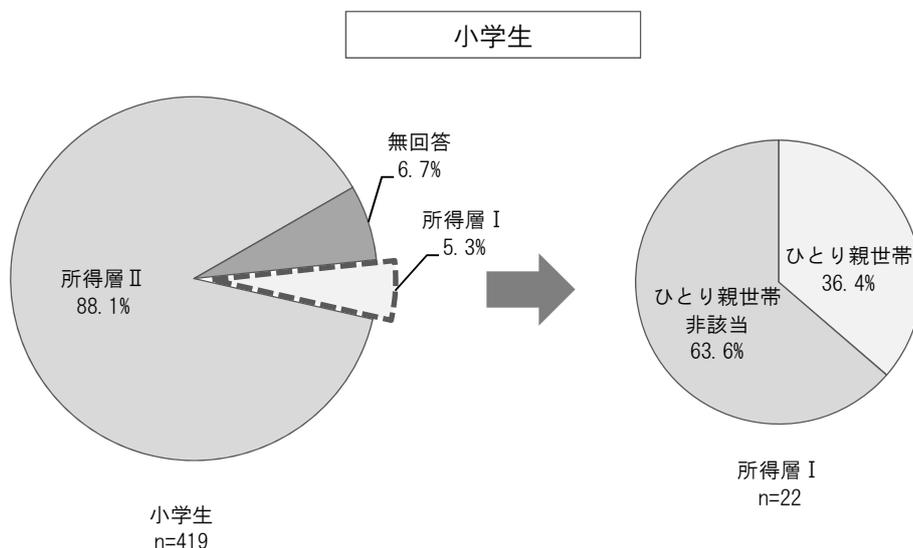
○住まいの状況をみると、就学前児童・小学生いずれも「戸建住宅」（就学前76.4%・小学生87.6%）が最も高くなっています。



7 低所得世帯基準への該当状況

○所得層 I に該当する世帯は、5.3%となっています。また、そのうち36.4%が「ひとり親世帯」となっています。

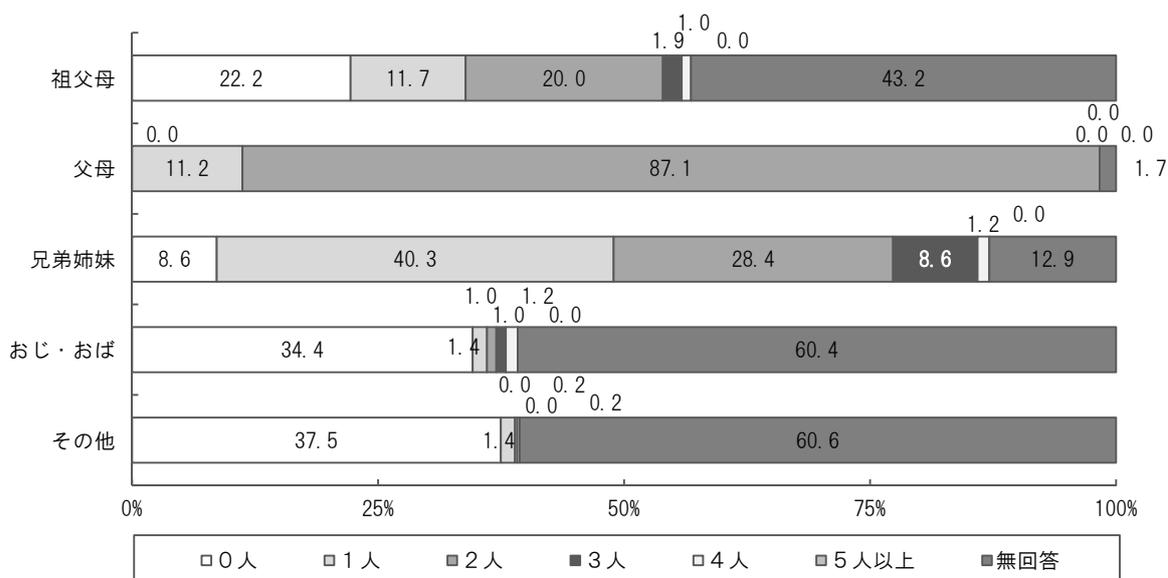
■ 低所得世帯基準該当の状況



8 世帯の家計の状況

(1) 世帯員の内訳

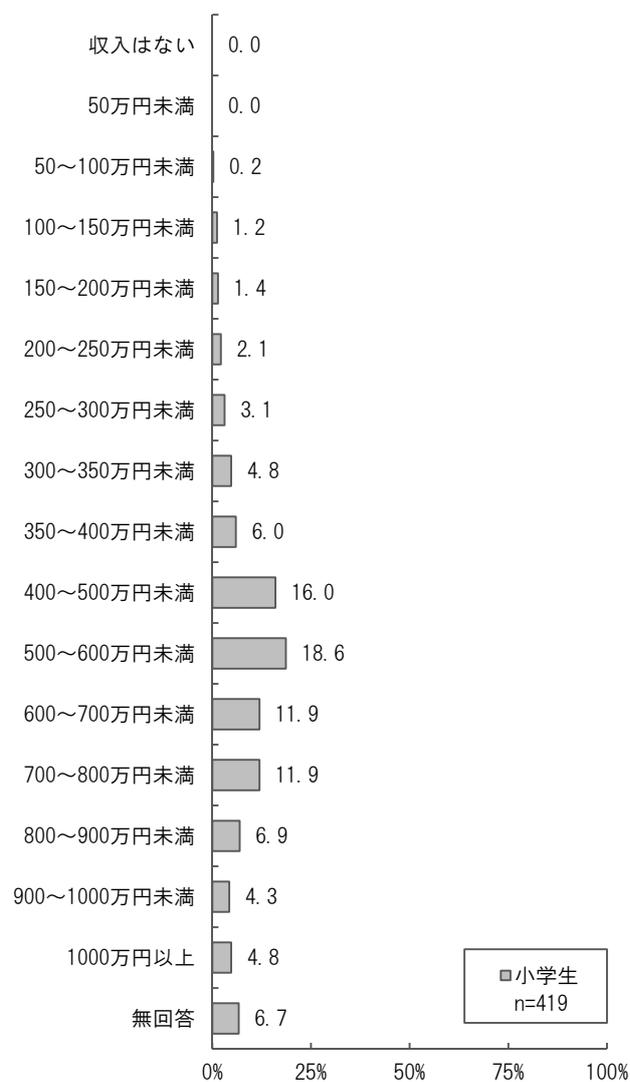
○世帯構成は、以下のとおりです。



(2) 世帯の年間収入

○世帯の収入をみると、「500～600万円未満」（18.6%）が最も高く、次いで「400～500万円未満」（16.0%）、「600～700万円未満」「700～800万円未満」（各11.9%）となっています。

問20 年間の世帯収入



9 調査結果からみた課題・分析

課題の抽出にあたっては、調査結果に加えてクロス集計等のデータを基に、より詳しい分析を行いました。

結果1 周囲の援助を得て子育てを行っている保護者が多い

子育てについて気軽に相談できる相手は、
就学前児童・小学生いずれも配偶者、親族、友人や知人

親族・知人等に協力者がいないと回答した割合をみると、就学前児童・小学生の保護者いずれも1割前後（就学前9.1%・小学生11.9%）となっており、就学前児童・小学生の保護者の多くが親族・知人等からの協力を得られているようです。【問9、[問7]】

子育てに関して気軽に相談できる相手として「配偶者」（就学前84.0%・小学生79.5%）、「祖父母等の親族」（就学前81.4%・小学生70.8%）、「友人や知人」（就学前73.1%・小学生78.6%）をあげています。地域では「近所の人」（就学前6.8%・小学生8.9%）、「民生委員・児童委員」（就学前0.0%・小学生0.3%）、行政の相談窓口では、「子育て支援施設」（就学前9.8%・小学生1.1%）、「保健所」（就学前0.0%・小学生16.2%）、「市の子育て関連担当窓口」（就学前2.7%・小学生0.3%）をあげていますが、小学生の「保健所」以外はいずれも少ない状況です。一方、就学前児童の保護者は「保育園・幼稚園」（35.9%）、小学生の保護者は「学校」（16.2%）への相談割合が高くなっています。【問10-1、[問8-1]】

以上の結果から、親族・知人等からの協力を得ることが難しい保護者に対し、相談窓口の周知をはじめとした情報提供を行うとともに、地域の保育力の強化及び、行政の相談窓口をより機能させる取り組みが必要となります。

結果2 母親の就労率（育休を含む）は、就学前児童約59.2%・小学生81.8%

母親の就労状況をみると、就学前児童59.2%・小学生81.8%が就労しており（産休・育休・介護休業中を含む）、前回調査と比べて、就学前児童の保護者は5.5^{ポイント}、小学生の保護者は6.6^{ポイント}高くなっています。【問12、[問11]】

就学前児童について、母親の就労日数は「週5日」が約7割、1日あたりの就労時間は「8～9時間」が約4割となっています。【問12-1（1）】

また、母親の帰宅時間は「18～19時台」（36.6%）、「16～17時台」（31.2%）で約6割を占めています。【問12-1（2）】

小学生について、母親の就労日数は「週5日」が約6割、1日あたりの就労時間は「4～5時間」が約4割となっています。【[問11-1（1）]】

また、母親の帰宅時間は「12～15時台」（42.9%）となっています。【[問11-1（2）]】

以上の結果から、「子どもの居場所」として設置されている施設等の開設時間帯を母親の帰宅時間にあわせるなど、保護者のニーズに対応できる体制の整備を進めていきます。

**結果3 利用率が低い地域子育て支援事業については周知度を高める対策とともに
市民ニーズに沿った事業の見直しが必要**

周知度が高い事業は、「遊びの広場（健康福祉センター「おぼと）」」「子育て支援センター「のびりん」」「保育園・こども園一時預かり」「にこにこ広場（市内5か所）」となっています。利用度が高い事業は、「子育て支援センター「のびりん」、次いで「遊びの広場（健康福祉センター「おぼと）」」「にこにこ広場（市内5か所）」となっています。また、今後利用したい事業は、「子育て支援センター「のびりん」」が約6割となっています。

一方、周知度は高いが利用率の低い事業は、「保育園・こども園一時預かり」（周知度77.6%、利用率16.8%）、「ファミリー・サポート・センター」（周知度55.9%、利用率3.9%）「のびのび預かり保育」（周知度64.6%、利用率13.7%）となっています。【問19】

以上の結果から、ニーズに沿った事業の見直しをはじめ、各事業について市民への周知を進めていく必要があります。

結果4 病気やケガで保育園や幼稚園等・小学校等を利用できなかった場合の対処方法は、就学前児童・小学生いずれも母親が休んだが約7割

病気やケガで保育園や幼稚園等・小学校等を利用できなかった場合の対処方法は、就学前児童・小学生の保護者いずれも「母親が休んだ」（就学前73.4%・小学生68.2%）が最も多く、「親族・知人に子どもをみてもらった」（就学前42.0%・小学生24.9%）となっています。一方、「父親が休んだ」（就学前26.3%・小学生10.6%）となっています。【問23-1・問13-1】

また、父母が休んで対応した保護者の病児・病後児施設の利用意向は「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」（就学前児童39.1%・小学生12.8%）となっています。一方で「利用したいと思わない」（就学前58.7%・小学生82.1%）となっています。【問23-2、問13-2】

以上の結果から、病気やケガをした子どもを看るのは母親の役目であるという役割意識の定着がうかがわれます。父親が休暇を取得しやすい職場環境づくりをはじめ、父親の育児参加の促進やワーク・ライフ・バランスの取り組みなど、父親の育児参加を促すための対策を進めていく必要があります。

結果5 就学前児童の放課後児童クラブの利用希望は約42%（小学校低学年時期）

就学前児童の「放課後児童クラブ」、「放課後子ども教室」の利用希望をみると、小学校低学年時期は「放課後児童クラブ」（41.5%）、「放課後子ども教室」（15.3%）となっています。小学校高学年時期になると、「放課後児童クラブ」（20.3%）、「放課後子ども教室」（10.2%）となり、「放課後児童クラブ」の利用希望は減少し、代わりに「自宅」（63.6%）、「習い事」（52.5%）が増え、ニーズの変化がうかがえます。

一方、小学生の放課後の居場所をみると、「自宅」（84.7%）が最も多く、次いで「習い事」（61.6%）となっています。「放課後児童クラブ」の利用割合は（11.7%）、「放課後子ども教室」（0.7%）となっています。【問27、28・[問14]】

以上の結果から、子どもの年齢が上がるにつれ保護者のニーズも変化するため、ニーズの変化に対応しながら事業を進めます。

結果6 子育ての環境や支援に対する保護者の満足度

（満足度が高い＋満足度がやや高い）は、就学前児童・小学生いずれも約30%

子育て環境や支援に対する保護者の満足度をみると、就学前児童・小学生の保護者いずれも「ふつう」（就学前42.8%・小学生42.5%）が最も多く、「満足度が高い＋満足度がやや高い」（就学前29.5%・小学生30.3%）、「満足度がやや低い＋満足度が低い」（就学前24.0%・小学生25.3%）となっています。【問32、[問21]】

以上の結果から、今後さらにこの評価を引き上げるためには、現在実施している事業に対して、子育て世帯の様々なニーズに即した対策見直し・改善を図り、満足度向上に向けた取り組みを検討する必要があります。

結果7 子育ての悩みや不満は多様化している

就学前児童の母親は、「子どもの病気や発育・発達に関すること」（38.4%）が最も多く、次いで「子どもの食事や栄養に関すること」（36.5%）をあげています。また、就学前児童の父親は、「子どもとの時間を十分にとれないこと」（28.8%）が最も多く、次いで「子どもの病気や発育・発達に関すること」（23.7%）となっています。

一方、小学生の母親は、「子どもの教育に関すること」（37.0%）が最も多く、次いで「子育てにかかる費用が大きな負担になっている」（30.5%）をあげています。また、小学生の父親は「子どもとの時間を十分にとれないこと」（27.7%）が最も多くなっています。【問33、[問22]】

以上の結果から、子育ての悩みを少しでも解消するため、情報提供やサービス提供体制の強化を図る必要があります。

結果8 就学前児童の保護者の約5割が子育てにスマートフォンなどのアプリを使用

就学前児童の保護者で子育てにスマートフォンのアプリを活用している保護者は54.8%となっています。【問37】

使用しているアプリは、「子どもに動画を見せる」「子ども用の知育（パズル・ひらがな・九九）」「離乳食の作り方」「母子手帳や育児相談」「予防接種の管理や病気の症状や対応を調べる」などに利用していることがうかがえます。

以上の結果から、アプリを有効活用している母親が多くなっていますが、一方でアプリに依存しない子育て環境の整備や、現在提供している子育て情報についても内容を充実させていく必要があります。

結果9 「所得層Ⅰ」世帯は小学生約5% そのうちひとり親世帯は約40%

国が定義する貧困世帯の対象となる「所得層Ⅰ」をみると、小学生5.3%が該当し、そのうち「ひとり親世帯」は36.4%となっています。

以上の結果から、生活課題を抱える「所得層Ⅰ」世帯の正確な把握とともに、公的制度の周知徹底及び利用の促進、支援団体や民生委員等へ橋渡しができる地域ネットワークの構築強化と環境整備を検討する必要があります。

第2章

子育て家庭を取り巻く環境

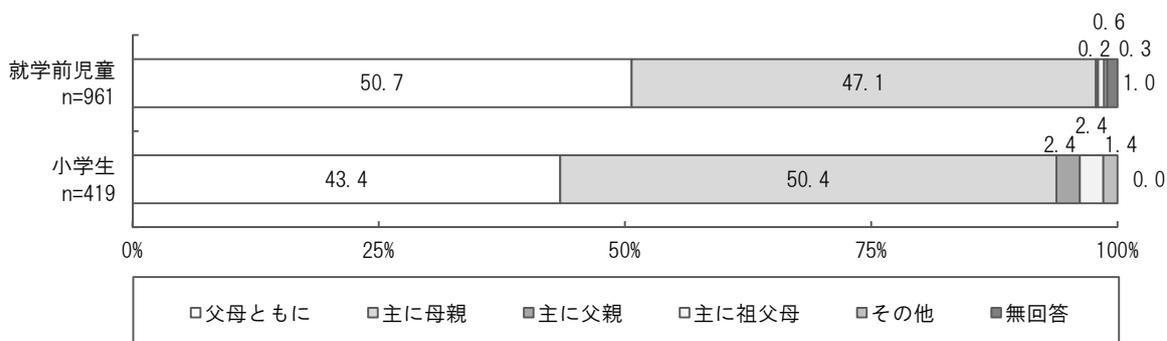
第2章 子育て家庭を取り巻く環境

1 子育ての環境について

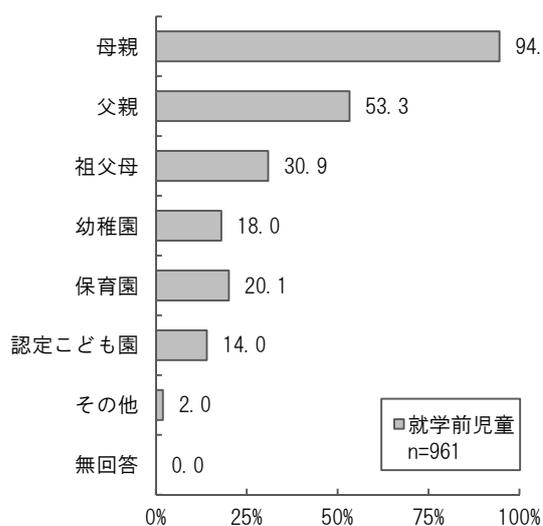
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況

- 主な保育者の状況をみると、就学前児童・小学生いずれも「父母ともに」「主に母親」で9割以上を占めています。
- 日常的に子育てに関わっている方をみると、「母親」(94.5%)が最も高く、次いで「父親」(53.3%)、「祖父母」(30.9%)となっています。
- 子育てに影響を与える環境をみると、「家庭」(94.8%)が最も高く、次いで「幼稚園」(37.8%)、「保育園」(31.9%)となっています。

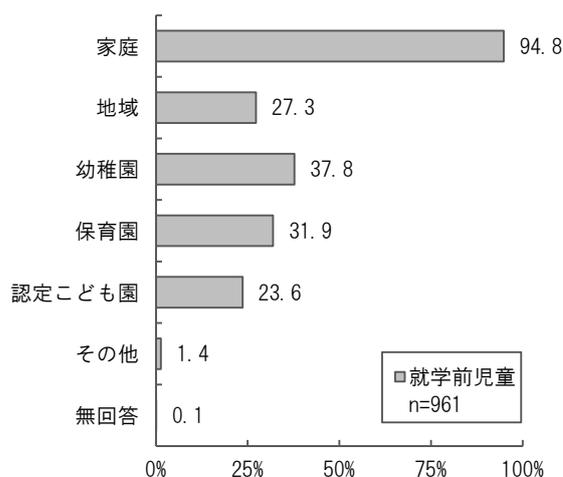
問6[問6] 主な保育者の状況



問7 日常的に子育てに関わっている方（施設含む）
（複数回答）



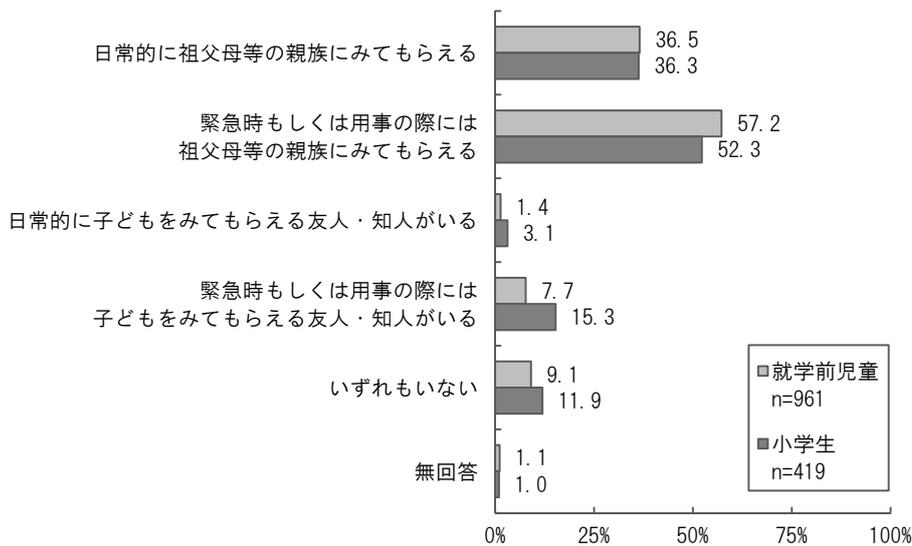
問8 子育てに影響を与えると思う環境
（複数回答）



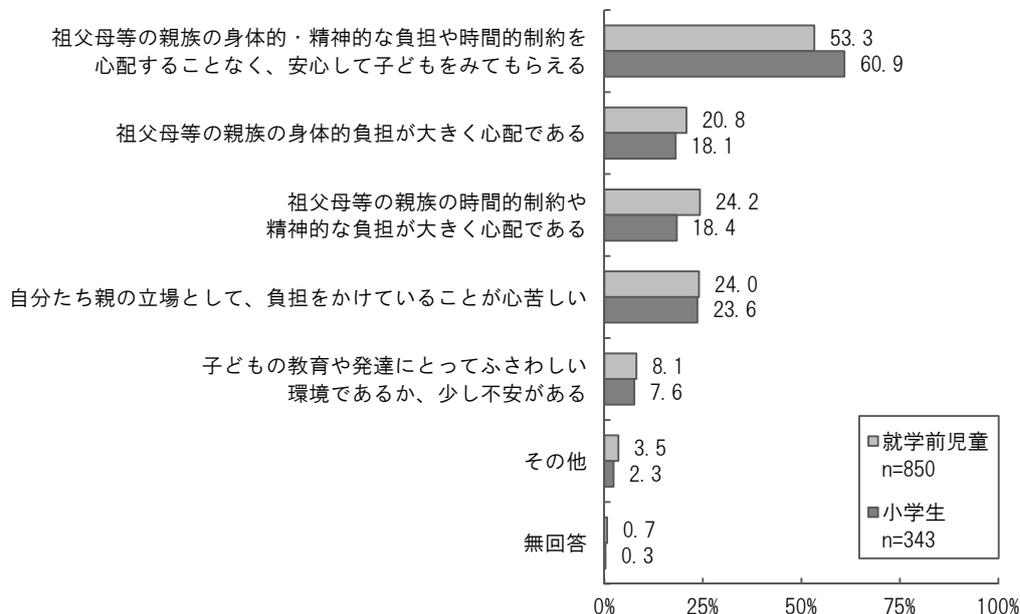
○親族・知人等協力者の状況をみると、就学前児童・小学生いずれも「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(就学前児童57.2%・小学生52.3%)が最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(就学前児童36.5%・小学生36.3%)となっています。一方で、「いずれもない」と回答した方が就学前児童・小学生いずれも1割前後いる状況です。

○祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況をみると、就学前児童・小学生いずれも「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(就学前児童53.3%・小学生60.9%)が最も高くなっているものの、一方で、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(就学前児童24.2%・小学生18.4%)、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(就学前児童24.0%・小学生23.6%)と回答した方の割合も多く、祖父母への負担を心配しながら子どもをみてもらっている状況です。

問9[問7] 親族・知人等協力者の状況 (複数回答)



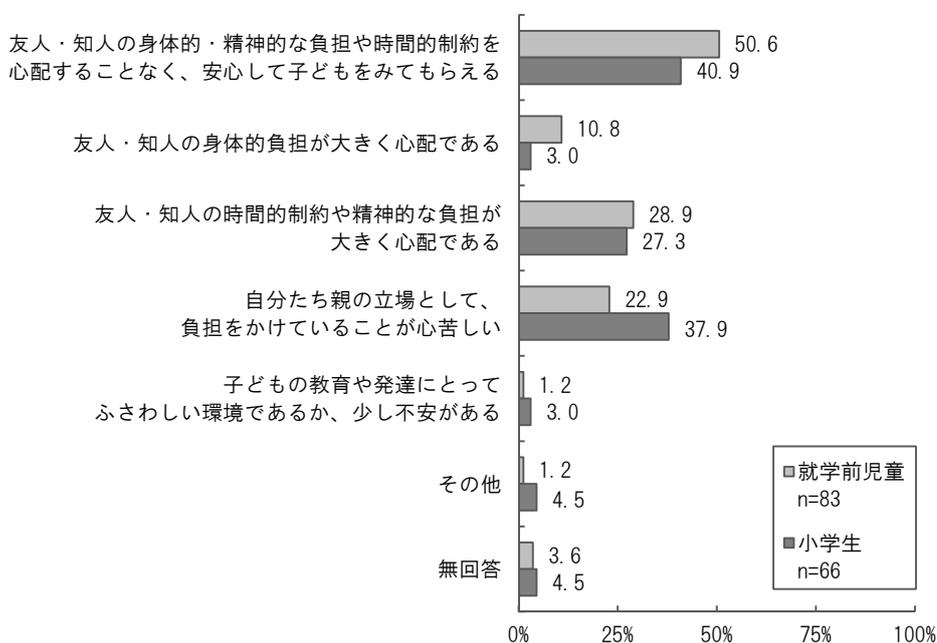
問9-1[問7-1] 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え (複数回答)



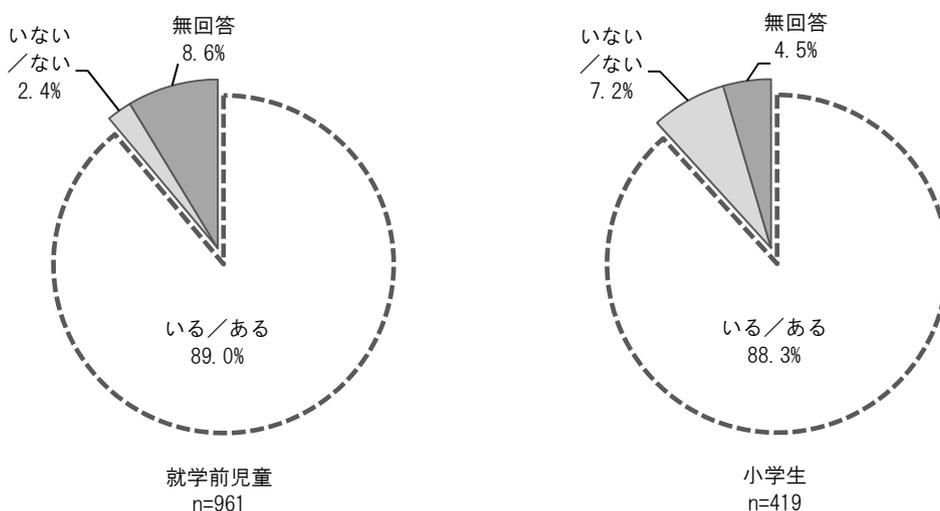
○友人・知人に子どもを預かってもらっている状況をみると、就学前児童・小学生いずれも「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」（就学前児童50.6%・小学生40.9%）が最も高くなっているものの、一方で、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」（就学前児童28.9%・小学生27.3%）、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（就学前児童22.9%・小学生37.9%）と回答した方の割合も多く、友人・知人への負担を心配しながら子どもをみてもらっている状況です。

○気軽に相談できる人の有無をみると、就学前児童・小学生いずれも約9割が「いる／ある」と回答しています。

問9-2[問7-2] 友人・知人に子どもをみてもらうことへの考え（複数回答）



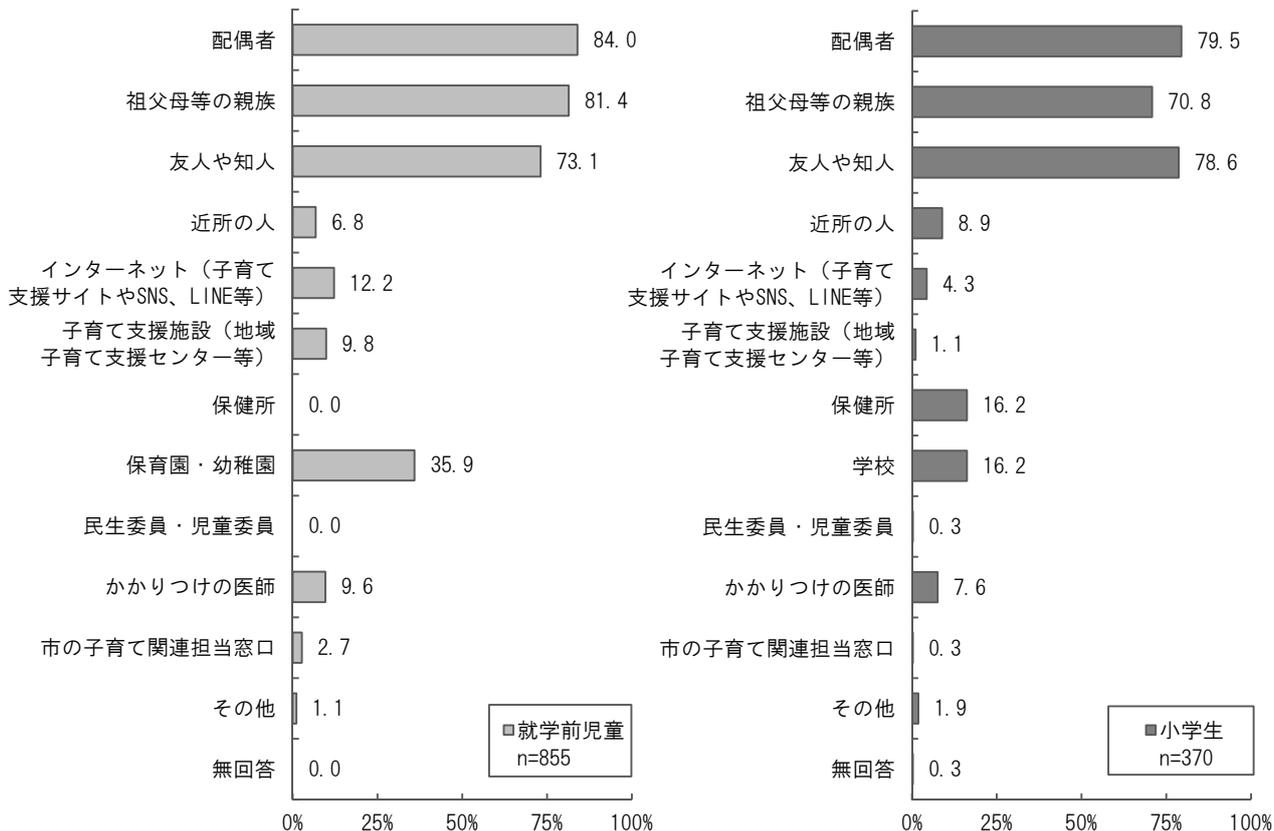
問10[問8] 子育てに関して気軽に相談できる人の有無



(2) 子育てに関する相談者の状況

○気軽に相談できる相手を見ると、就学前児童・小学生いずれも「配偶者」(就学前児童84.0%・小学生79.5%)、「祖父母等の親族」(就学前児童81.4%・小学生70.8%)、「友人や知人」(就学前児童73.1%・小学生78.6%)で高くなっています。

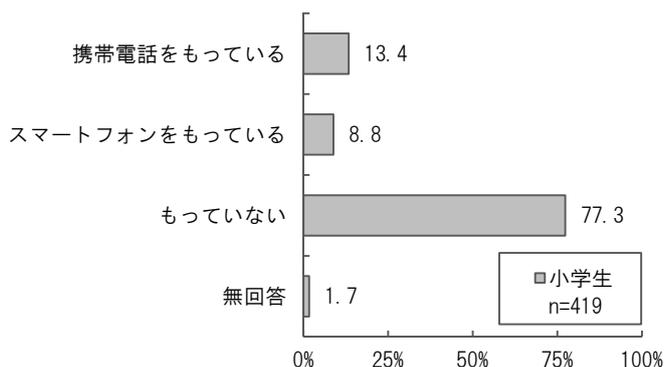
問10-1[問8-1] 気軽に相談できる相手(複数回答)



(3) 子どもの携帯電話/スマートフォンの所持

○子どもの携帯電話/スマートフォンの所持状況をみると、「もっていない」(77.3%)が最も高く、「携帯電話をもっている」が13.4%、「スマートフォンをもっている」が8.8%となっています。

[問9] 携帯電話/スマートフォン所持状況(複数回答)



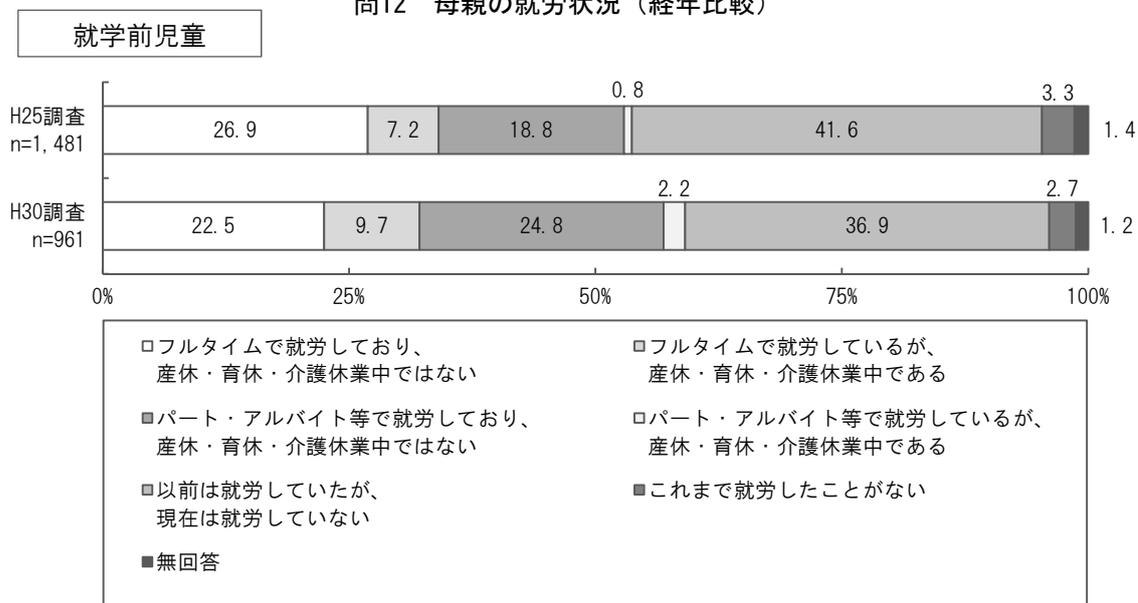
2 保護者の就労状況

(1) 母親の就労状況

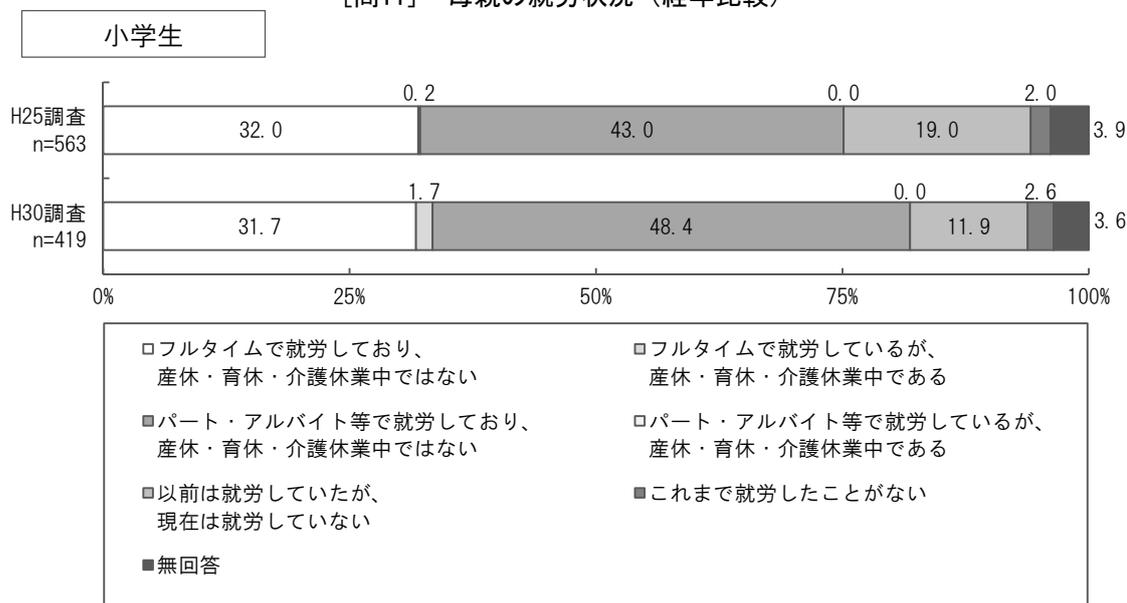
○母親の就労状況をみると、「フルタイムで就労している」「パート・アルバイト等で就労している」を合わせた現在就労している（休業中も含む）方は、就学前児童の母親では59.2%、小学生の母親では81.8%となっています。そのうち産休・育休・介護休業を取得中の方は、就学前児童の母親では11.9%、小学生の母親では1.7%となっています。

○前回調査と比較すると、就労している母親の割合は、就学前児童では5.5^{ポイント}、小学生では6.6^{ポイント}高くなっています。また、産休・育休・介護休業を取得中の母親の割合も就学前児童では3.9^{ポイント}高くなっています。

問12 母親の就労状況（経年比較）



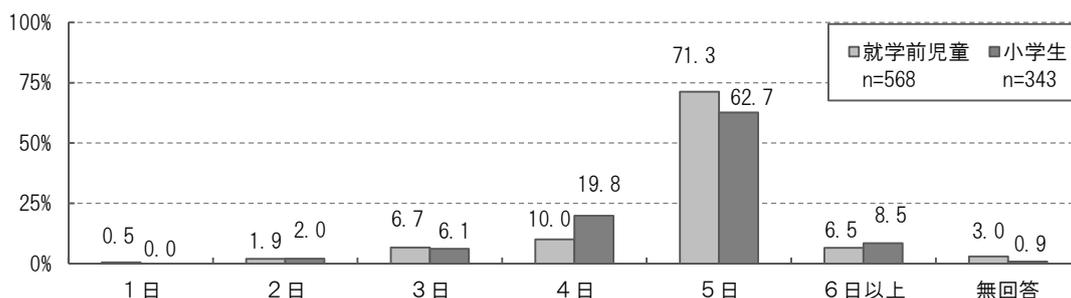
[問11] 母親の就労状況（経年比較）



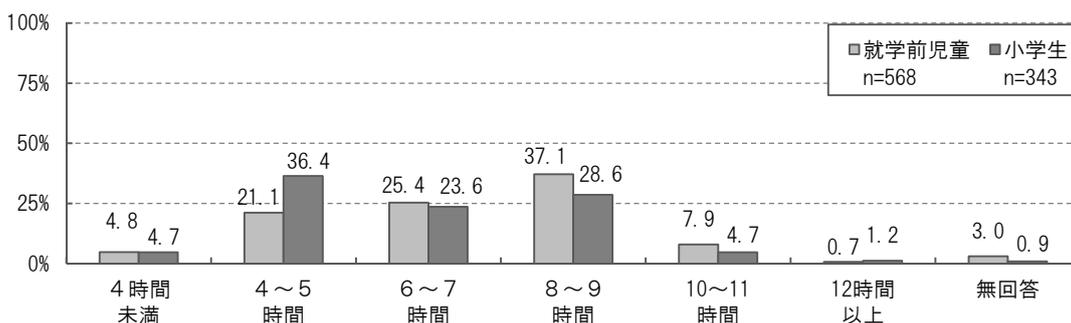
○母親の就労日数をみると、就学前児童・小学生いずれも「5日」（就学前児童71.3%・小学生62.7%）が最も高くなっています。就労時間をみると、就学前児童では、「8～9時間」（37.1%）が最も高く、小学生では、「4～5時間」（36.4%）が最も高くなっています。

○母親の出勤時間をみると、就学前児童・小学生いずれも「7時台」「8時台」が大半を占めています。帰宅時間をみると、就学前児童では、「18～19時台」（36.6%）が最も高く、小学生では、「12～15時台」（42.9%）が最も高くなっています。

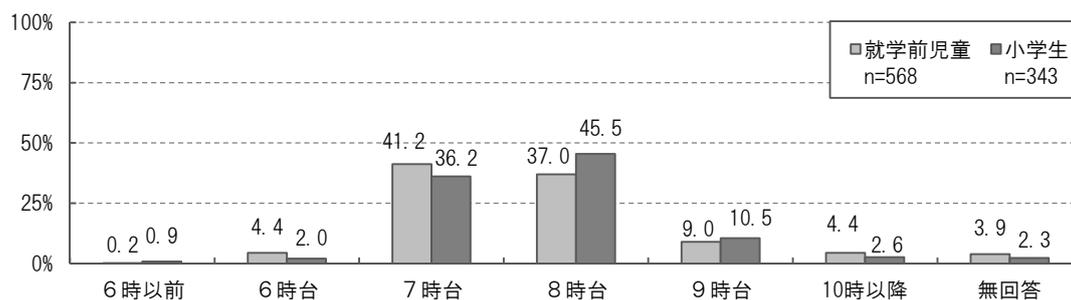
問12-1(1) [問11-1(1)] 母親の就労日数（1週当たり）



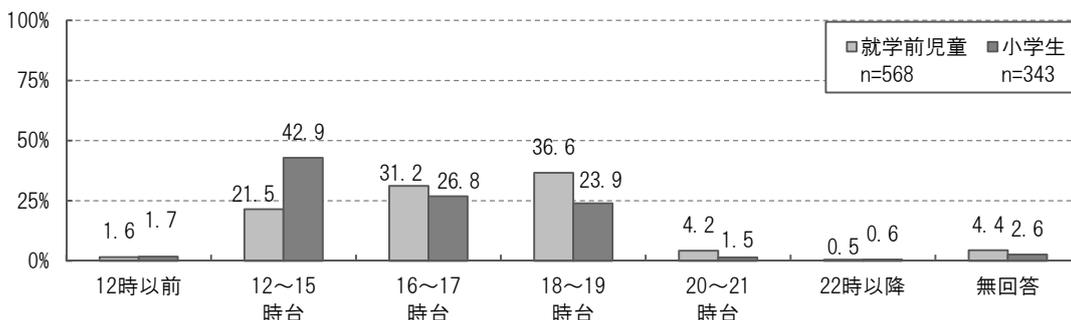
問12-1(1) [問11-1(1)] 母親の就労時間（1日当たり）



問12-1(2) [問11-1(2)] 母親の出勤時間

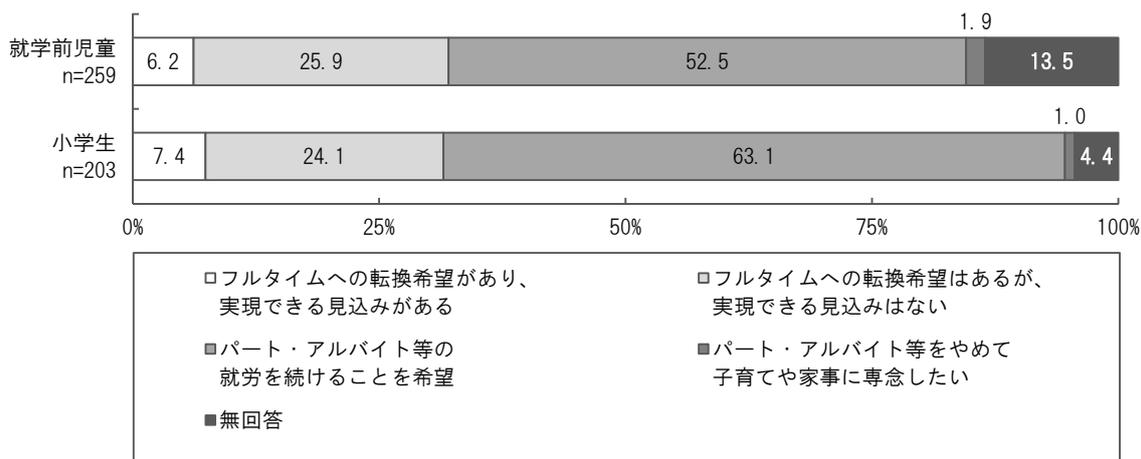


問12-1(2) [問11-1(2)] 母親の帰宅時間



○母親のフルタイム勤務に対する意向をみると、就学前児童・小学生いずれも「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」と回答した方が半数以上を占めているものの、一方で、3割以上の母親がパートタイムからフルタイムへの転換希望がある（「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」＋「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と回答しています）。

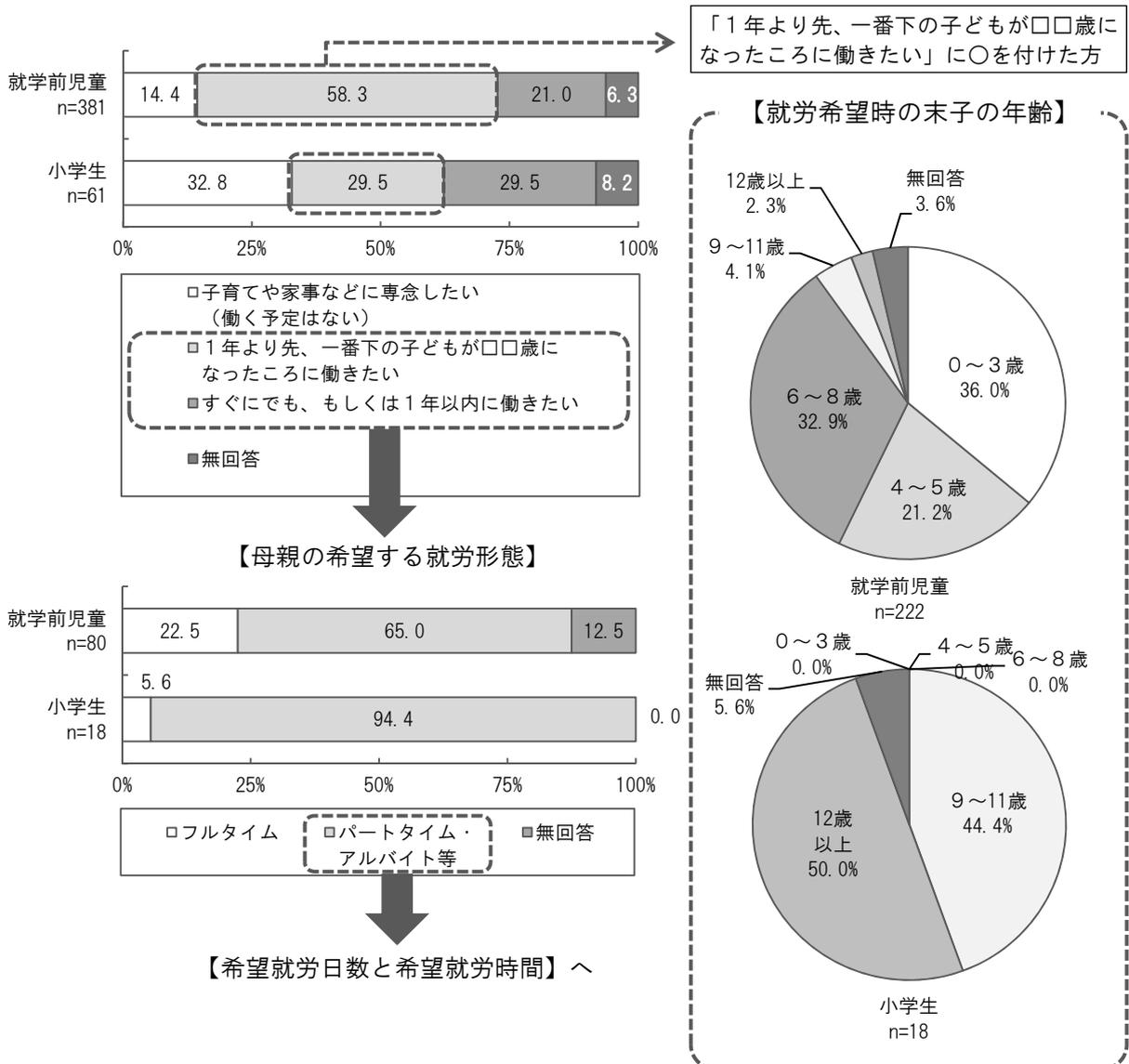
問12-2[問11-2] 母親のパートタイムからフルタイムへの転換意向



○現在就労していないが今後の就労希望がある就学前児童の母親をみると、79.3%となっており、内訳は「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに働きたい」(58.3%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」(21.0%)となっています。希望する就労形態は「パートタイム、アルバイト等」(65.0%)、「フルタイム」(22.5%)となっています。また、就労時期となる子どもの年齢としては「0～3歳」(36.0%)が最も高く、次いで「6～8歳」(32.9%)となっています。

○現在就労していないが今後の就労希望がある小学生の母親をみると、59.0%となっており、内訳は「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに働きたい」、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」(各29.5%)となっています。希望する就労形態は「パートタイム、アルバイト等」(94.4%)、「フルタイム」(5.6%)となっています。また、就労時期となる子どもの年齢としては「9～11歳以上」(44.4%)、「12歳以上」(50.0%)が9割以上を占めています。

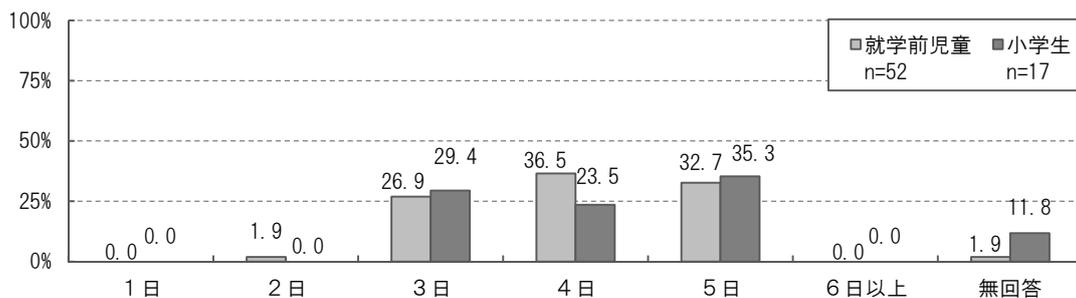
問12-3[問11-3] 就労していない母親の今後の就労意向



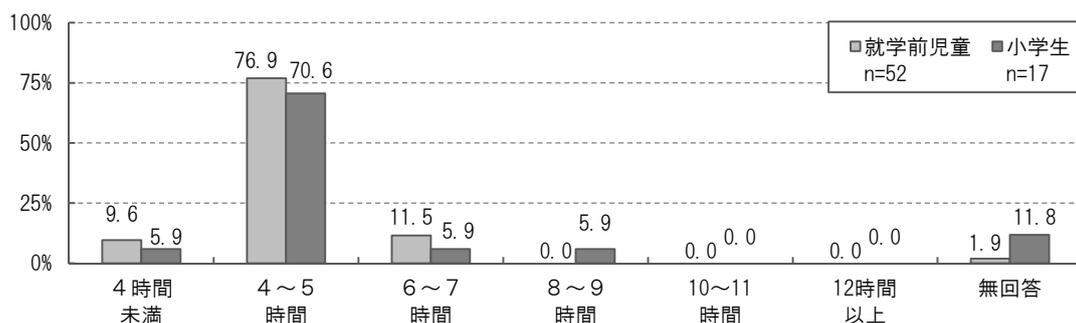
○パートタイム・アルバイト等での就労を希望する母親の希望就労日数をみると、就学前児童では、「4日」(36.5%)が最も高く、小学生では、「5日」(35.3%)が最も高くなっています。

○希望就労時間は、就学前児童・小学生いずれも「4～5時間」(就学前児童76.9%・小学生70.6%)が最も高くなっています。

問12-3[問11-3] パートタイム・アルバイト等希望の母親の希望就労日数(1週当たり)



問12-3[問11-3] パートタイム・アルバイト等希望の母親の希望就労時間(1日当たり)

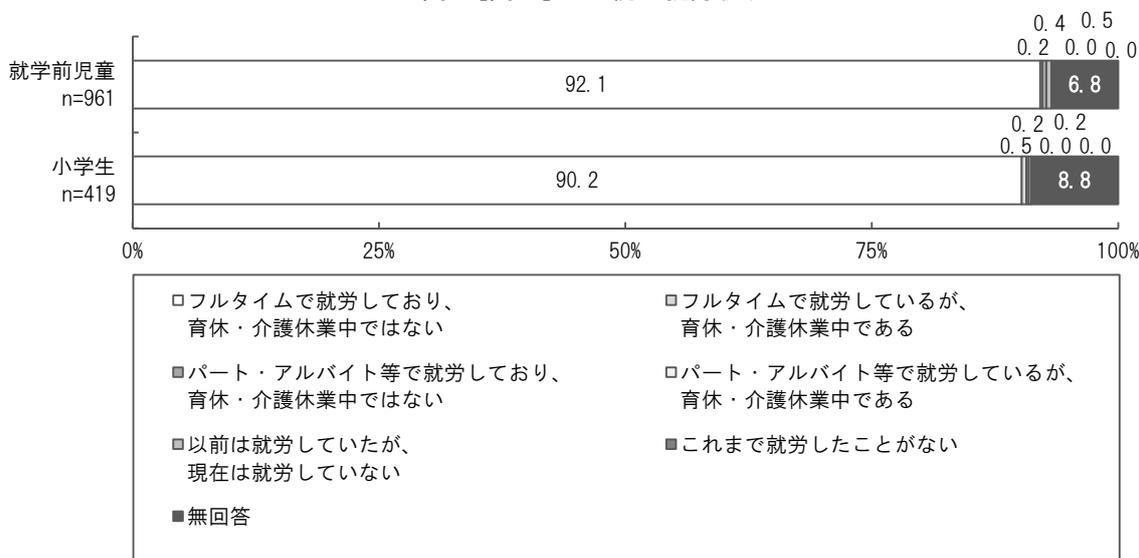


(2) 父親の就労状況

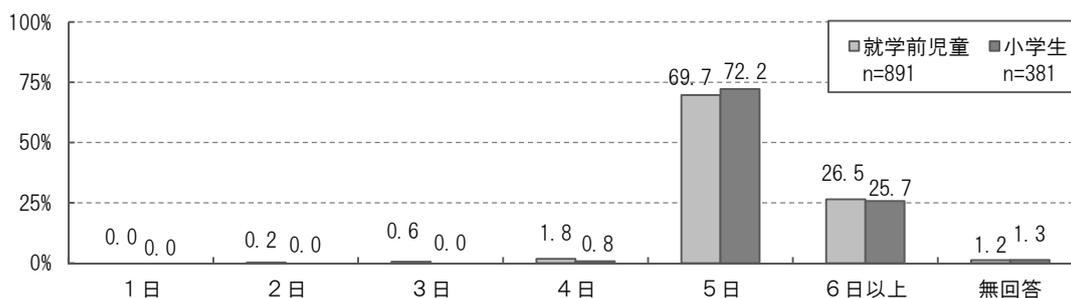
○父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労している」「パート・アルバイト等で就労している」を合わせた現在就労している（休業中も含む）保護者は9割以上となっています。

○父親の就労日数をみると、就学前児童・小学生いずれも「5日」「6日」と回答した方が大半を占めています。また、就労時間をみると、就学前児童・小学生いずれも「8～9時間」、「10～11時間」と回答した方の割合が多く、「12時間以上」と回答した方も2割弱いる状況です。

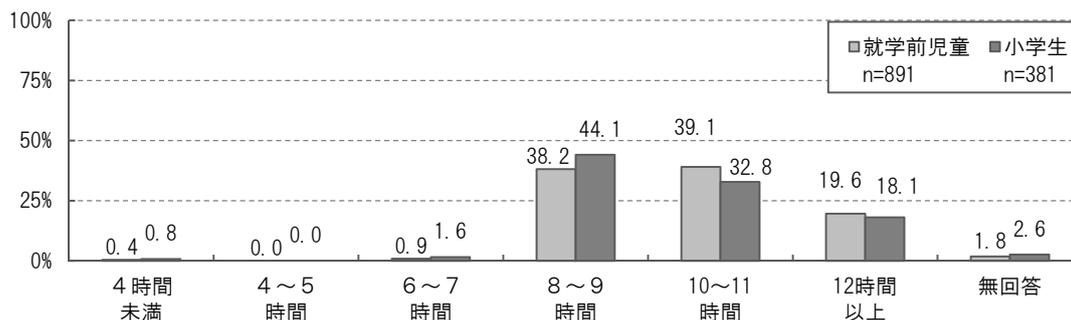
問13[問12] 父親の就労状況



問13-1(1)[問12-1(1)] 父親の就労日数（1週当たり）

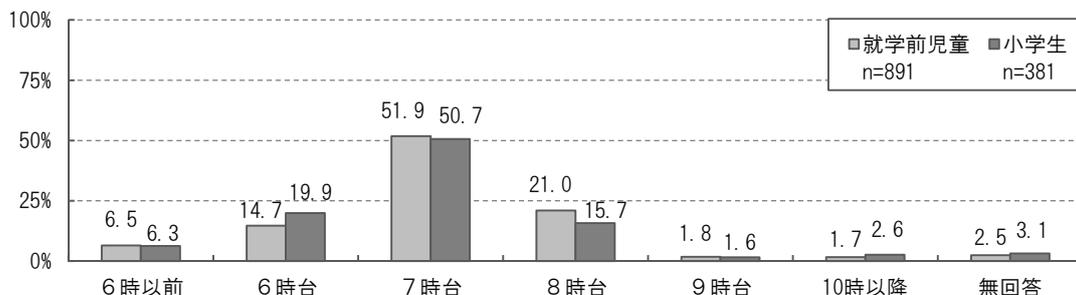


問13-1(1)[問12-1(1)] 父親の就労時間（1日当たり）

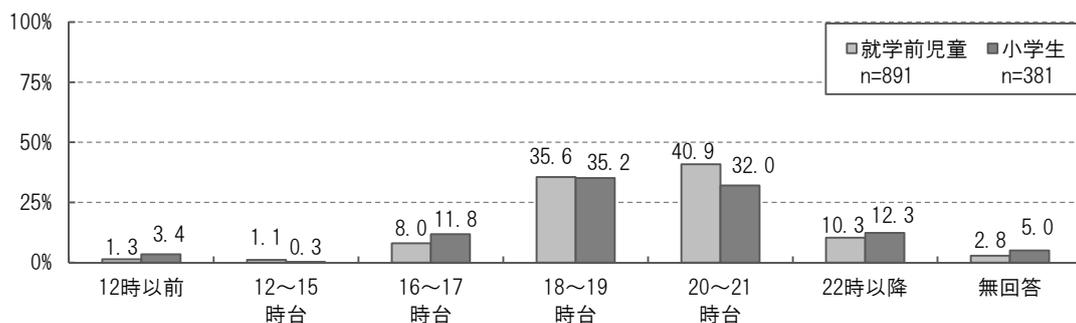


○父親の出勤時間をみると、就学前児童・小学生いずれも「7時台」(就学前児童51.9%・小学生50.7%)が最も高く、帰宅時間をみると、就学前児童・小学生いずれも「18～19時台」、「20～21時台」と回答した方の割合が多くなっています。
 ○父親のパートタイムからフルタイムへの転換意向は、以下のとおりです。

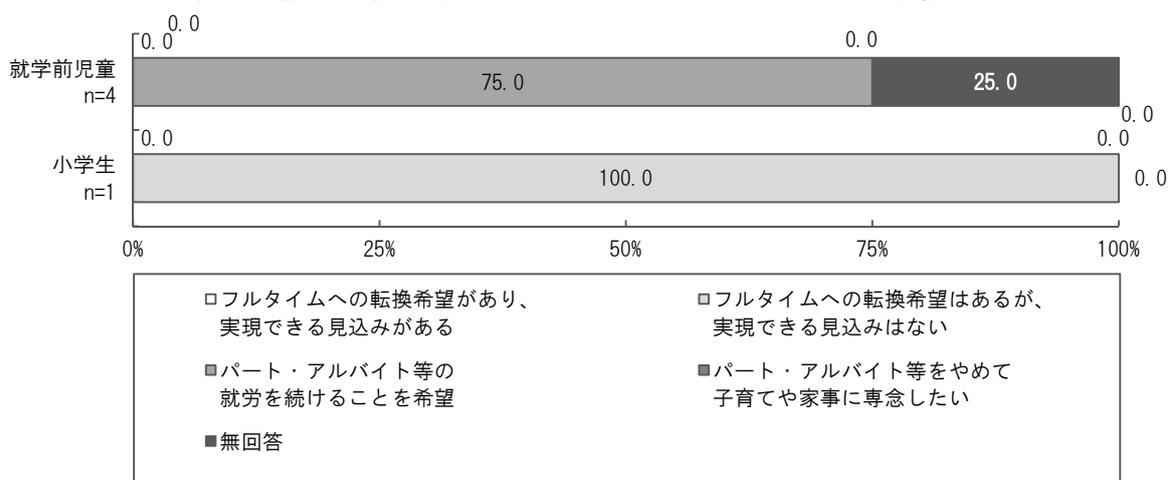
問13-1(2)[問12-1(2)] 父親の出勤時間



問13-1(2)[問12-1(2)] 父親の帰宅時間

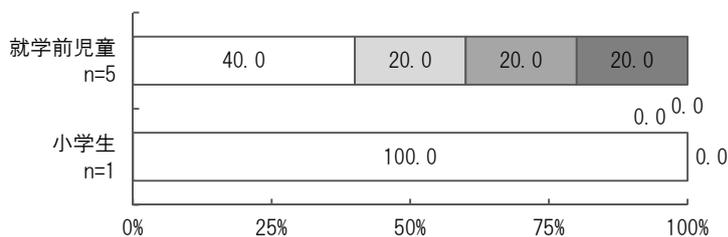


問13-2[問12-2] 父親のパートタイムからフルタイムへの転換意向

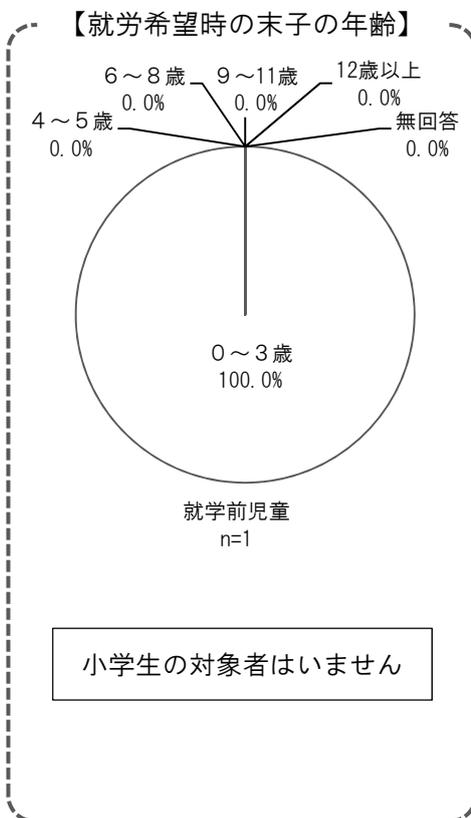


○現在就労していない父親の今後の就労意向は、以下のとおりです。

問13-3[問12-3] 就労していない父親の就労意向

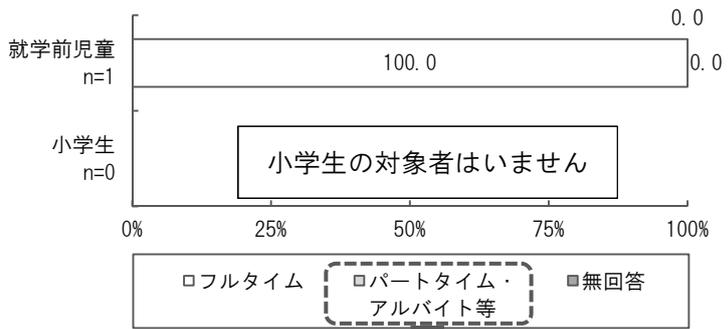


「1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに働きたい」に○を付けた方

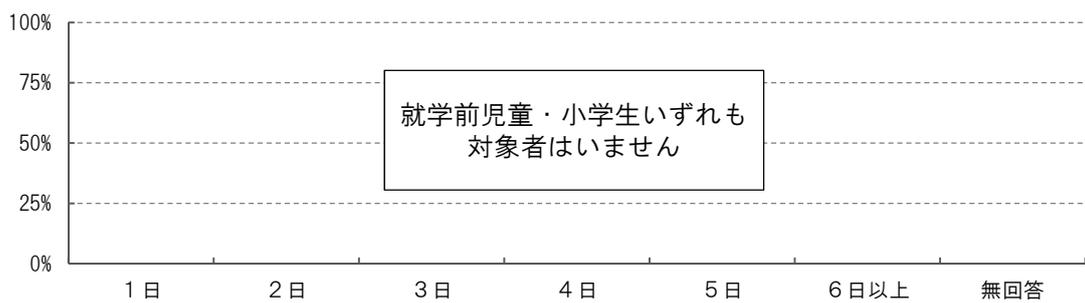


- 子育てや家事などに専念したい (働く予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに働きたい
- すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい
- 無回答

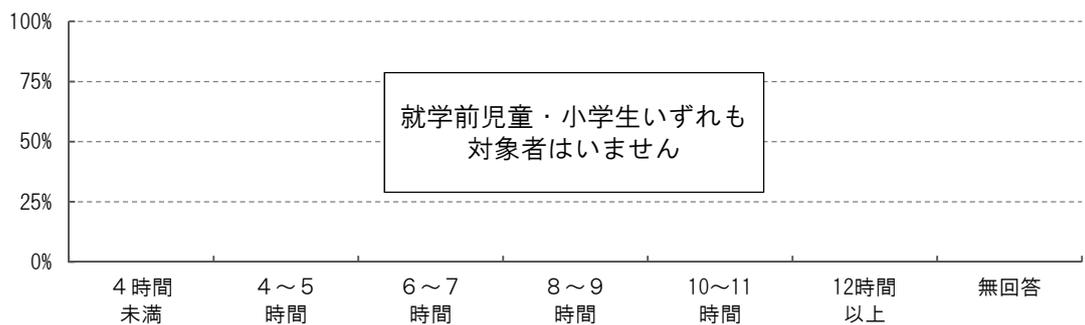
【父親の希望する就労形態】



問13-3[問12-3] 就労希望のある父親の希望就労日数 (1週当たり)



問13-3[問12-3] 就労希望のある父親の希望就労時間 (1日当たり)



第3章
子育て支援サービスの現状と
今後の利用希望

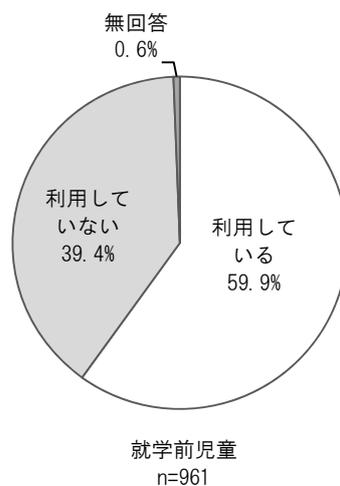
第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

(1) 平日の定期的な教育・保育事業

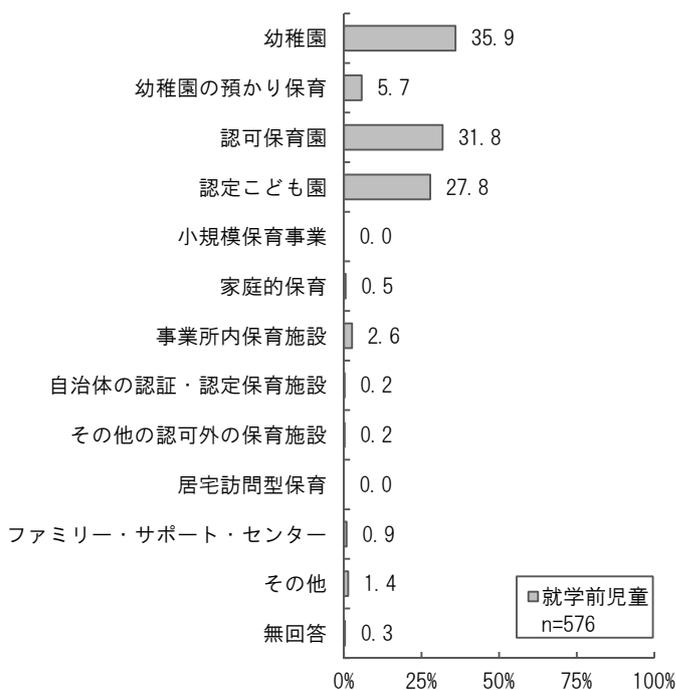
○定期的な教育・保育事業の利用状況をみると、「利用している」が5割以上を占めています。

問14 定期的な教育・保育事業の利用状況

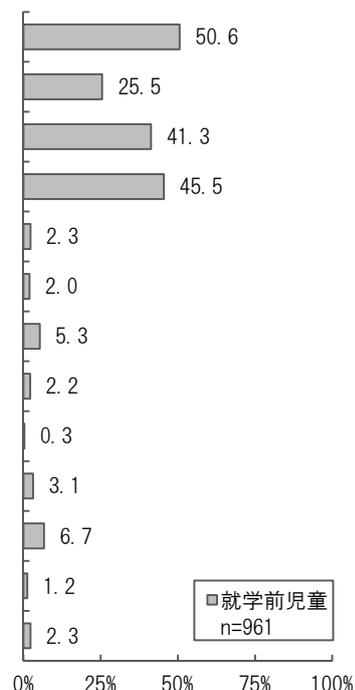


- 利用中の事業をみると、「幼稚園」(35.9%)が最も高く、次いで「認可保育園」(31.8%)、「認定こども園」(27.8%)となっています。
- 希望する事業をみると、「幼稚園」(50.6%)が最も高く、次いで「認定こども園」(45.5%)、「認可保育園」(41.3%)となっています。

問14-1(2) 定期的な教育・保育事業の利用状況 (複数回答)



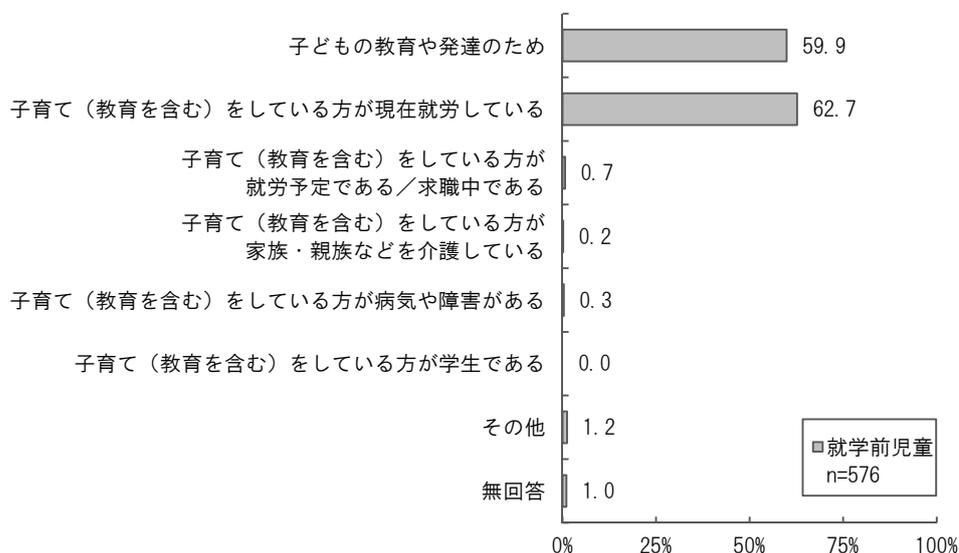
問15 希望する定期的な教育・保育事業 (複数回答)



(2) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用の理由

- 平日に教育・保育事業を利用している理由をみると、「子育てをしている者が現在就労している」(62.7%)が最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」(59.9%)となっています。

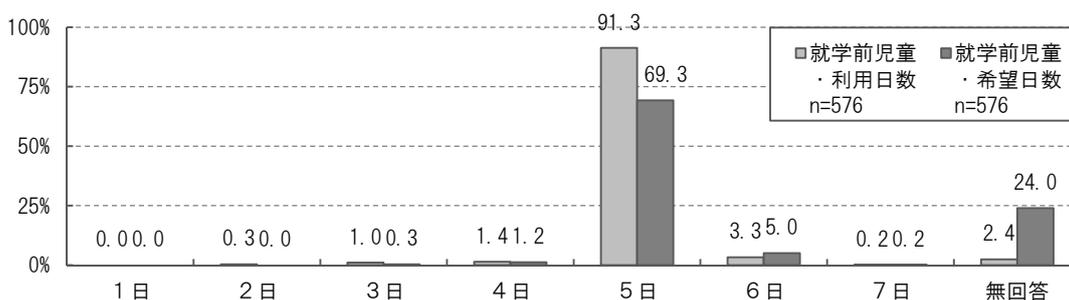
問14-1(3) 平日に教育・保育事業を利用している理由 (複数回答)



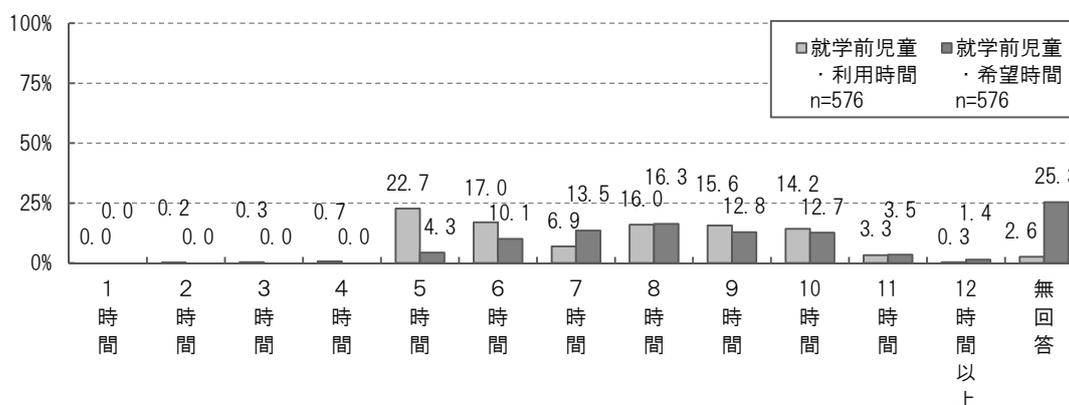
○定期的な教育・保育事業の1週あたりの利用日数と希望日数みると、利用日数・希望日数いずれも「5日」（利用日数91.3%・希望日数69.3%）が最も高くなっています。

○定期的な教育・保育事業の1日あたりの利用時間と希望時間みると、利用時間で「5時間」（22.7%）が最も高く、次いで「6時間」（17.0%）となっており、希望時間で「8時間」（16.3%）が最も高く、次いで「7時間」（13.5%）、「9時間」（12.8%）の順となっています。

問14-1(4)①② 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

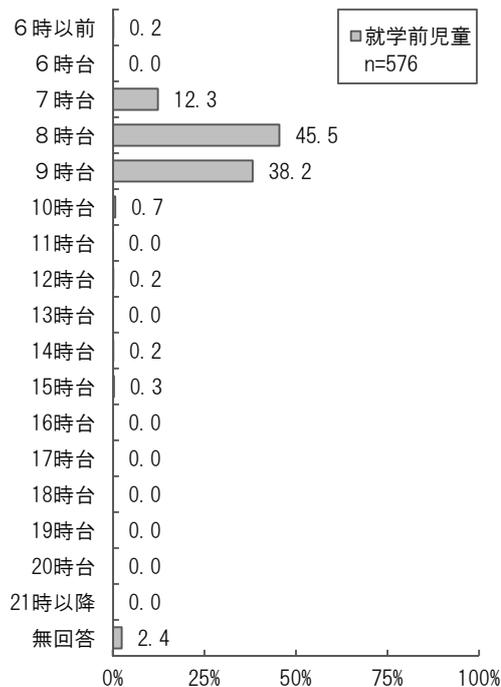


問14-1(4)①② 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

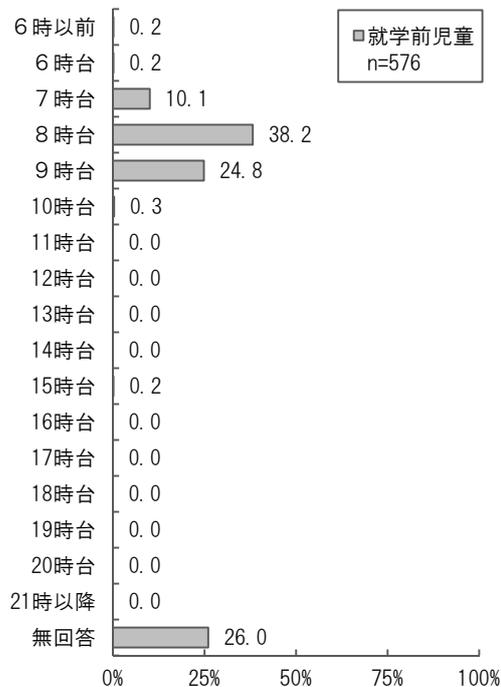


○定期的な教育・保育事業の1日あたりの利用開始時間と希望開始時間をみると、利用開始時間・希望開始時間いずれも「8時台」(利用開始時間45.5%・希望開始時間38.2%)が最も高く、次いで「9時台」(利用開始時間38.2%・希望開始時間24.8%)となっています。

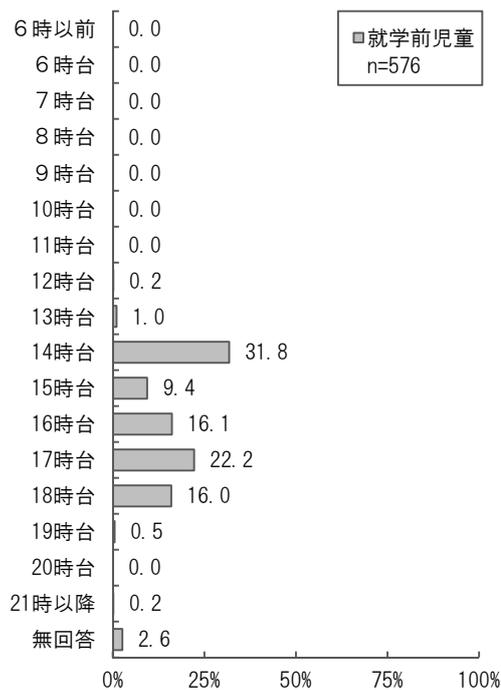
問14-1(4)① 利用開始時間



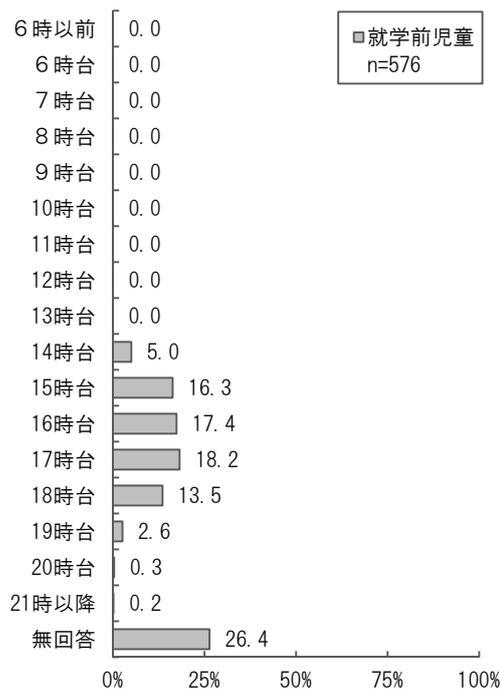
問14-1(4)② 希望開始時間



問14-1(4)① 利用終了時間



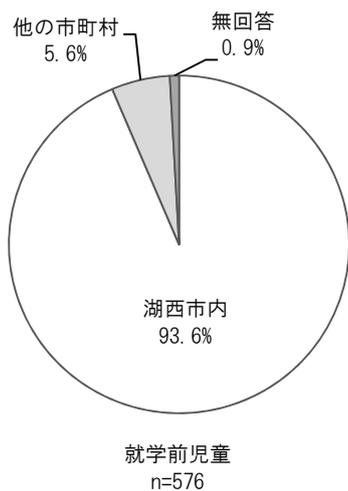
問14-1(4)② 希望終了時間



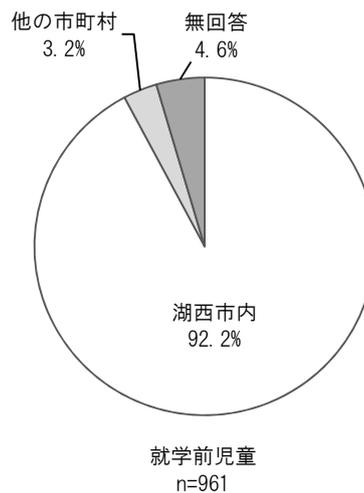
○現在平日に利用している教育・保育事業の実施場所と希望実施場所をみると、実施場所・希望実施場所いずれも「湖西市内」が9割以上を占めています。

○定期的な教育・保育事業として、「幼稚園」や「幼稚園の預かり保育」と合わせて他の事業の利用も希望される方の内、特に「幼稚園」の利用を強く希望している方は、7割近く占めています。

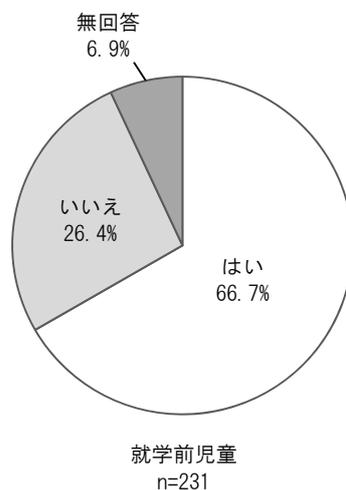
問14-1(1) 教育・保育事業の実施場所



問15-1 教育・保育事業の希望実施場所



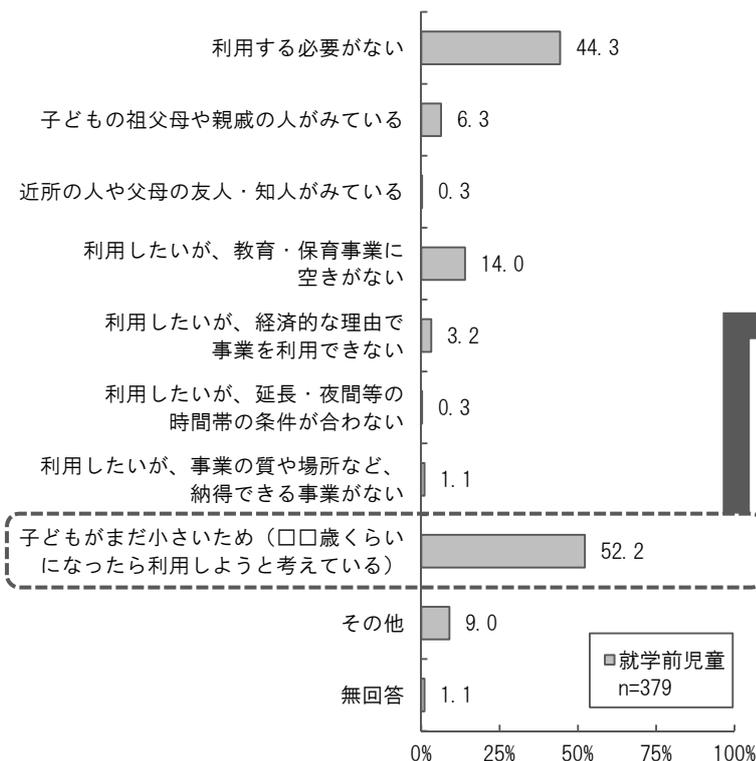
問15-2 幼稚園の利用意向（強く希望）の有無



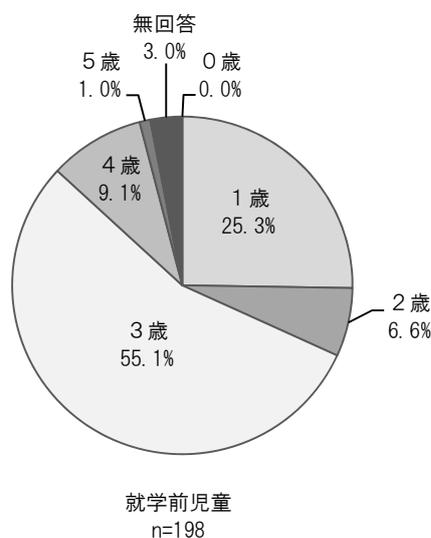
○平日に教育・保育事業を利用していない理由をみると、就学前児童では、「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）」（52.2%）が最も高く、次いで「利用する必要がある」（44.3%）となっています。

○「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）」と回答した人のうち、教育・保育事業の利用を希望する子どもの年齢をみると、就学前児童では、「3歳」（55.1%）が最も高くなっています。

問14-2 教育・保育事業を利用していない理由（複数回答）

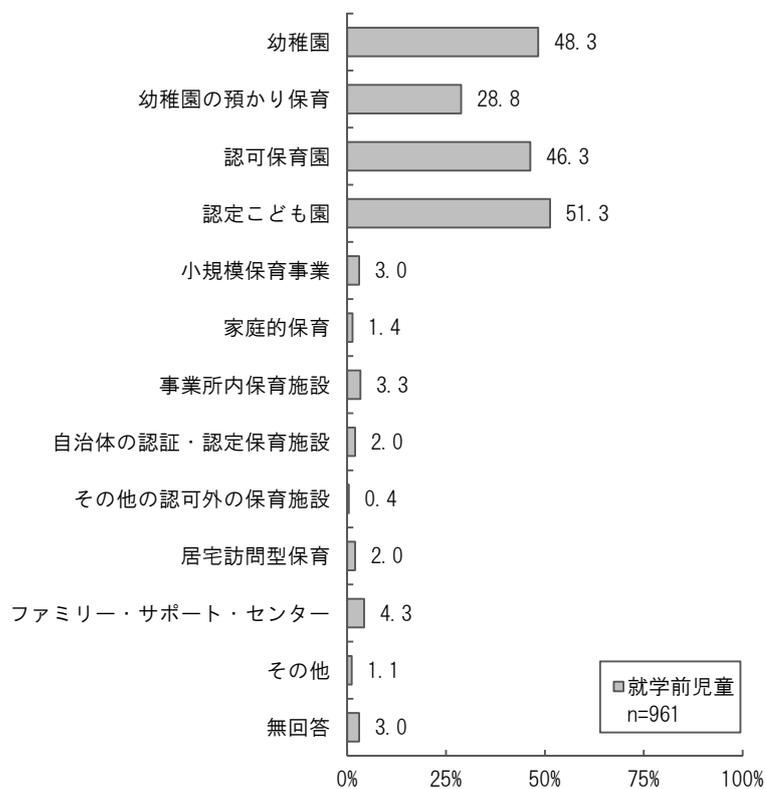


問14-2.8 利用を希望する子どもの年齢



○無償化が実施された場合に利用したい定期的な教育・保育事業をみると、就学前児童では、「認定こども園」(51.3%)が最も高く、次いで「幼稚園」(48.3%)、「認可保育園」(46.3%)となっています。

問14-1(2) 無償化が実施された場合に利用したい定期的な教育・保育事業（複数回答）



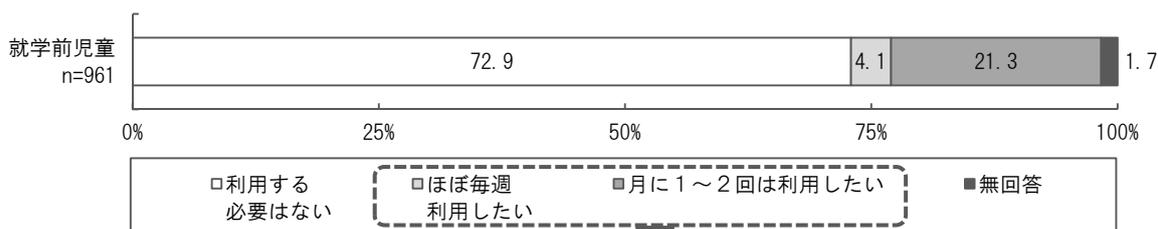
2 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

(1) 土曜と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

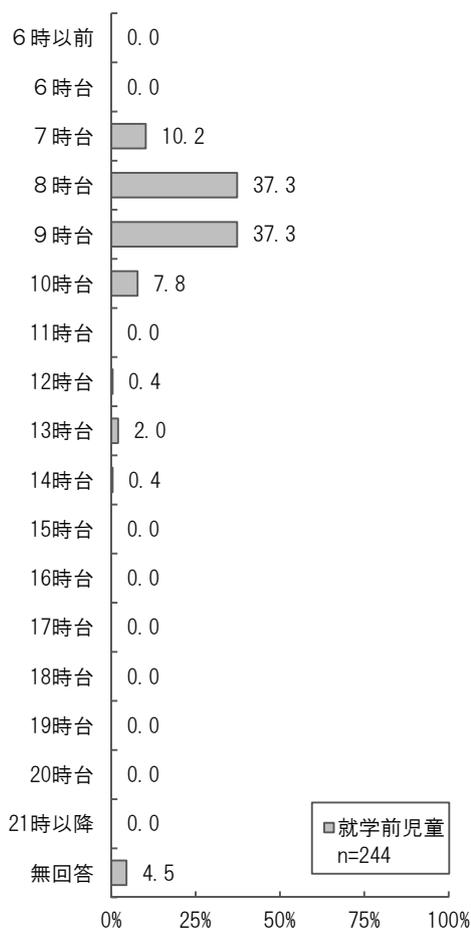
○土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向をみると、「ほぼ毎週利用したい」(4.1%)、「月に1～2回は利用したい」(21.3%)となっています。

○利用希望者の利用したい時間帯をみると、開始時間で「8時台」「9時台」(各37.3%)、終了時間で「17時台」(33.2%)が最も高くなっています。

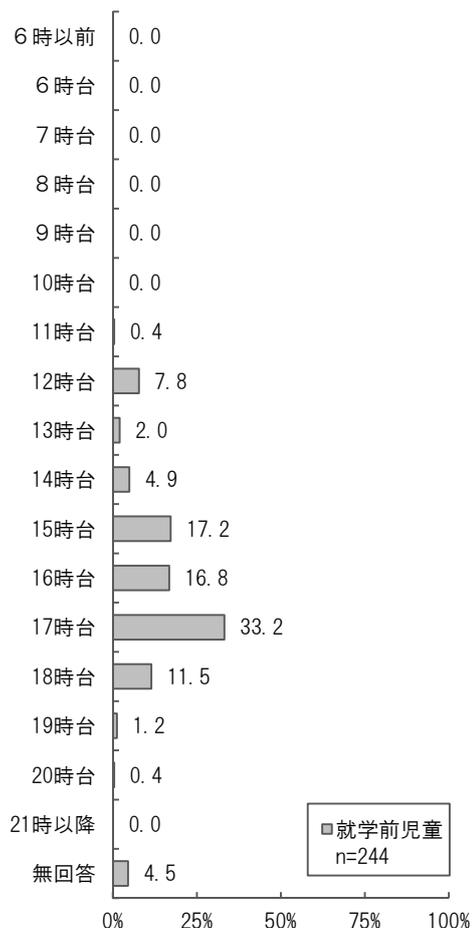
問21(1) 土曜日の利用希望



問21(1) 希望開始時間

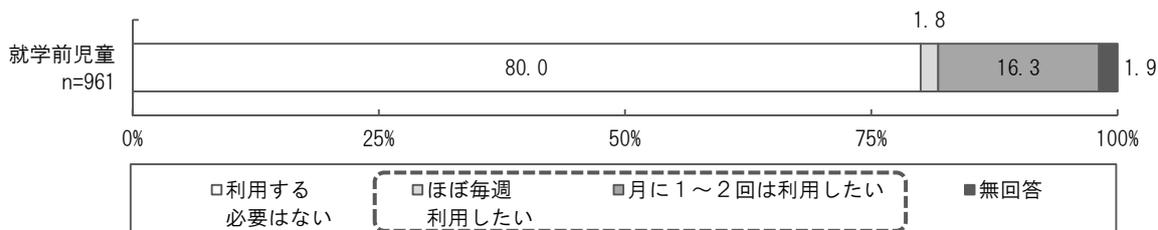


問21(1) 希望終了時間

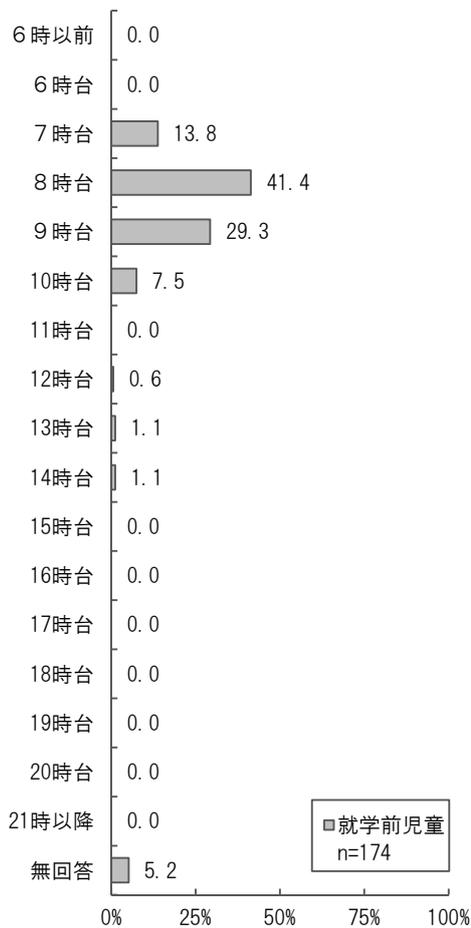


- 日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向をみると、「ほぼ毎週利用したい」(1.8%)、「月に1～2回は利用したい」(16.3%)となっています。
- 利用希望者の利用したい時間帯をみると、開始時間で「8時台」(41.4%)、終了時間で「17時台」(36.2%)が最も高くなっています。

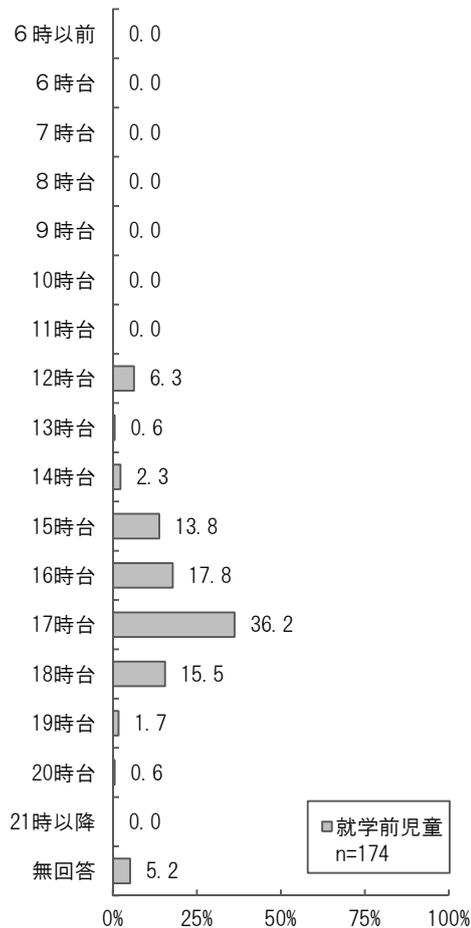
問21(2) 日曜・祝日の利用希望



問21(2) 希望開始時間

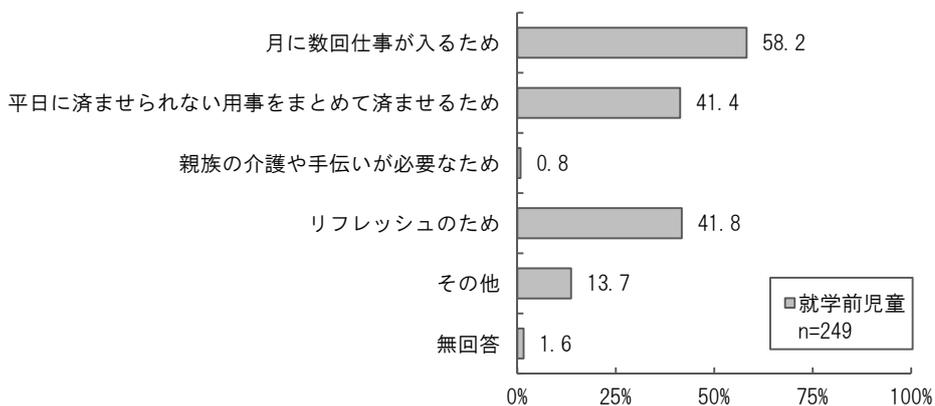


問21(2) 希望終了時間



○土曜日と日曜日において「月に1～2回は利用したい」と回答した方の理由をみると、「月に数回仕事が入るため」(58.2%)が最も高く、次いで「リフレッシュのため」(41.8%)、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(41.4%)となっています。

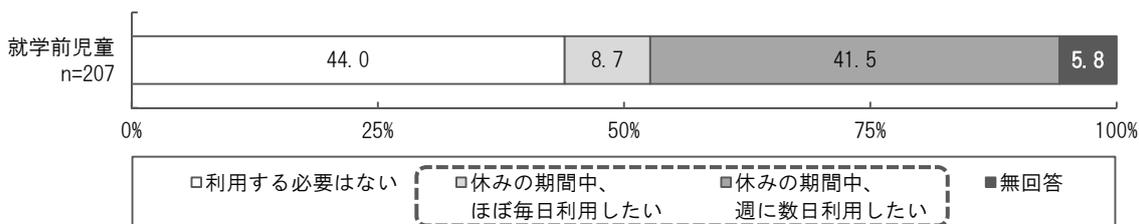
問21-1 毎週ではなく「月に1～2回利用したい」理由（複数回答）



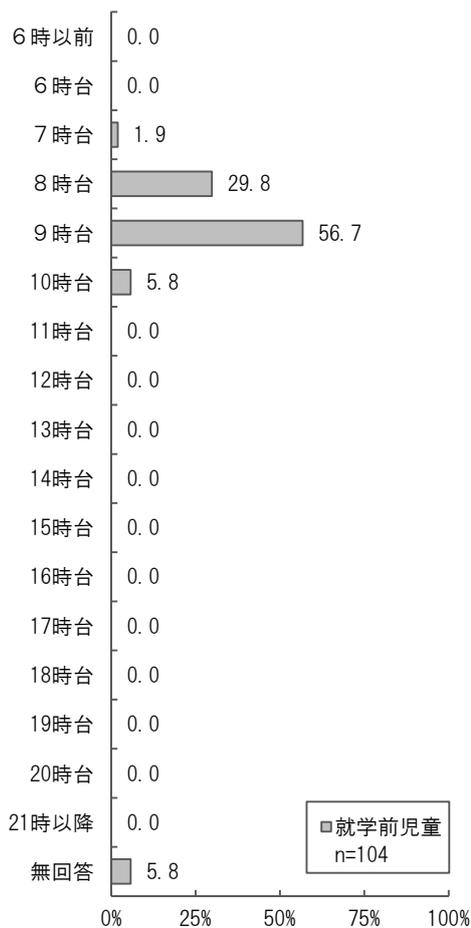
(2) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

○長期休暇中の教育・保育事業の利用意向をみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(8.7%)、「休みの期間中、週に数日利用したい」(41.5%)となっています。
 ○利用希望者の利用したい時間帯をみると、開始時間で「9時台」(56.7%)、終了時間で「15時台」(41.3%)が最も高くなっています。

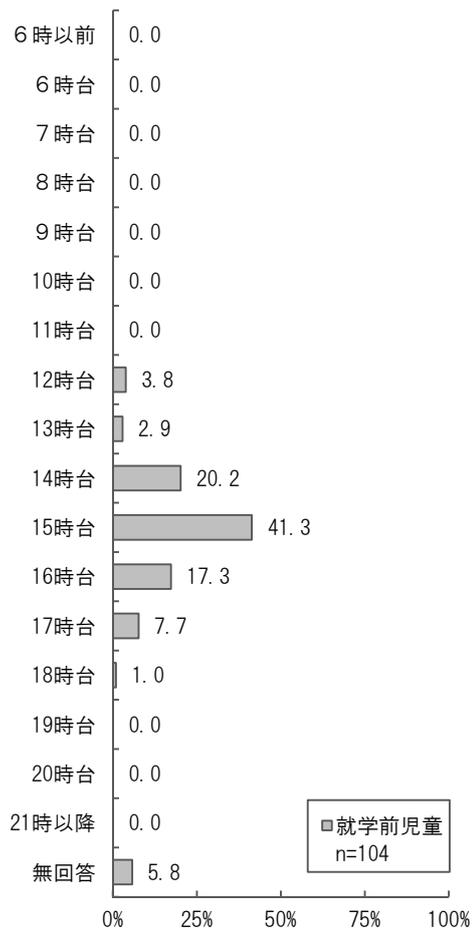
問22 長期休暇中の教育・保育事業利用希望



問22 希望開始時間

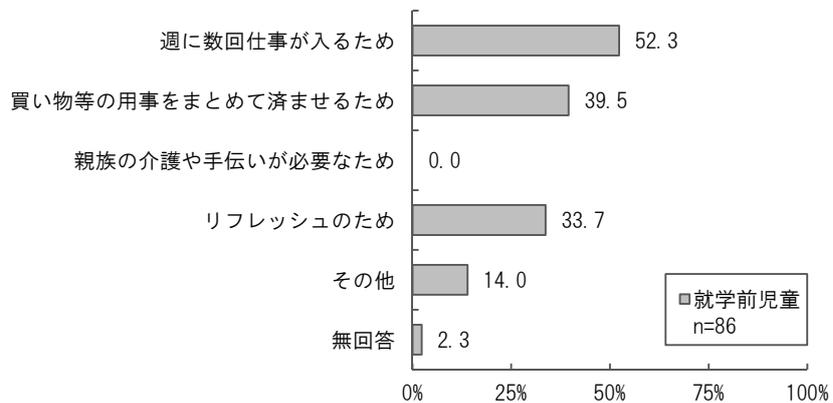


問22 希望終了時間



○長期休暇中において「休みの期間中は、週に数日利用したい」と回答した方の理由をみると、「週に数回仕事が入るため」(52.3%)が最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(39.5%)、「リフレッシュのため」(33.7%)となっています。

問22-1 「休みの期間中、週に数日利用したい」理由（複数回答）

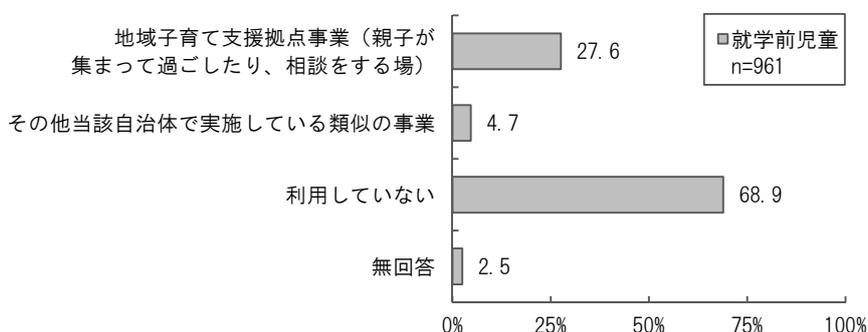


3 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用希望

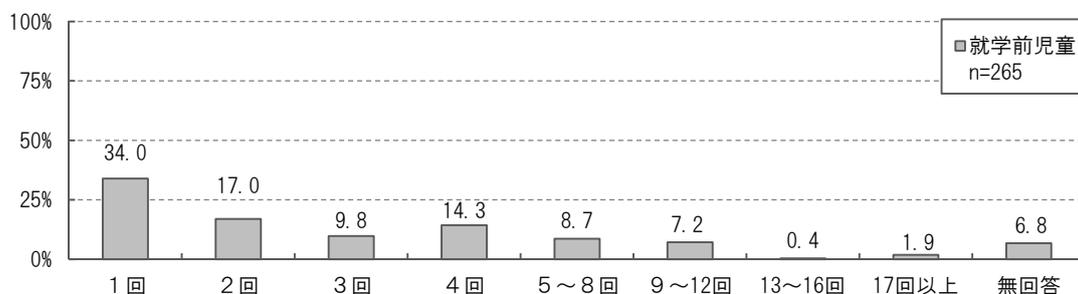
(1) 地域の子育て支援拠点事業の利用状況

- 地域の子育て支援拠点事業の利用状況をみると、「地域子育て支援拠点事業を利用している方」は27.6%となっています。
- 「地域子育て支援拠点事業」利用者の1か月当たりの利用回数をみると、「1回」(34.0%)が最も高く、次いで「2回」(17.0%)となっています。
- 「自治体で実施している類似の事業」の利用者の1か月当たりの利用回数をみると、「1回」(28.9%)が最も高く、次いで「2回」(24.4%)となっています。

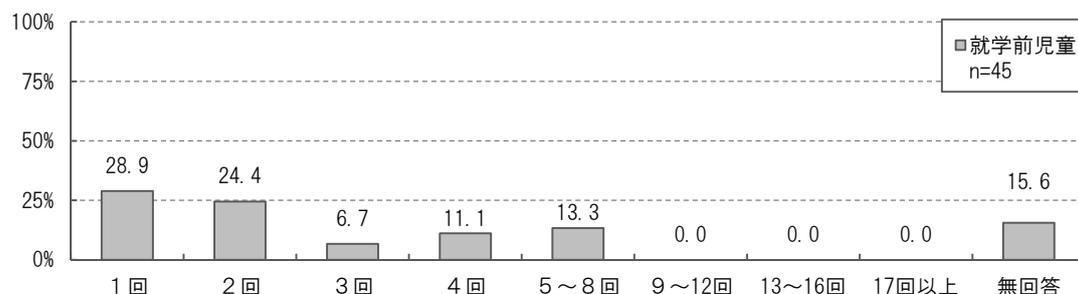
問17 地域子育て支援拠点事業の利用状況（複数回答）



問17.1 地域子育て支援拠点事業の利用回数（1か月当たり）

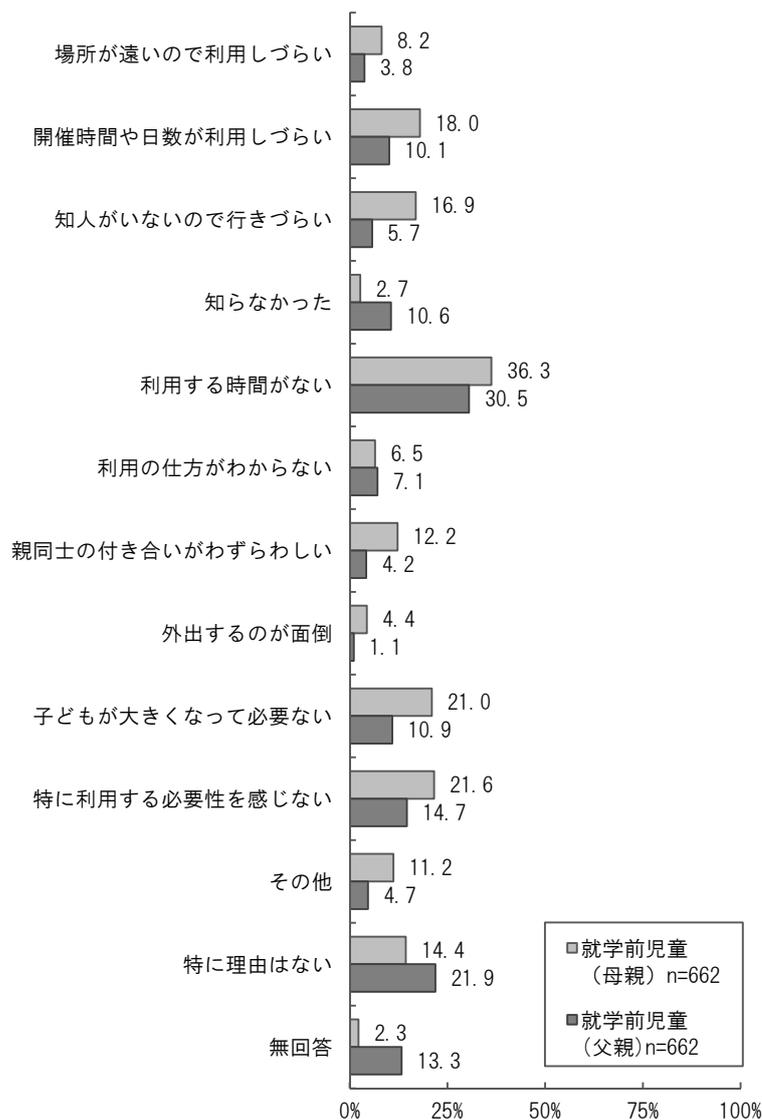


問17.2 自治体で実施している類似の事業の利用回数（1か月当たり）



○子育て支援拠点事業の利用について「利用していない」と回答した方の理由をみると、母親・父親いずれも、「利用する時間がない」（母親36.3%・父親30.5%）が最も高く、次いで母親では「特に使用する必要性を感じない」（21.6%）、「子どもが大きくなって必要ない」（21.0%）、父親では、「特に理由はない」（21.9%）、「特に利用する必要性を感じない」（14.7%）となっています。

問17-1 地域子育て支援拠点事業を利用していない理由（複数回答）



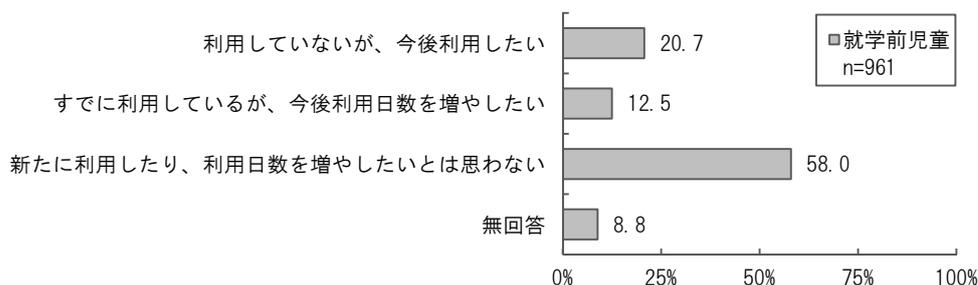
(2) 今後の利用意向

○地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向をみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が6割近くを占めています。

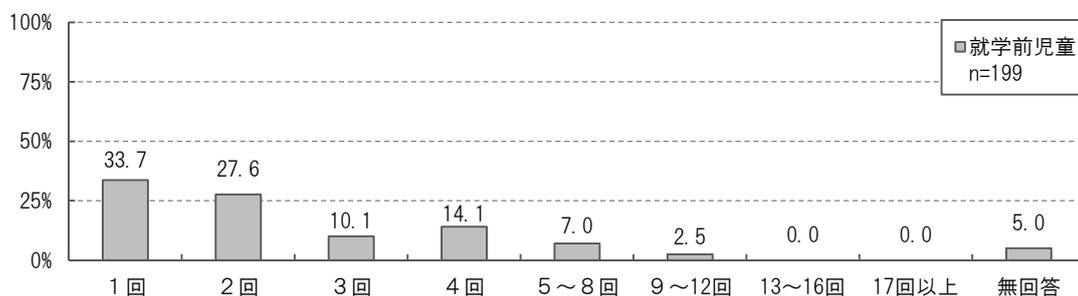
○未利用者の今後の1か月利用希望回数をみると、「1回」(33.7%)が最も高く、次いで「2回」(27.6%)となっています。

○既利用者が今後増やしたい1か月当たりの利用回数をみると、「4回」(30.8%)が最も高く、次いで「2回」(20.0%)、「1回」(12.5%)となっています。

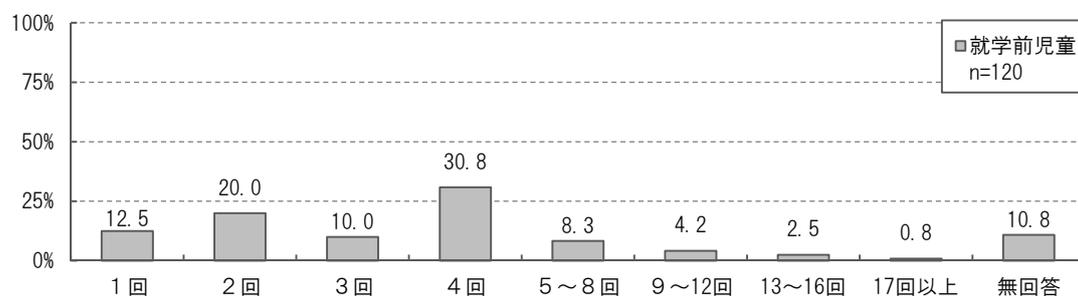
問18 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向



問18.1 未利用者の今後の利用希望回数（1か月当たり）



問18.2 既利用者の今後増やしたい利用回数（1か月当たり）



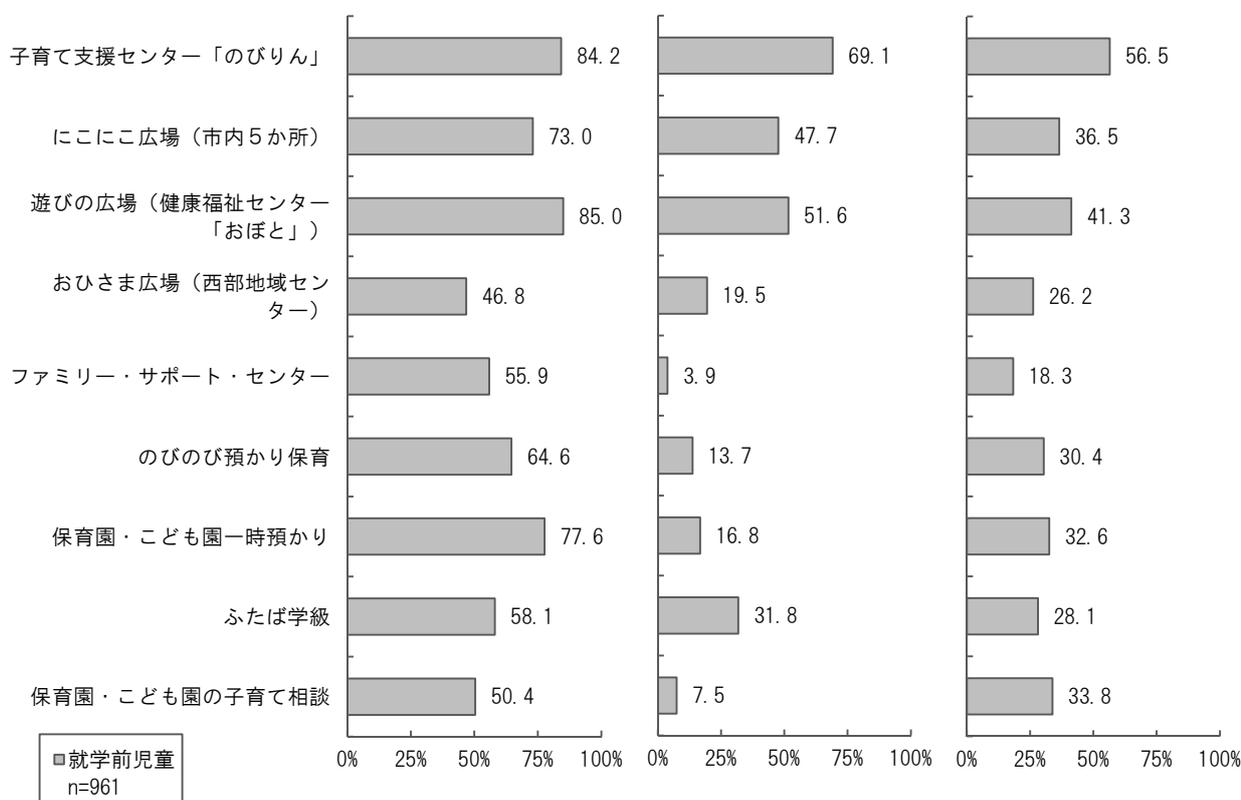
(3) 子育て支援事業の周知度・利用状況と今後の利用意向について

○子育て支援事業の周知度をみると、「遊びの広場（健康福祉センター「おぼと）」（85.0%）が最も高く、次いで「子育て支援センター「のびりん）」（84.2%）となっています。

○子育て支援事業の利用状況をみると、「子育て支援センター「のびりん）」（69.1%）が最も高く、次いで「遊びの広場（健康福祉センター「おぼと）」」（51.6%）となっています。

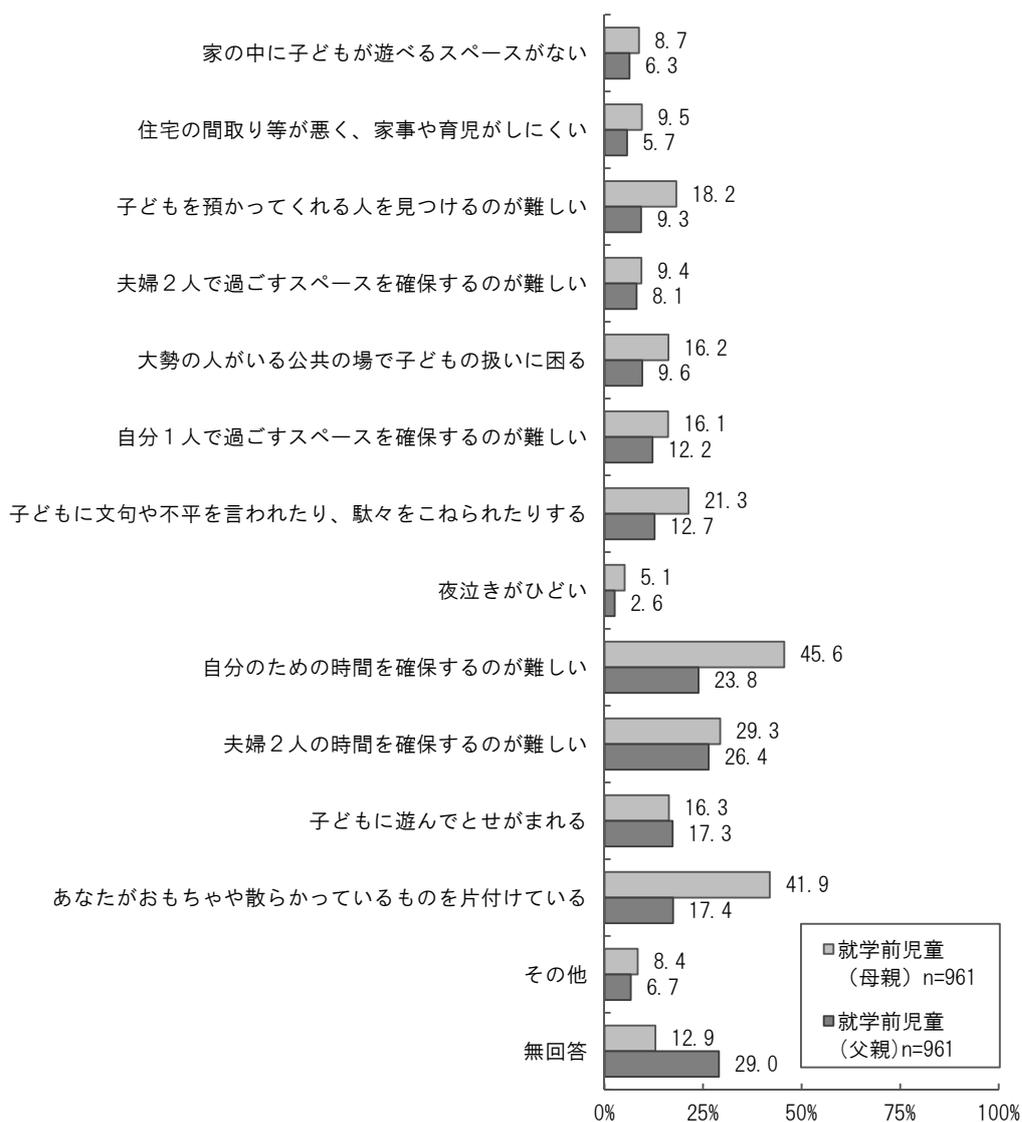
○子育て支援事業の今後の利用意向をみると、「子育て支援センター「のびりん）」（56.5%）が最も高く、次いで「遊びの広場（健康福祉センター「おぼと）」」（41.3%）となっています。

問19 A. 知っている B. これまでに利用したことがある C. 今後利用したい



○子育てについての困りごとをみると、母親では「自分のための時間を確保するのが難しい」(45.6%)が最も高く、次いで「あなたがおもちゃや散らかっているものを片付けている」(41.9%)となっています。父親では「夫婦2人の時間を確保するのが難しい」(26.4%)が最も高く、次いで「自分のための時間を確保するのが難しい」(23.8%)となっています。

問20 子育てについての困りごと（複数回答）



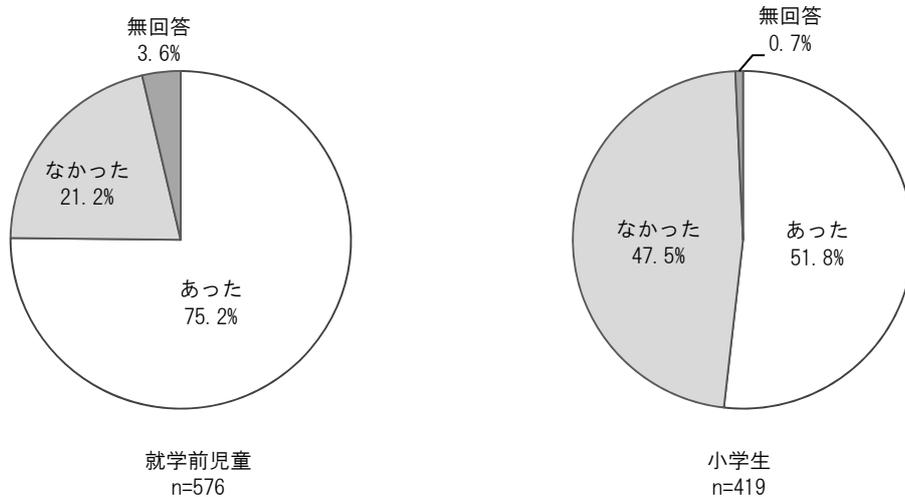
4 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

(1) 病気やケガで保育所や幼稚園が利用できない時の対処について

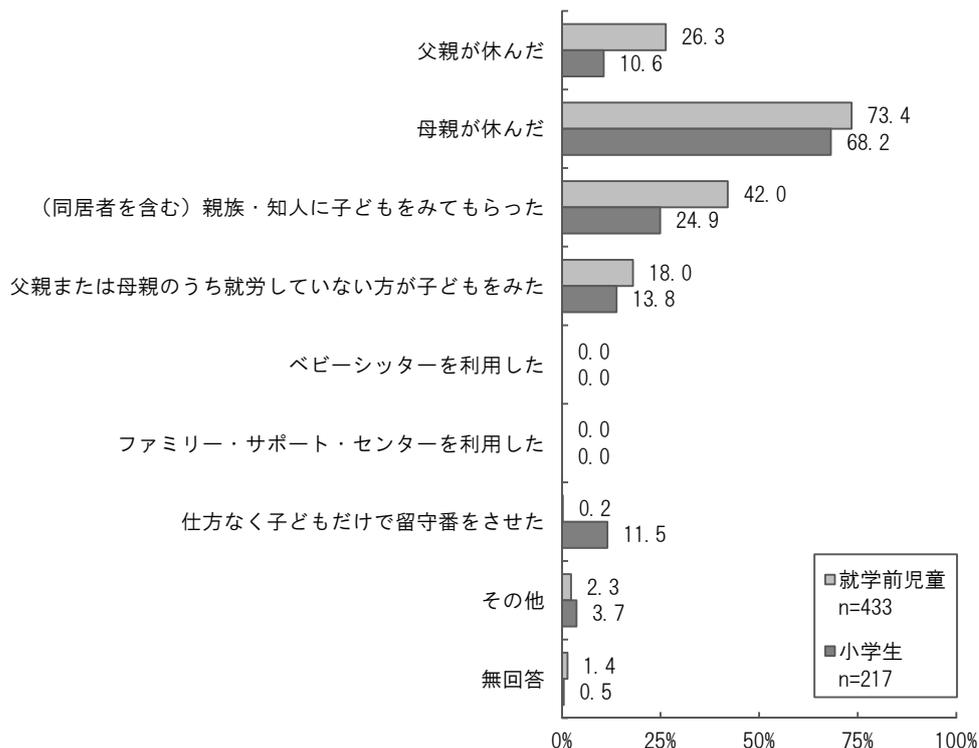
○病気やケガで、普段の教育・保育の事業が利用できなかったことが、「あった」と回答した方をみると、就学前児童では75.2%、小学生では51.8%となっています。

○その際の対処方法をみると、就学前児童・小学生いずれも「母親が休んだ」(就学前児童73.4%・小学生68.2%)が最も高く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」(就学前児童42.0%・小学生24.9%)となっています。

問23[問13] 病気やケガで普段の教育・保育の事業が利用できなかったことの有無

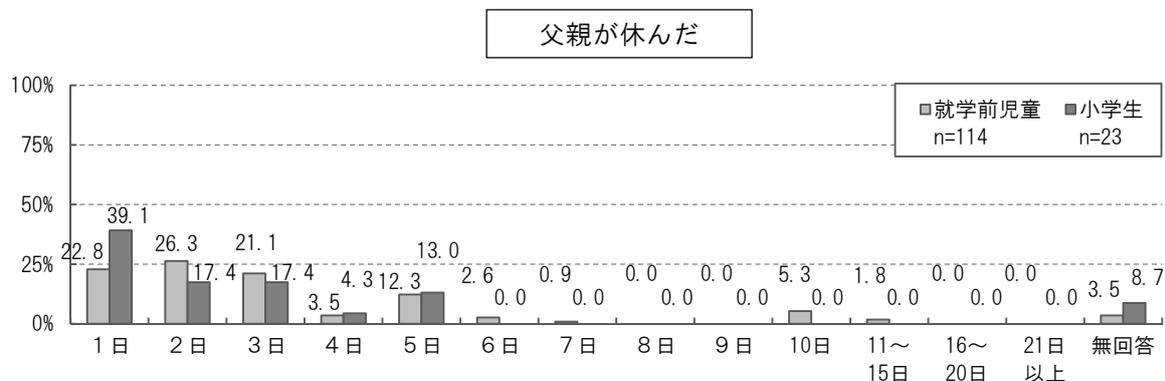


問23-1[問13-1] この1年間の対処方法 (複数回答)

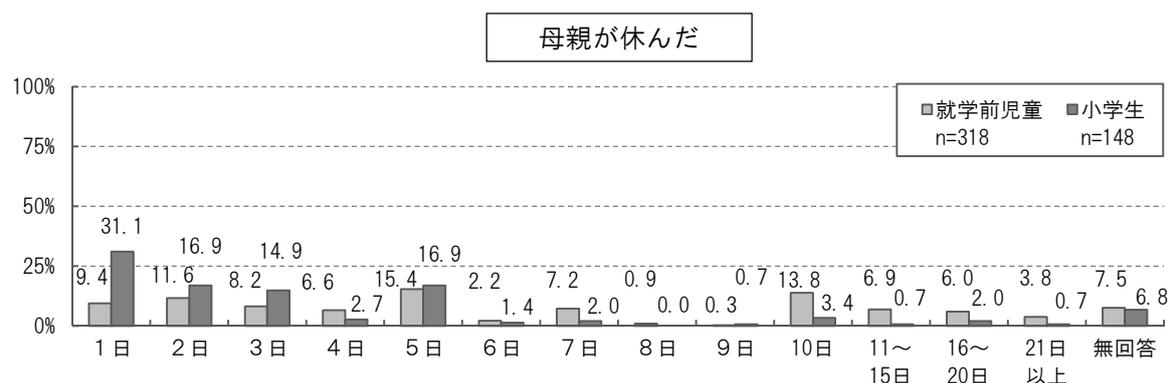


○対処方法別にこの1年間の対処日数をみると、『父親が休んだ日数』は、就学前児童では「2日」(26.3%)、小学生では「1日」(39.1%)が最も高くなっています。

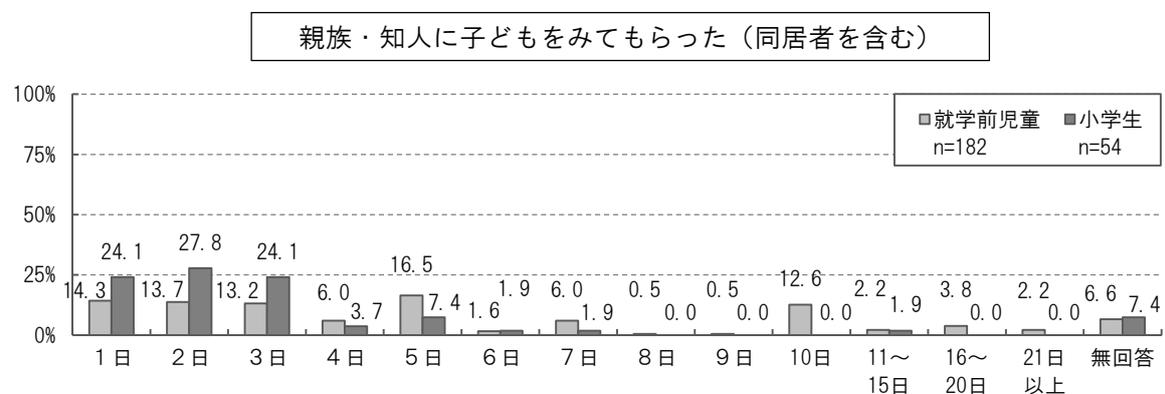
問23-1[問13-1] この1年間の対処方別の日数



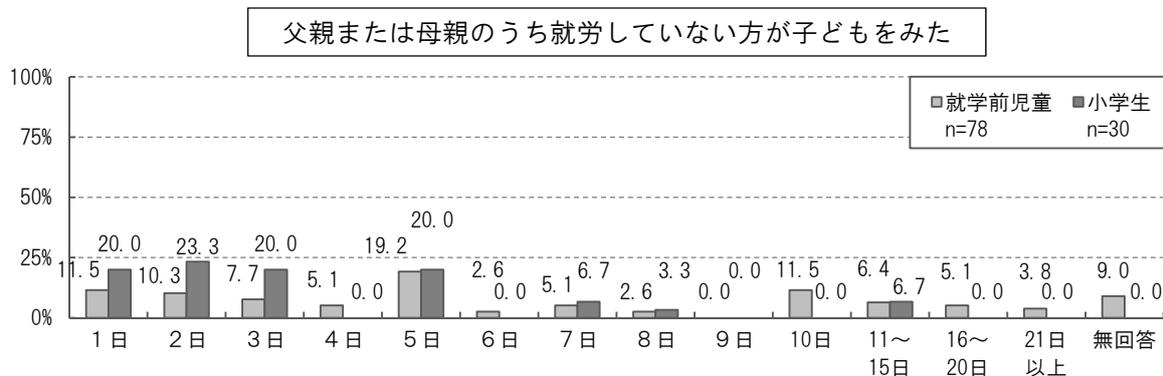
○『母親が休んだ日数』は、就学前児童では「5日」(15.4%)、小学生では「1日」(31.1%)が最も高くなっています。



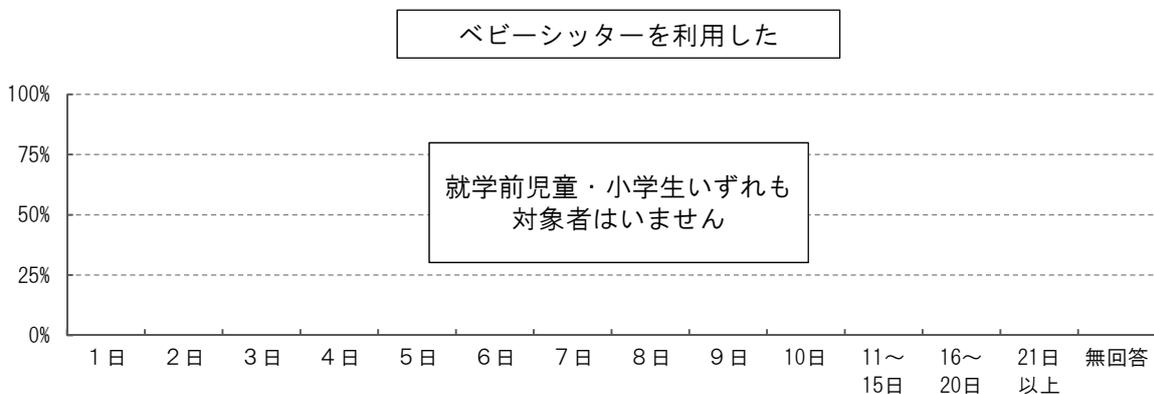
○『親族・知人に子どもをみてもらった日数』は、就学前児童では「1日」(14.3%)、小学生では「2日」(27.8%)が最も高くなっています。



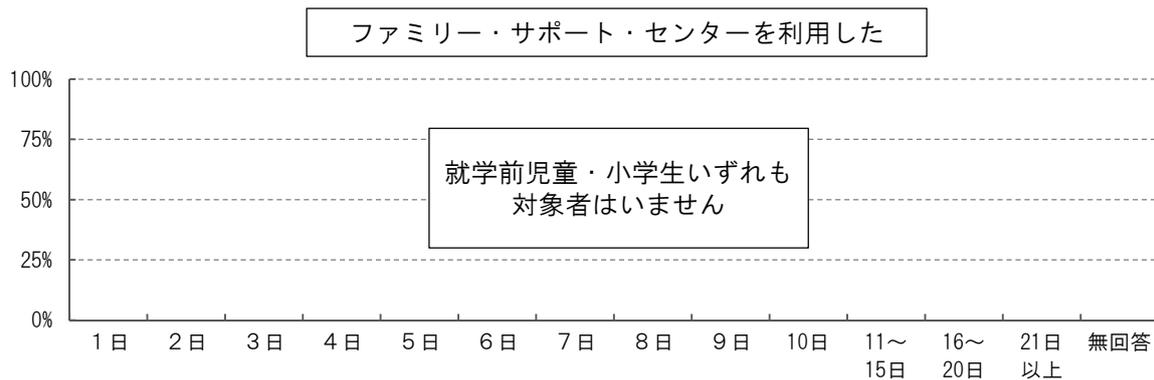
○『父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた日数』は、就学前児童では、「5日」(19.2%)が最も高く、小学生では、「2日」(23.3%)となっています。



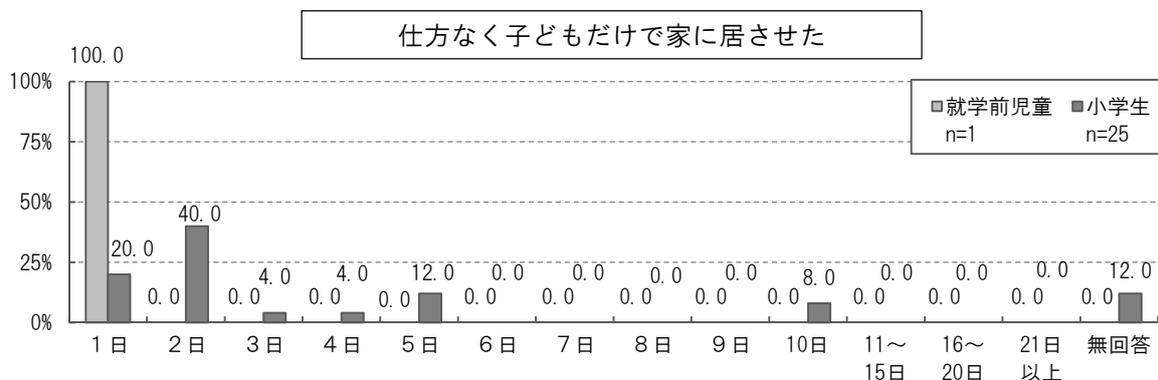
○『ベビーシッターを利用した日数』は、対象者がいません。



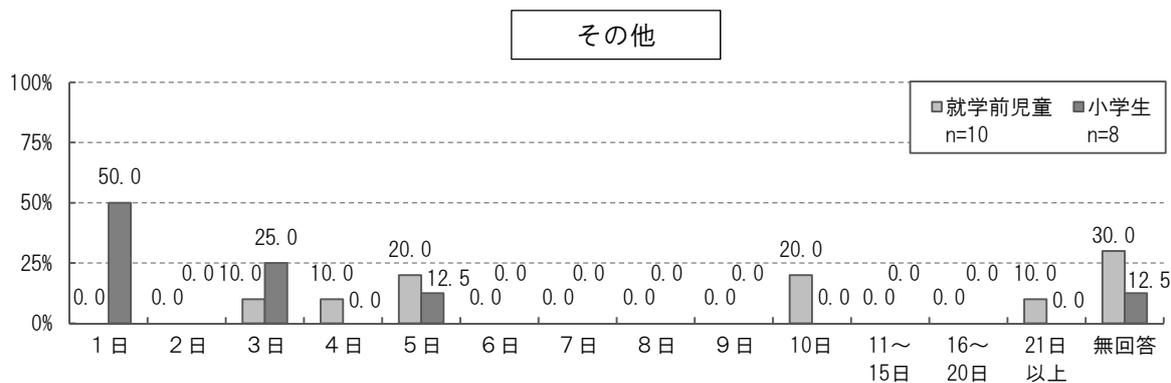
○『ファミリー・サポート・センターの送迎等を利用した日数』は、対象者がいません。



○『仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数』は、就学前児童では、「1日」が1人となっています。小学生では、「2日」(40.0%)が最も高くなっています。



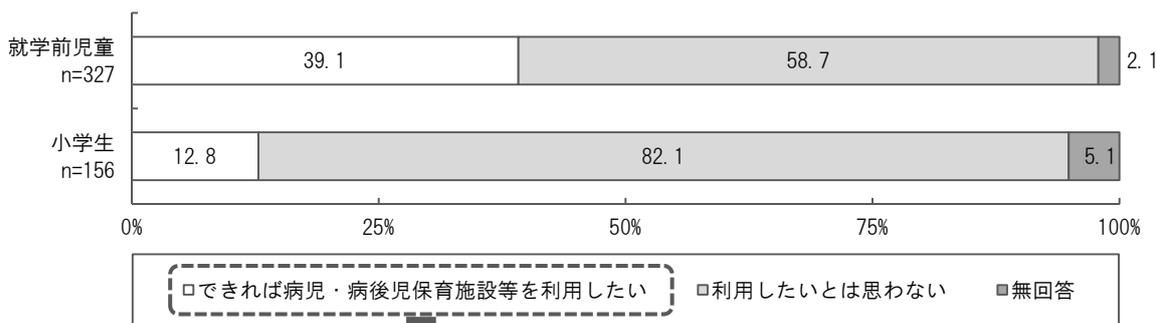
○『その他』は、就学前児童では、「5日」「10日」(各20.0%)が最も高く、小学生では、「1日」(50.0%)となっています。



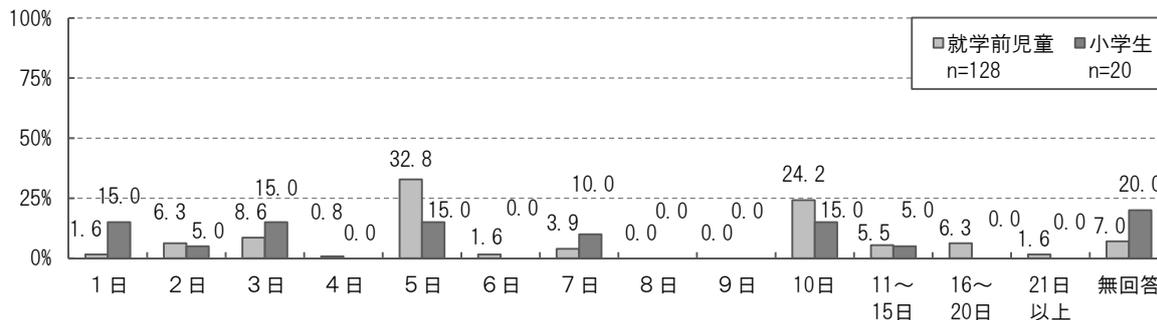
○父親・母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用意向をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方は、就学前児童では39.1%、小学生では12.8%となっています。

○その際の年間利用希望日数をみると、就学前児童では「5日」(32.8%)、小学生では「1日」「3日」「5日」「7日」「10日」(各15.0%)が最も高くなっています。

問23-2[問13-2] 父親・母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用意向



問23-2.1[問13-1.1] 病児・病後児保育施設の年間利用希望日数

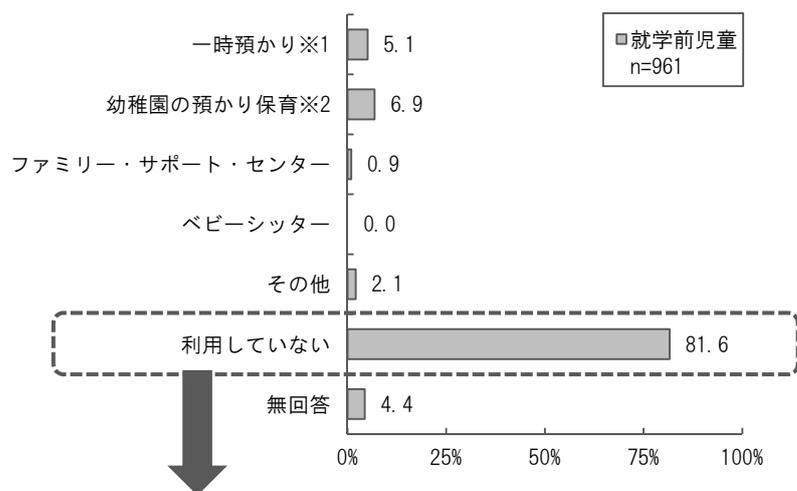


5 不定期の一時保育の利用について

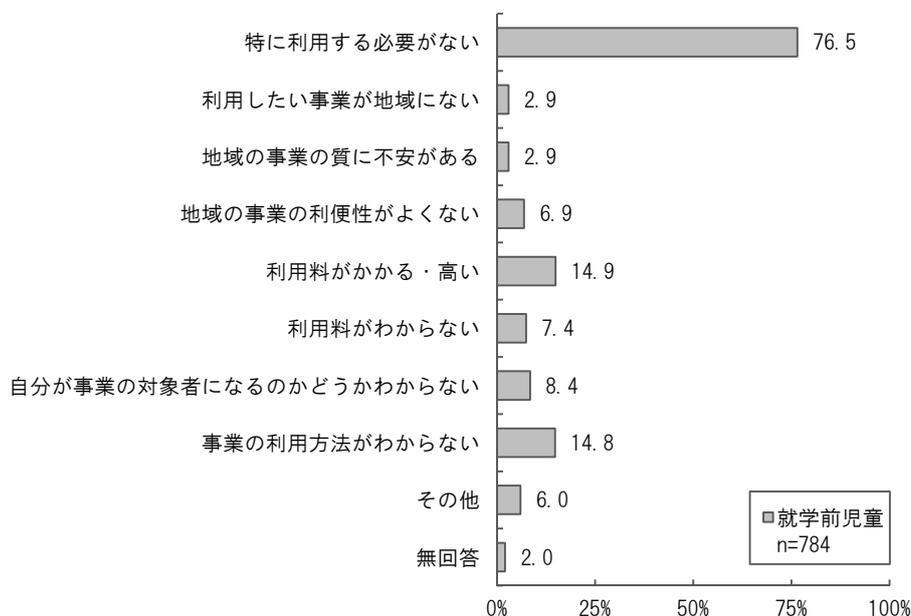
(1) 不定期に利用している教育・保育事業の状況

- 不定期に利用している教育・保育事業の状況を見ると、「利用していない」が8割を占め、「幼稚園の預かり保育」(6.9%)、「一時預かり」(5.1%)となっています。
- 「利用していない」理由をみると、「特に利用する必要がない」が8割近くを占めています。

問24 不定期に利用している教育・保育事業（複数回答）



問24-1 現在利用していない理由（複数回答）

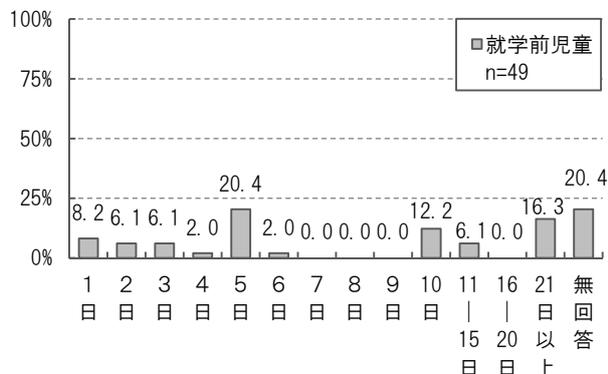


※1 一時預かり: 私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業

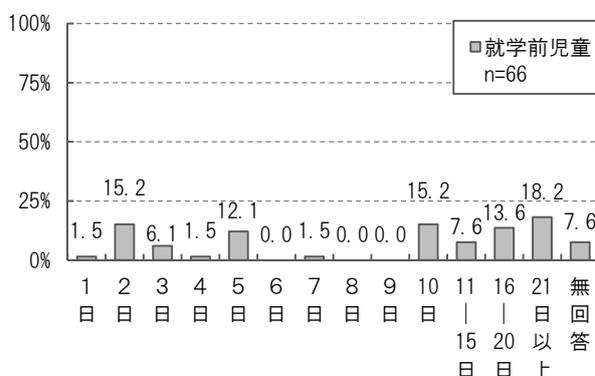
※2 幼稚園の預かり保育: 通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ

○事業別の年間利用日数は、以下のとおりです。

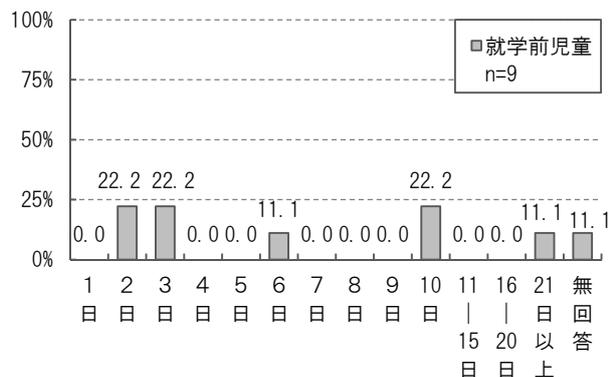
問24.1 「一時預かり」年間利用日数



問24.2 「私立幼稚園の預かり保育」年間利用日数



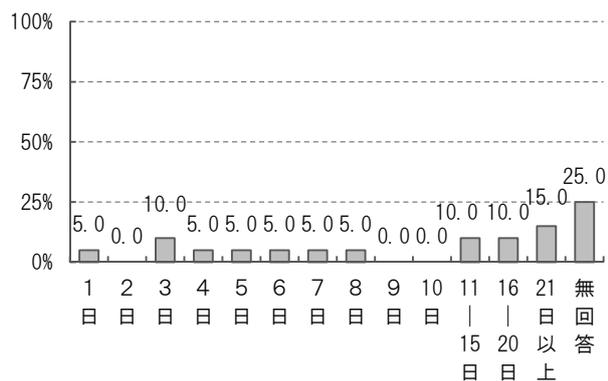
問24.3 「ファミリー・サポート・センター事業」年間利用日数



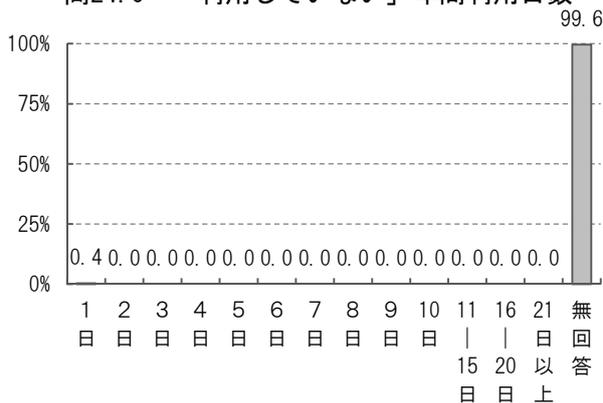
問24.4 「ベビーシッター」年間利用日数



問24.5 「その他」年間利用日数

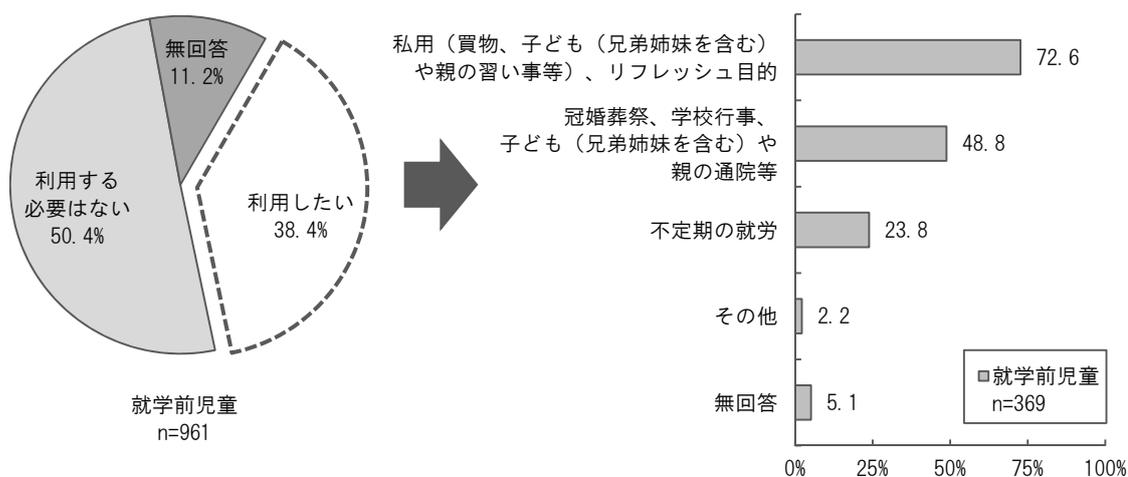


問24.6 「利用していない」年間利用日数

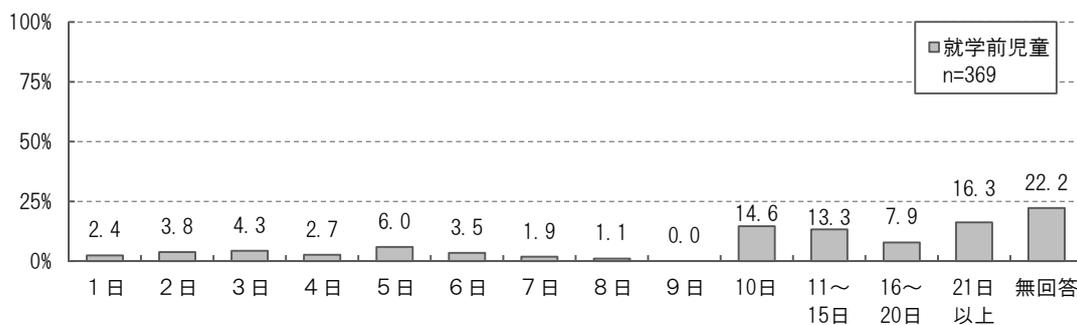


- 一時保育事業の利用希望をみると、「利用したい」と回答した方は、38.4%となっています。
- 一時保育事業の利用目的をみると、「私用、リフレッシュ目的」(72.6%)が最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」(48.8%)となっています。
- 利用希望年間合計日数をみると、「21日以上」(16.3%)が最も高くなっています。

問25 一時保育事業の利用希望とその目的（複数回答）



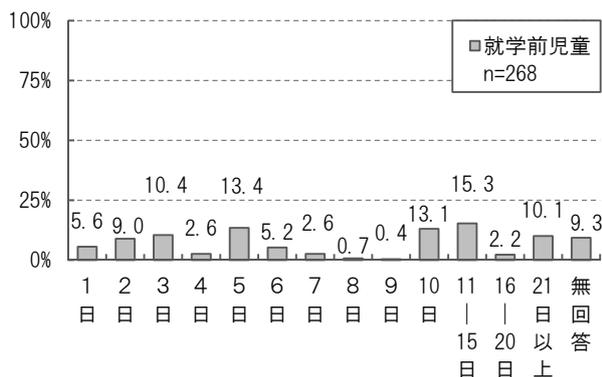
問25.1 一時保育事業の利用希望年間合計日数



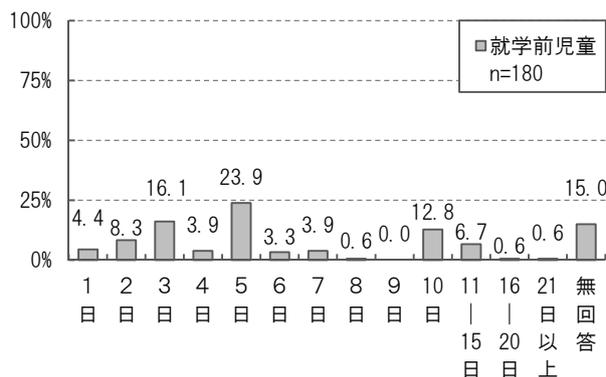
○目的ごとの年間利用希望日数をみると、『私用、リフレッシュ目的』では、「11-15日」(15.3%)、『冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等』では、「5日」(23.9%)、『不定期の就労』では、「21日以上」(20.5%)、『その他』では、「10日」(25.0%)が最も高くなっています。

○一時保育として子どもを預ける場合の望ましい事業形態をみると、『幼稚園・保育園』(85.4%)が最も高くなっています。

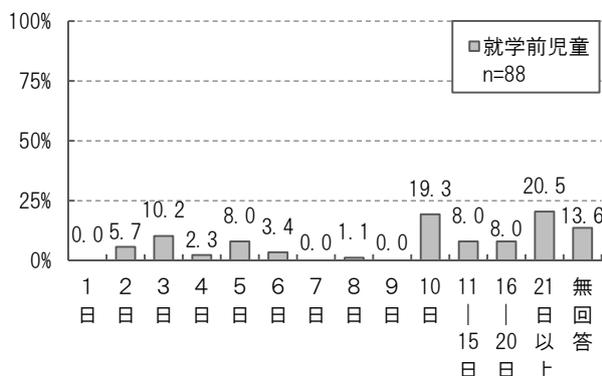
問25.1① 私用、リフレッシュ目的



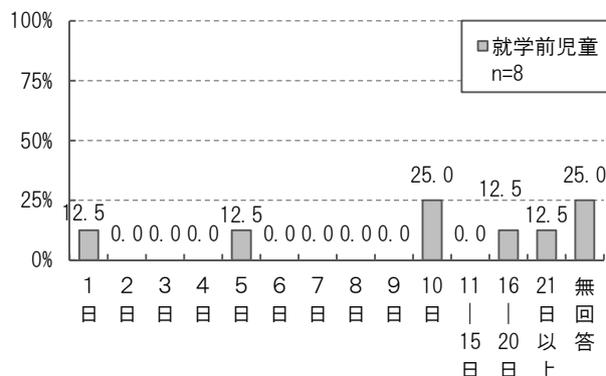
問25.1② 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等



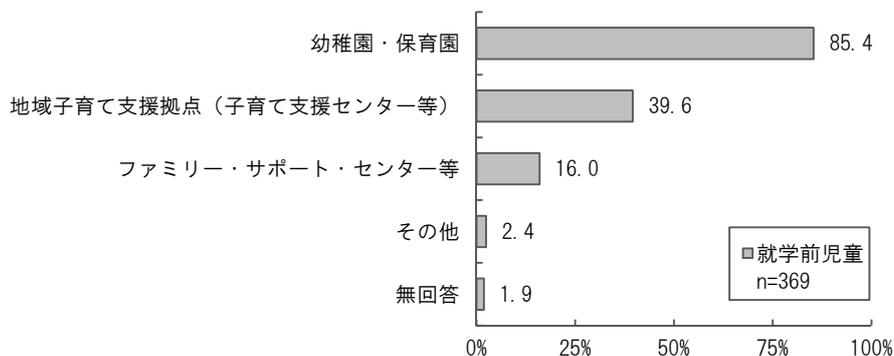
問25.1③ 不定期の就労



問25.1④ その他



問25-1 子どもを預ける場合の望ましい事業形態 (複数回答)



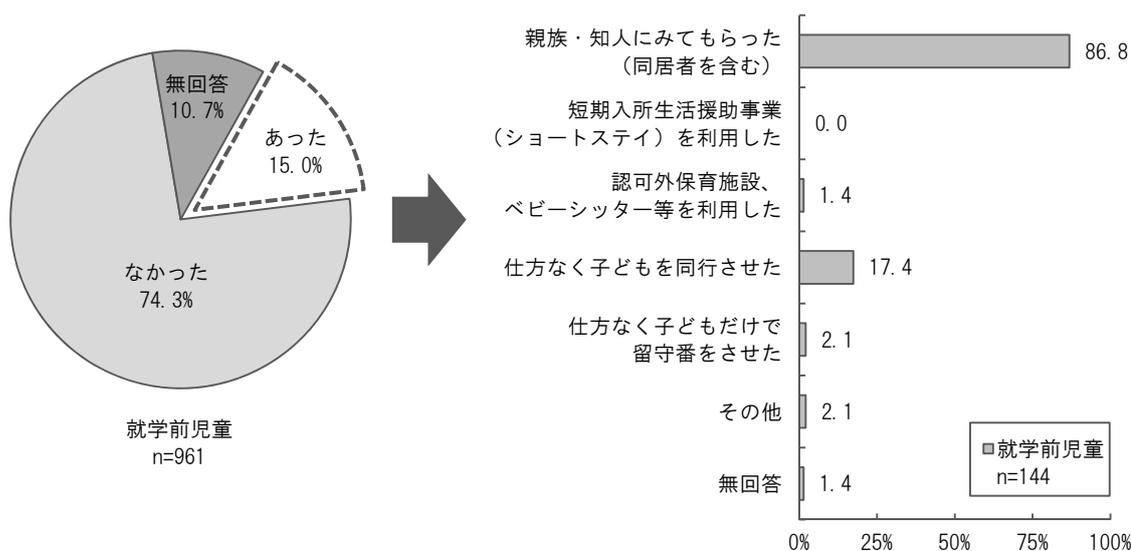
(2) 宿泊を伴う一時保育の利用状況

○この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけでみてもらったことが、「あった」と回答した方は、15.0%となっています。

○1年間の対処法をみると、「親族・知人にみてもらった」が8割以上を占めています。

問26 この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無

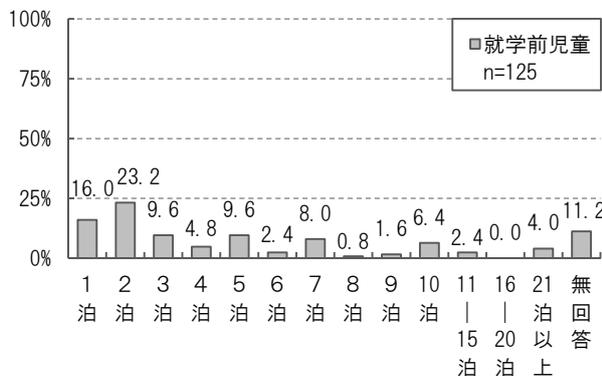
問26.1 1年間の対処方法（複数回答）



※短期入所生活援助事業：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業

○対処方法別の年間宿泊数を見ると、以下のとおりとなり、『(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった』は、「2泊」(23.2%) 最も高くなっています。

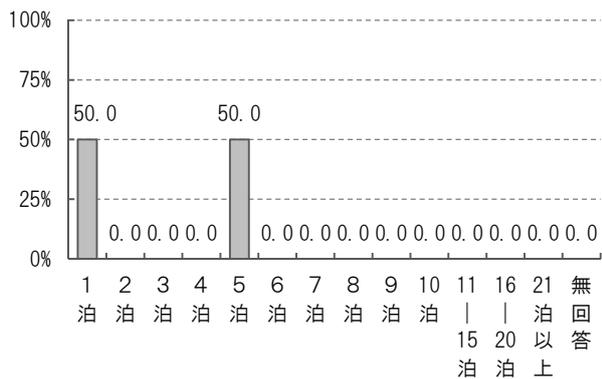
問26.1① 親族・知人にみてもらった
(同居者を含む)



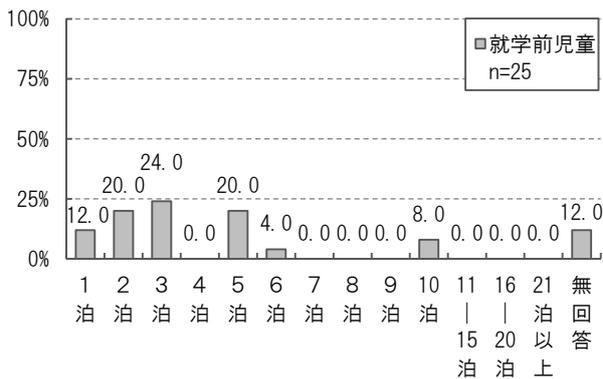
問26.1② 短期入所生活援助事業
(ショートステイ) を利用した



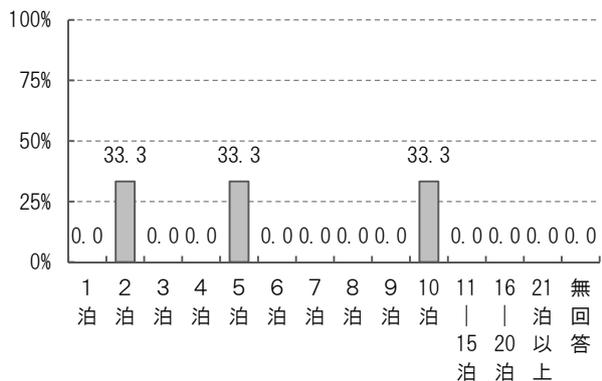
問26.1③ 認可外保育施設、ベビーシッター等の
保育事業を利用した



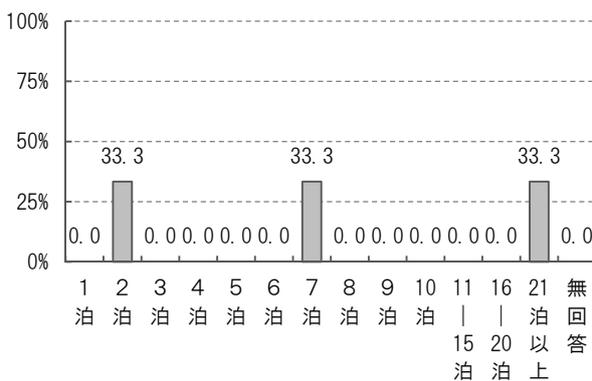
問26.1④ 仕方なく子どもを同行させた



問26.1⑤ 子どもだけで留守番をさせた



問26.1⑥ その他

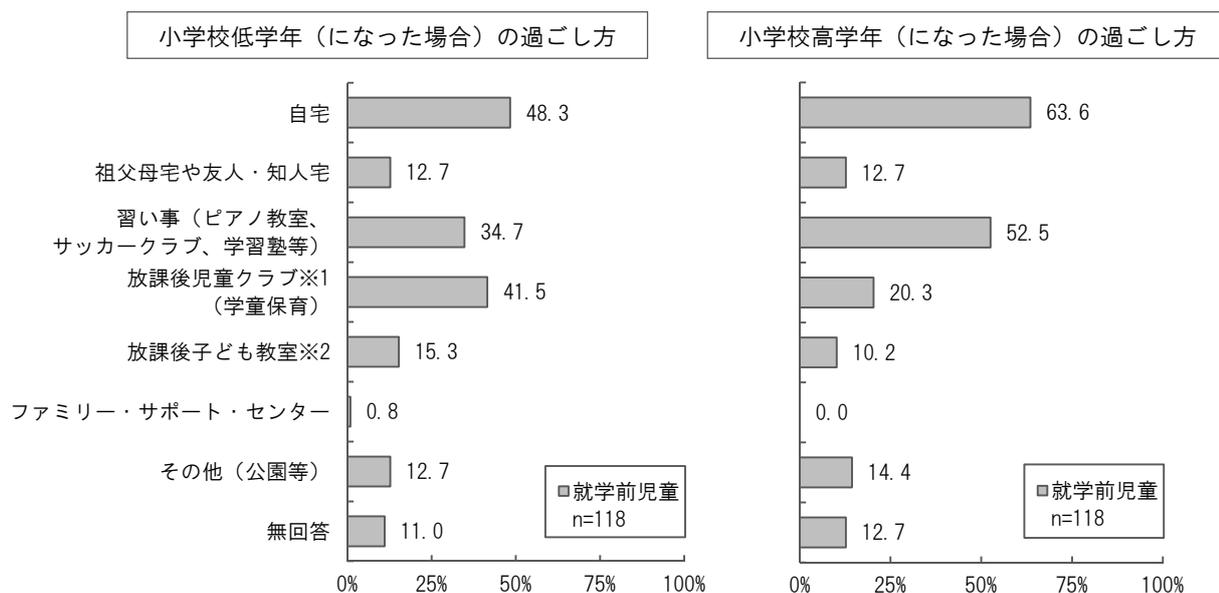


6 放課後の過ごし方について

(1) 平日の放課後の過ごし方について

○就学前児童における放課後の過ごし方の希望をみると、低学年のうちは「自宅」(48.3%)が最も高く、次いで「放課後児童クラブ(学童保育)」(41.5%)となっています。高学年になると、「自宅」(63.6%)が最も高く、次いで「習い事」(52.5%)となっています。

問27・問28 放課後の過ごし方(複数回答)



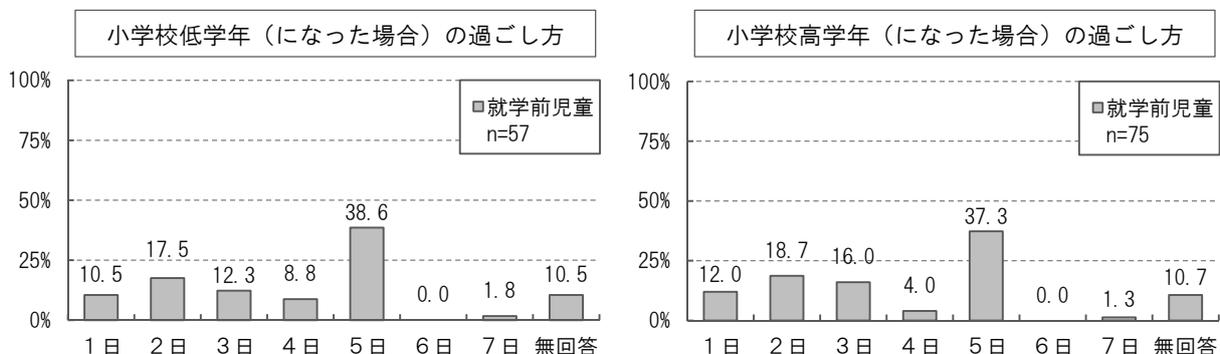
※「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生の意味です。

※1 放課後児童クラブ:地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

※2 放課後子ども教室:地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

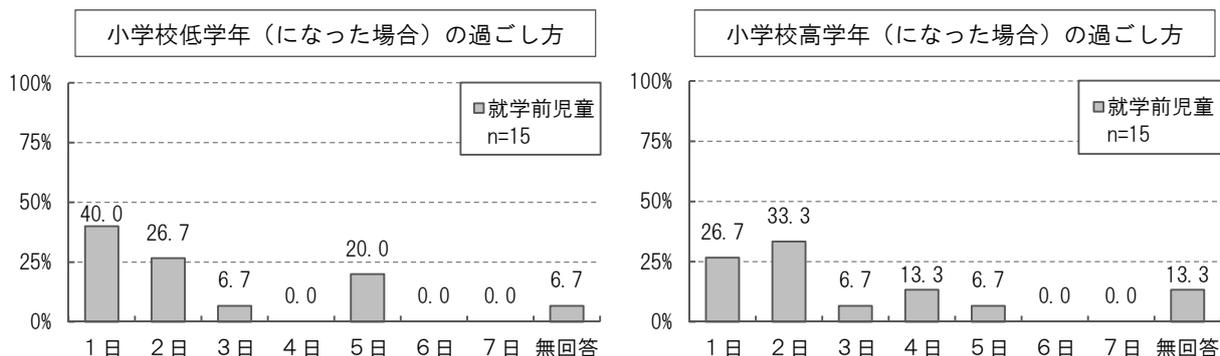
○保護者が放課後を過ごさせたい場所別に1週当たりの希望日数をみると、『自宅』は、低学年時期・高学年時期いずれも「5日」（低学年時期38.6%・高学年時期37.3%）が最も高くなっています。

問27.1・問28.1 「自宅」希望日数（1週当たり）



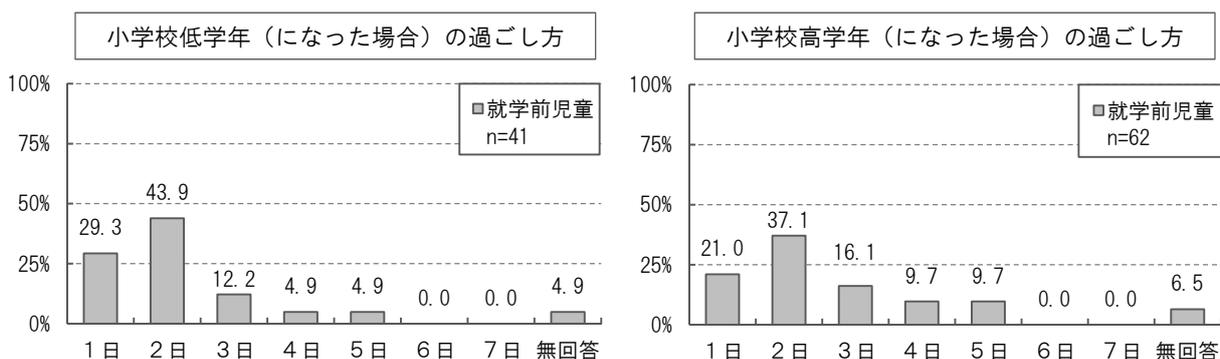
○『祖父母宅や友人・知人宅』は、低学年時期では、「1日」（40.0%）、高学年時期では、「2日」（33.3%）が最も高くなっています。

問27.2・問28.2 「祖父母宅や友人・知人宅」希望日数（1週当たり）



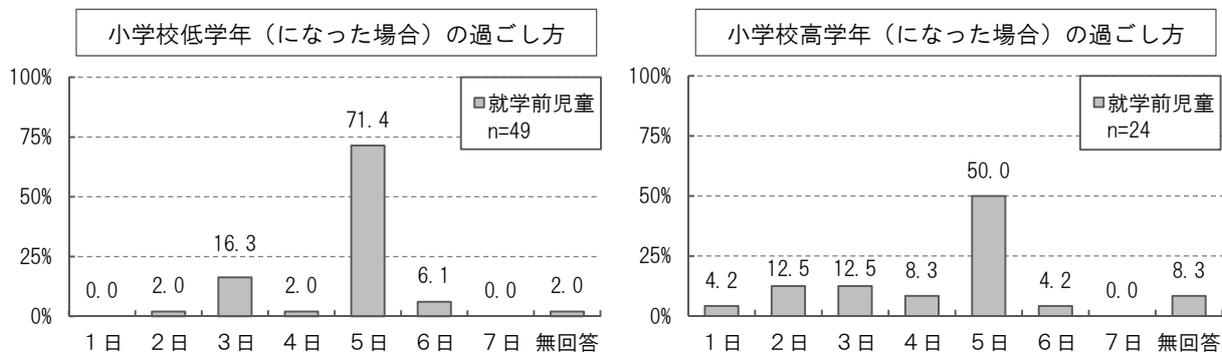
○『習い事』は、低学年時期・高学年時期いずれも「2日」（低学年時期43.9%・高学年時期37.1%）が最も高くなっています。

問27.3・問28.3 「習い事」希望日数（1週当たり）



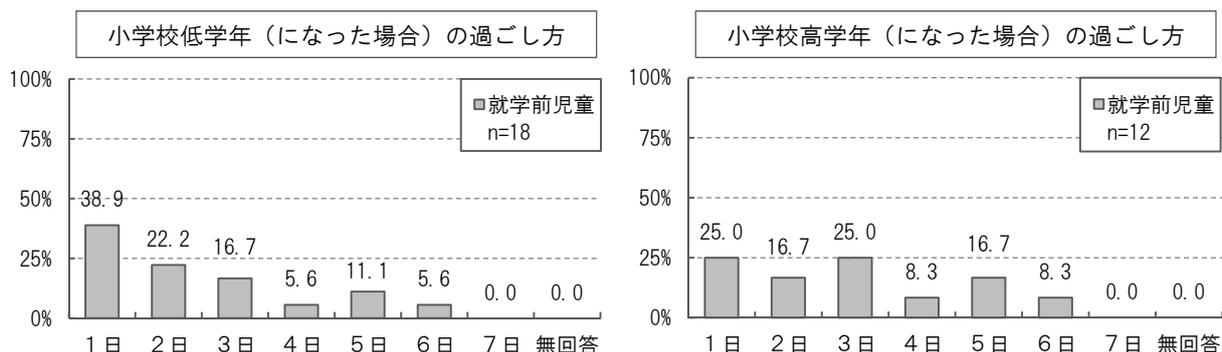
○『放課後児童クラブ（学童保育）』は、低学年時期・高学年時期いずれも「5日」（低学年時期71.4%・高学年時期50.0%）が最も高くなっています。

問27.4・問28.4 「放課後児童クラブ」希望日数（1週当たり）



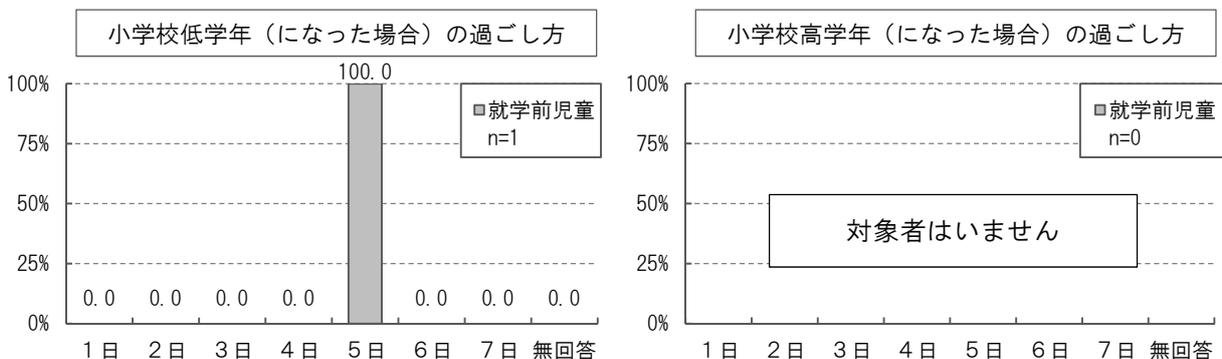
○『放課後子ども教室』は、低学年時期では、「1日」（38.9%）、高学年時期では、「1日」「3日」（各25.0%）が最も高くなっています。

問27.5・問28.5 「放課後子ども教室」希望日数（1週当たり）



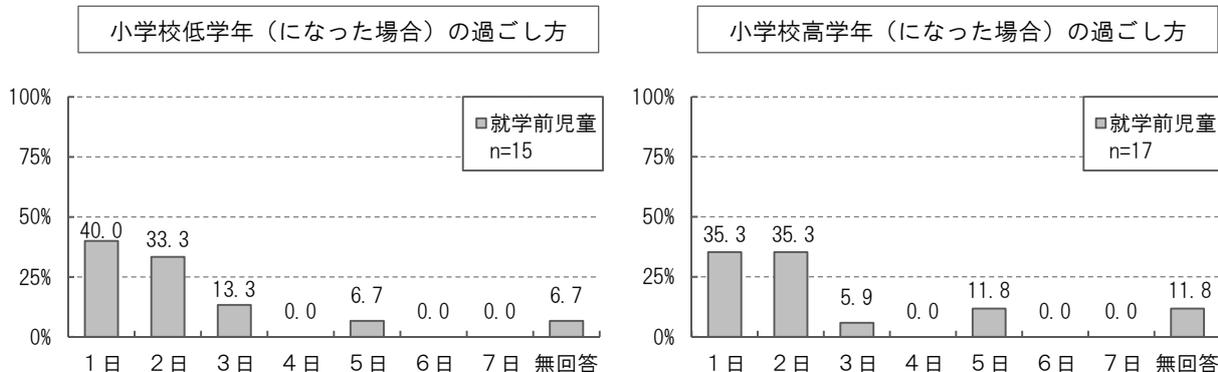
○『ファミリー・サポート・センター』は、低学年時期では、「5日」が1人、高学年時期は対象者がいません。

問27.6・問28.6 「ファミリー・サポート・センター」希望日数（1週当たり）



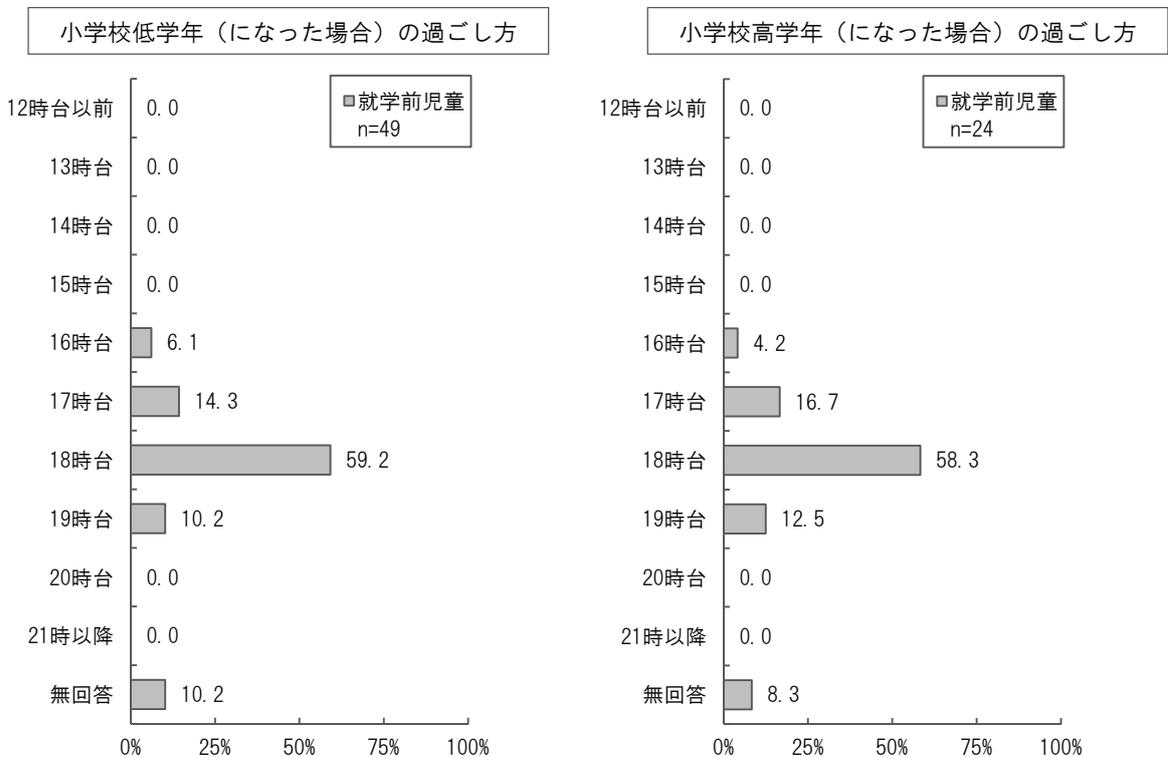
○『その他（公民館、公園など）』は、低学年時期では、「1日」（40.0%）、高学年時期では、「1日」「2日」（各35.3%）が最も高くなっています。

問27.7・問28.7 「その他（公園等）」希望日数（1週当たり）



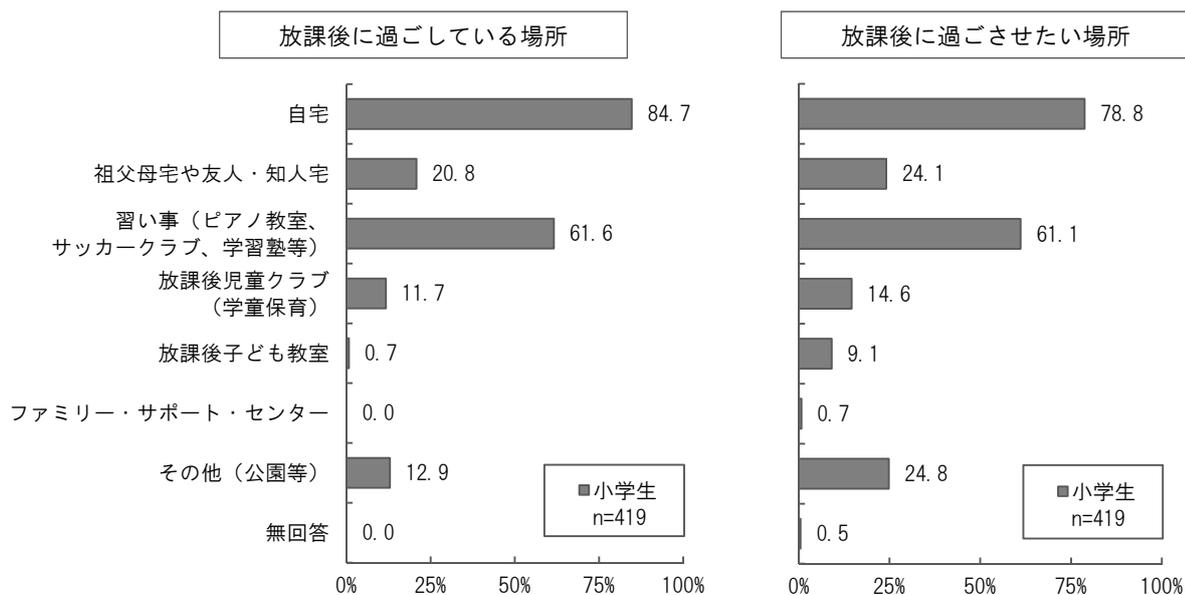
○放課後児童クラブの下校時からの利用希望時間帯をみると、低学年時期では、「18時台」（59.2%）が最も高く、次いで「17時台」（14.3%）となっています。高学年時期では、「18時台」（58.3%）が最も高く、次いで「17時台」（16.7%）となっています。

問27.4・問28.4 「放課後児童クラブ」下校時からの利用時間



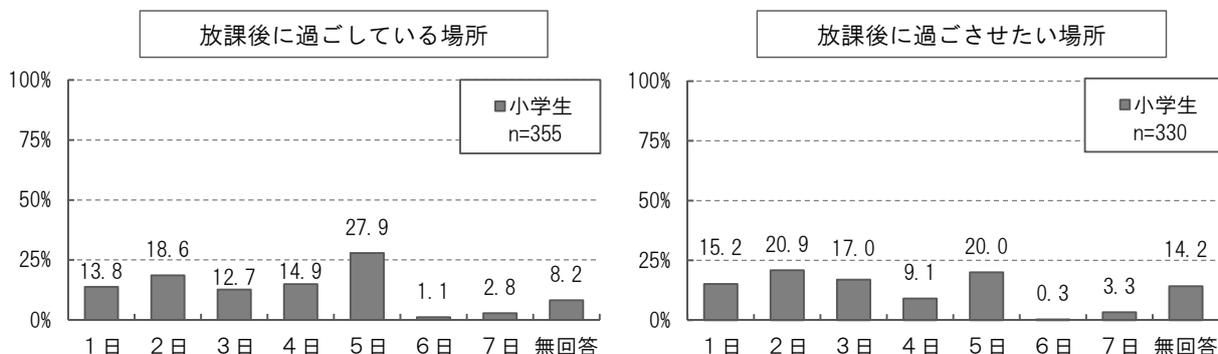
- 小学生における放課後（平日の小学校終了後）に過ごしている場所をみると、「自宅」（84.7%）が最も高く、次いで「習い事」（61.6%）となっています。
- 放課後（平日の小学校終了後）に過ごさせたい場所の希望をみると、「自宅」（78.8%）が最も高く、次いで「習い事」（61.1%）となっています。

[問14]・[問15] 放課後の過ごし方の現状と希望（複数回答）



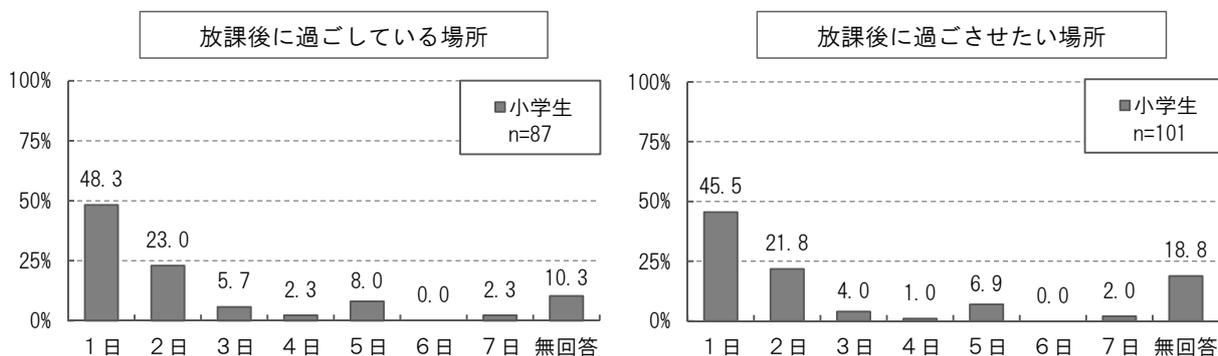
○放課後を『自宅』で過ごしていると回答した方は、「5日」(27.9%)が最も高くなっています。また、希望では「2日」(20.9%)、「5日」(20.0%)が高くなっています。

[問14.1]・[問15.1] 「自宅」現状・希望日数(1週当たり)



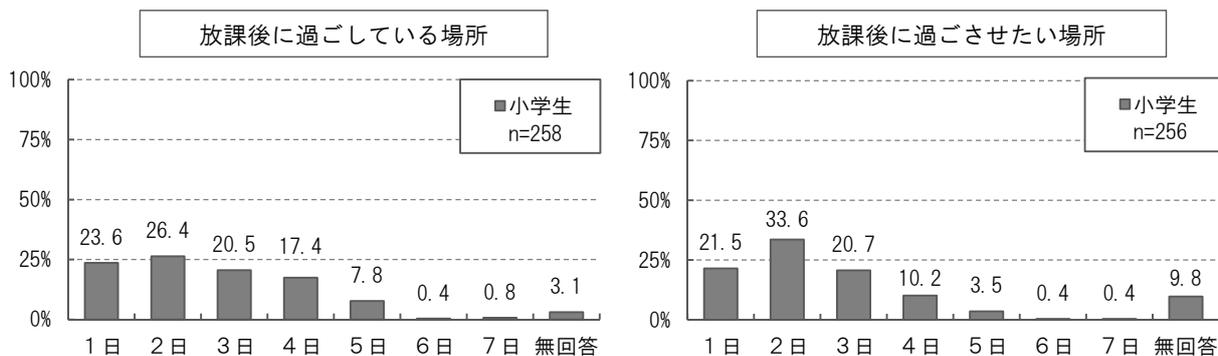
○『祖父母宅や友人・知人宅』で過ごしていると回答した方は、「1日」(48.3%)が最も高くなっています。また、希望では「1日」(5.5%)が最も高くなっています。

[問14.2]・[問15.2] 「祖父母宅や友人・知人宅」現状・希望日数(1週当たり)



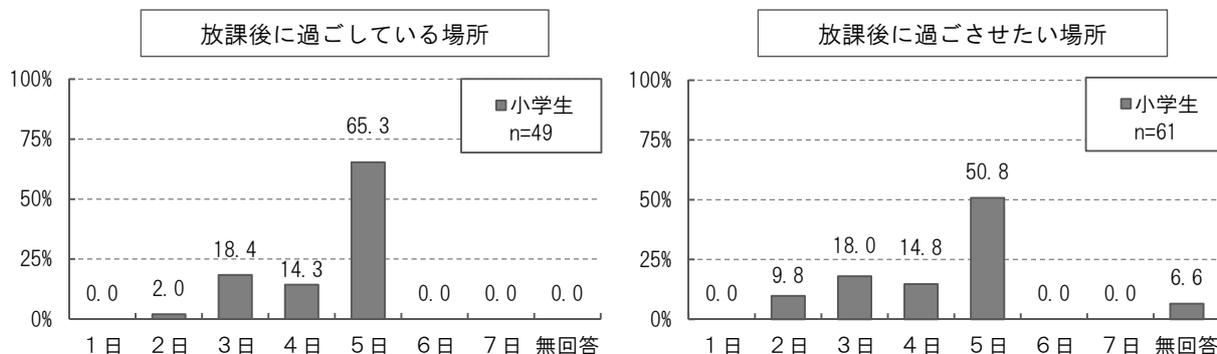
○『習い事』で過ごしていると回答した方は、「2日」(26.4%)、「1日」(23.6%)が高くなっています。また、希望では「2日」(33.6%)が最も高くなっています。

[問14.3]・[問15.3] 「習い事」現状・希望日数(1週当たり)



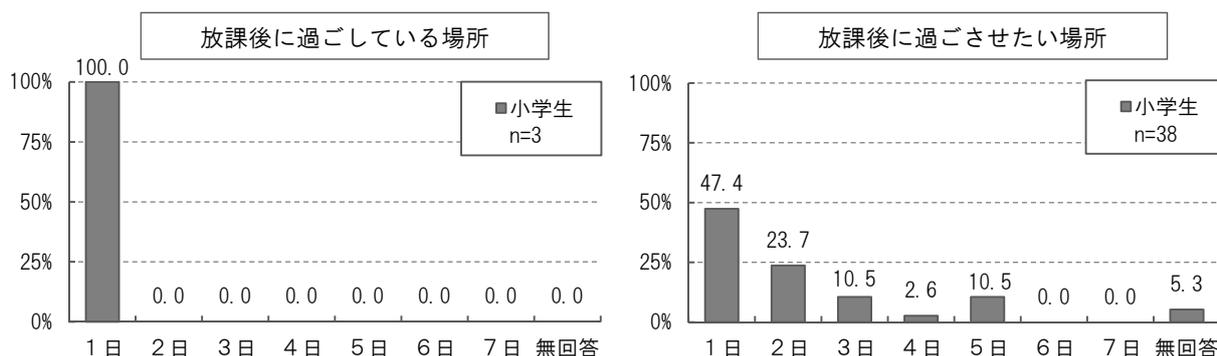
○『放課後児童クラブ』で過ごしていると回答した方は、「5日」(65.3%)が最も高くなっています。また、希望では「5日」(50.8%)が最も高くなっています。

[問14.4]・[問15.4] 「放課後児童クラブ」現状・希望日数(1週当たり)



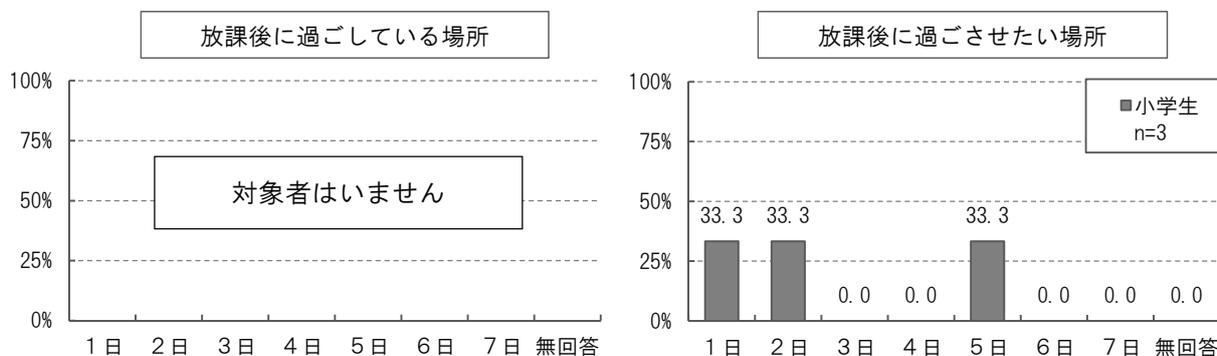
○『放課後子ども教室』で過ごしていると回答した方は、「1日」が3人となっています。また、希望では「1日」(47.4%)が最も高くなっています。

[問14.5]・[問15.5] 「放課後子ども教室」現状・希望日数(1週当たり)



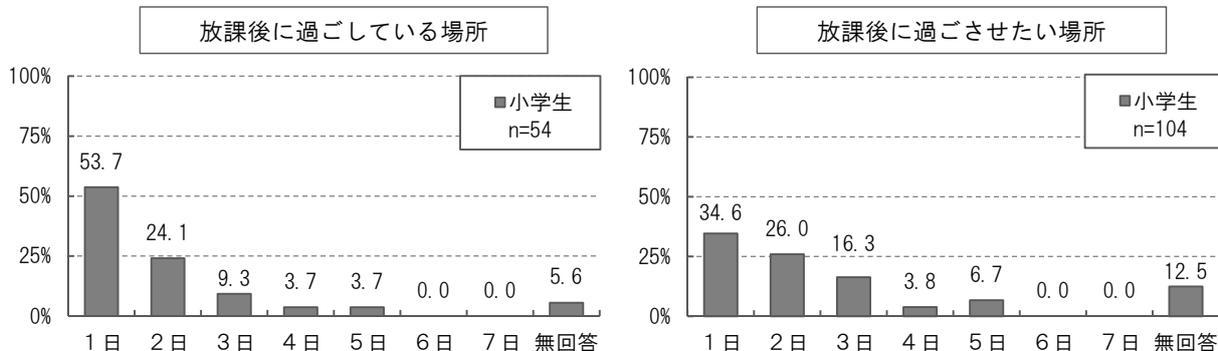
○『ファミリー・サポート・センター』で過ごしていると回答した方はいません。また、希望では「1日」「2日」「3日」で各1人となっています。

[問14.6]・[問15.6] 「ファミリー・サポート・センター」現状・希望日数(1週当たり)



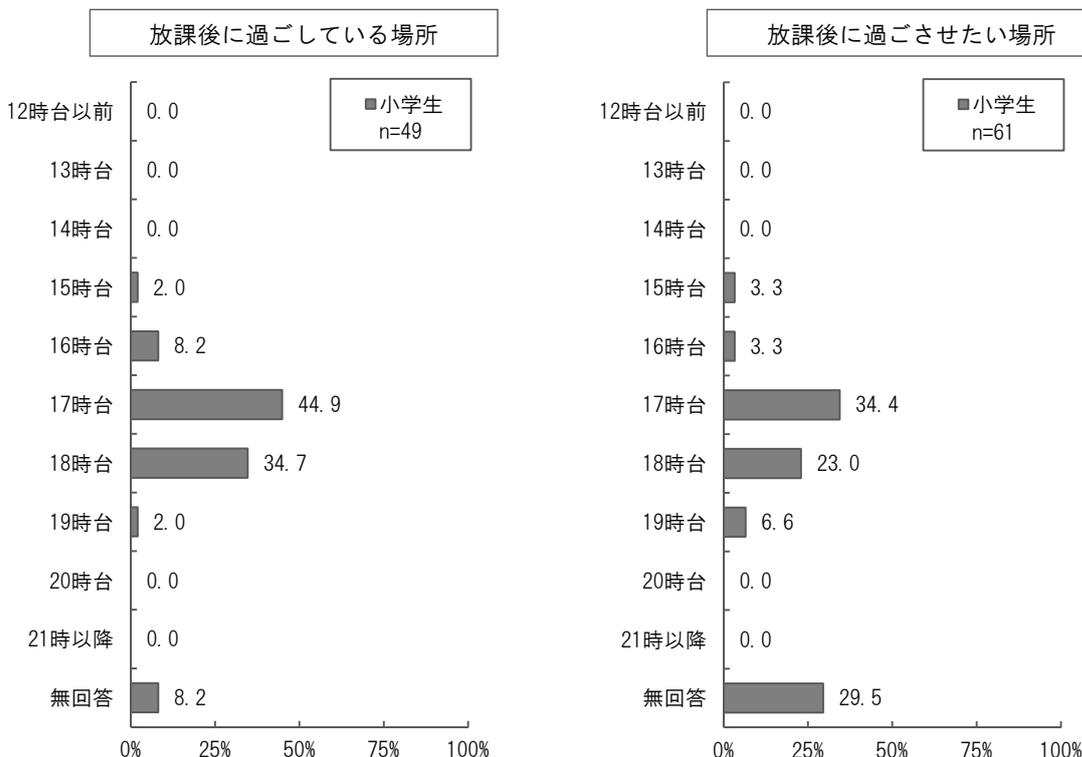
○『その他』で過ごしていると回答した方は、「1日」(53.7%)が最も高くなっています。また、希望では「1日」(34.6%)、「2日」(26.0%)が高くなっています。

[問14.7]・[問15.7] 「その他(公園等)」現状・希望日数(1週当たり)



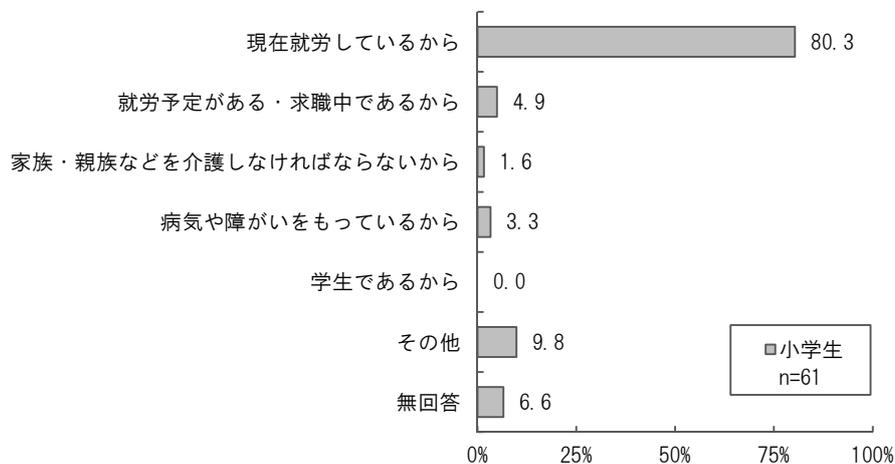
○放課後児童クラブの下校時からの現状・利用希望時間帯をみると、現状・希望いずれも「17時台」(現状44.9%・希望34.4%)が最も高くなっています。

[問14.4]・[問15.4] 「放課後児童クラブ」下校時からの利用の現状・希望時間



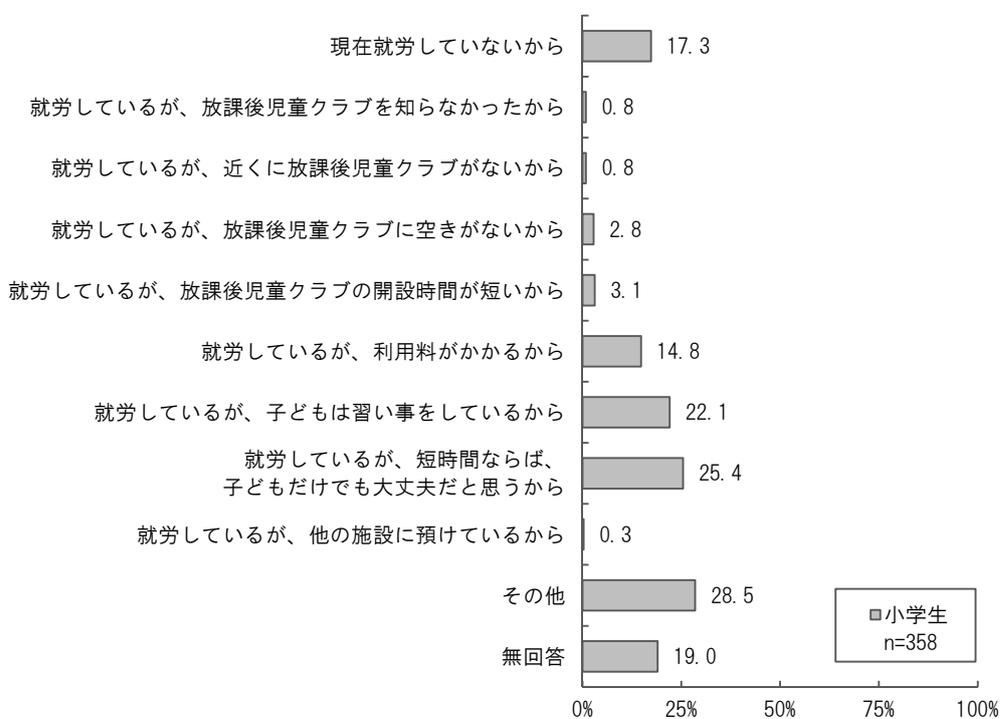
○放課後児童クラブで過ごさせたい方の理由をみると、「現在就労しているから」(80.3%)が最も高くなっています。

[問15-1] 放課後児童クラブを利用したい理由(複数回答)



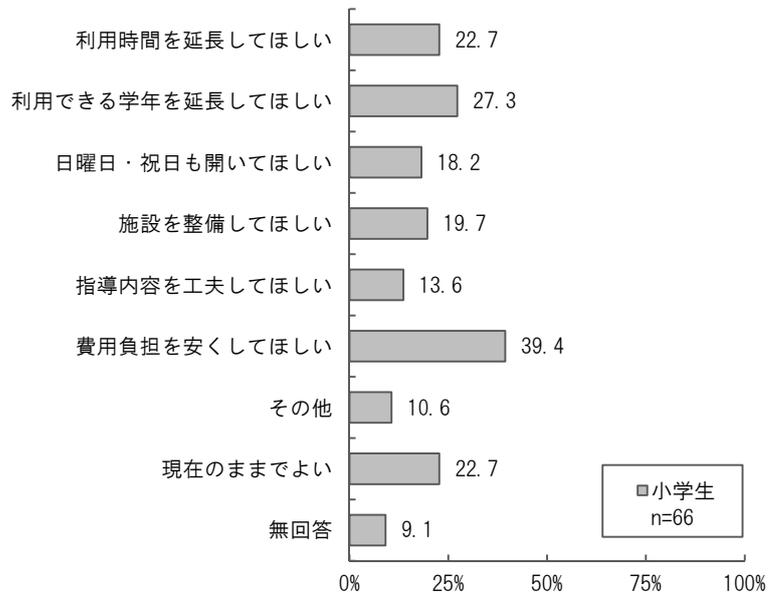
○放課後児童クラブを利用していない方の理由をみると、「その他」(28.5%)が最も高く、次いで「就労しているが、短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」(25.4%)となっています。

[問15-2] 放課後児童クラブを利用していない理由(複数回答)



○放課後児童クラブで過ごしている・過ごさせたい方が今後期待することをみると、「費用負担を安くしてほしい」(39.4%)が最も高く、次いで「利用できる学年を延長してほしい」(27.3%)となっています。

[問15-3] 放課後児童クラブに今後期待すること（複数回答）

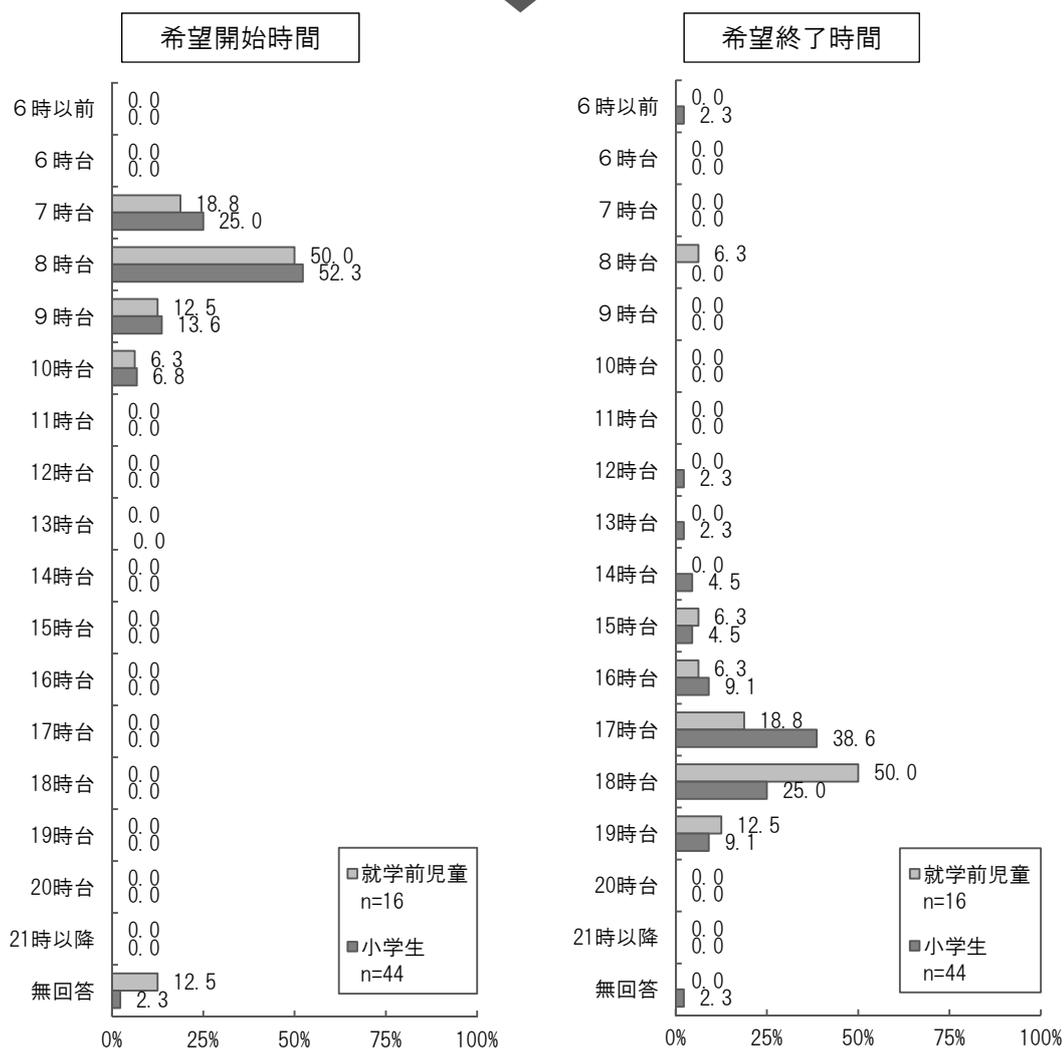
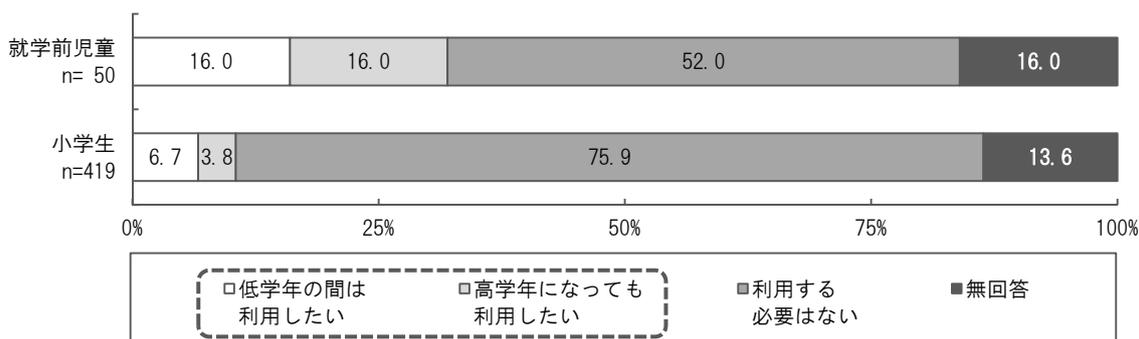


(2) 土曜と日曜日・祝日、長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望

○土曜日の放課後児童クラブの利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」（就学前児童16.0%・小学生6.7%）、「高学年になっても利用したい」（就学前児童16.0%・小学生3.8%）となっています。

○利用希望者の利用したい時間帯をみると、就学前児童・小学生いずれも開始時間で「8時台」（就学前50.0%・小学生52.3%）、終了時間で就学前児童では「18時台」（50.0%）、小学生では、「17時台」（38.6%）が最も高くなっています。

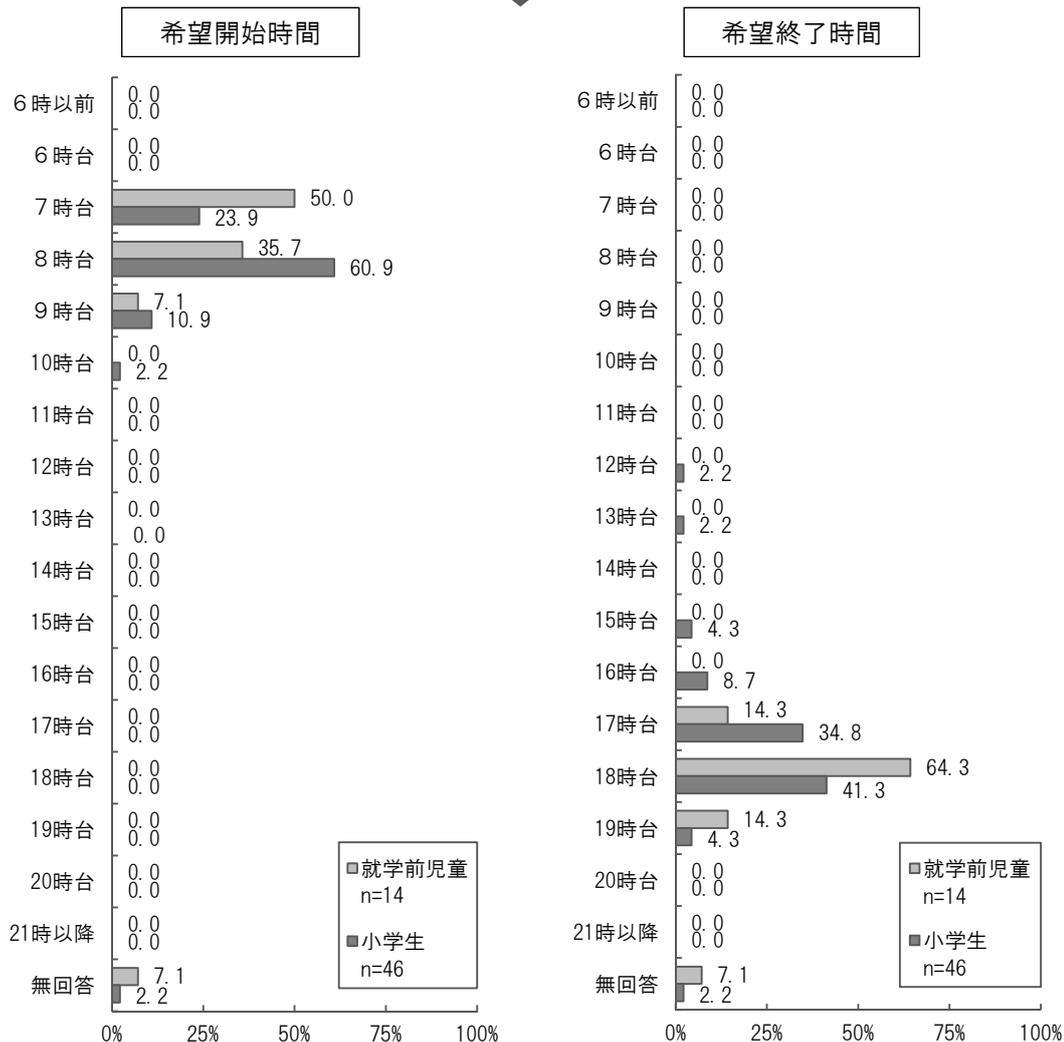
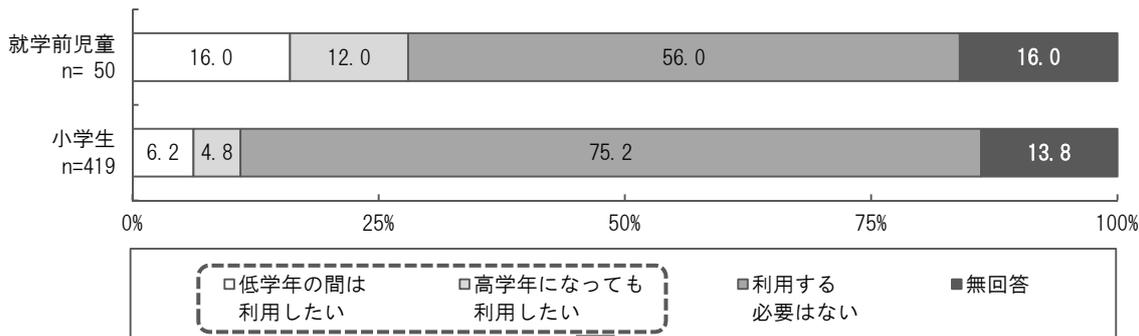
問29(1) [問16(1)] 土曜日の放課後児童クラブの利用希望



○日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」（就学前児童16.0％・小学生6.2％）、「高学年になっても利用したい」（就学前児童12.0％・小学生4.8％）となっています。

○利用希望者の利用したい時間帯をみると、就学前児童では開始時間で「7時台」（50.0％）、小学生では「8時台」（60.9％）、終了時間で就学前児童・小学生いずれも「18時台」（就学前児童64.3％小学生41.3％）が最も高くなっています。

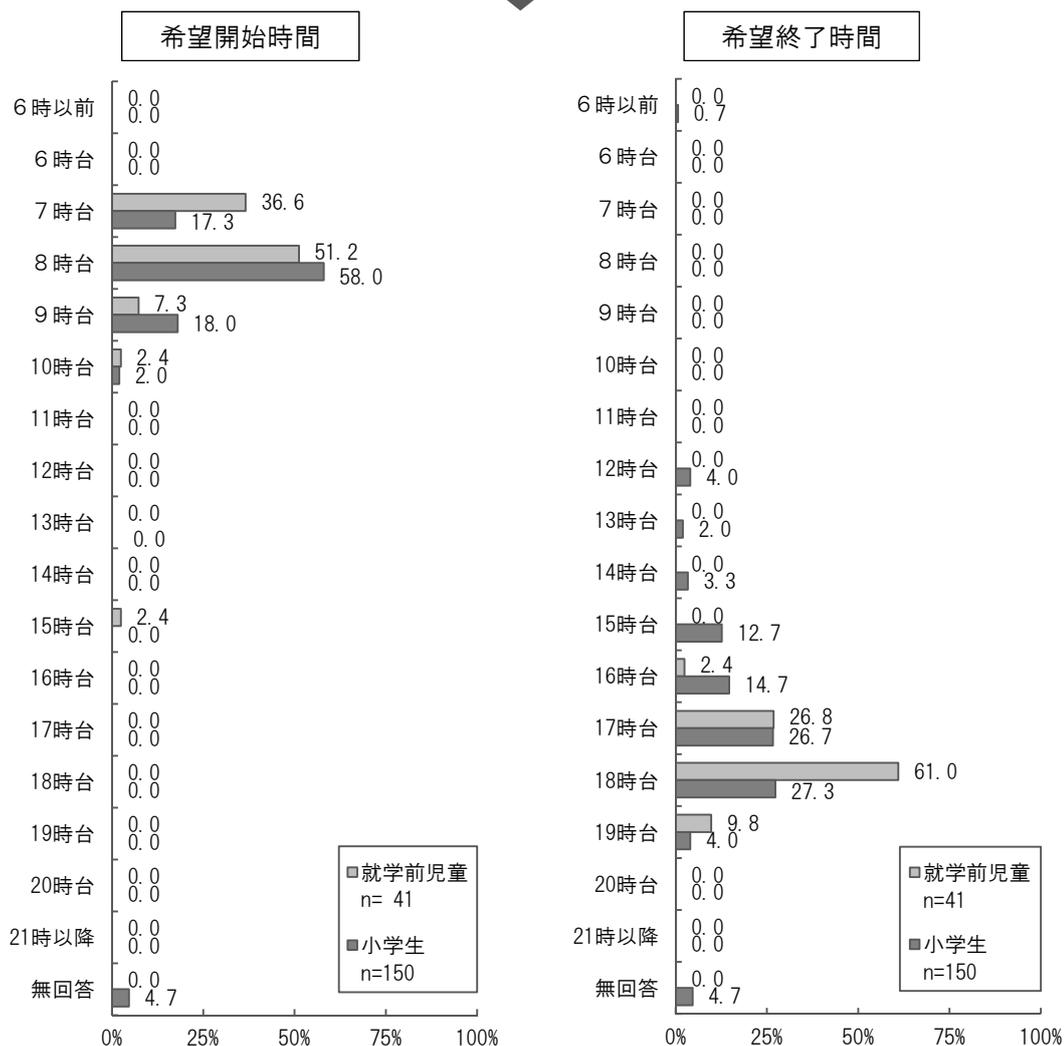
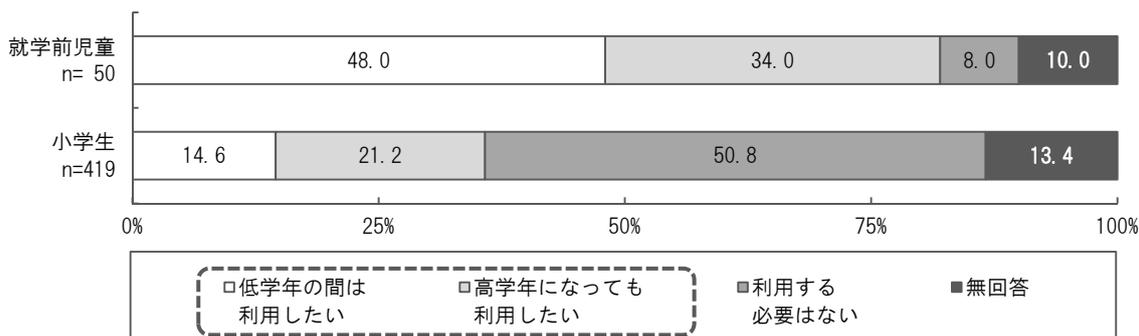
問29 (2) [問16 (2)] 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望



○長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」（就学前児童48.0%・小学生14.6%）、「高学年になっても利用したい」（就学前児童34.0%・小学生21.2%）となっています。

○利用希望者の利用したい時間帯をみると、就学前児童・小学生いずれも開始時間で「8時台」（就学前児童51.2%・小学生58.0%）、終了時間で就学前児童・小学生いずれも「18時台」（就学前児童61.0%・小学生27.3%）、が最も高くなっています。

問29(3) [問16(3)] 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望



第4章

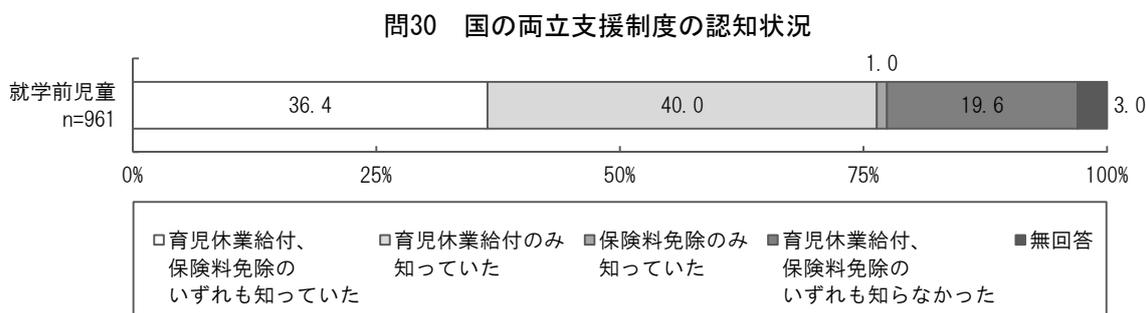
育児休業制度の利用状況等

第4章 育児休業制度の利用状況等

1 育児と仕事の両立支援制度について

(1) 国の両立支援制度の認知状況

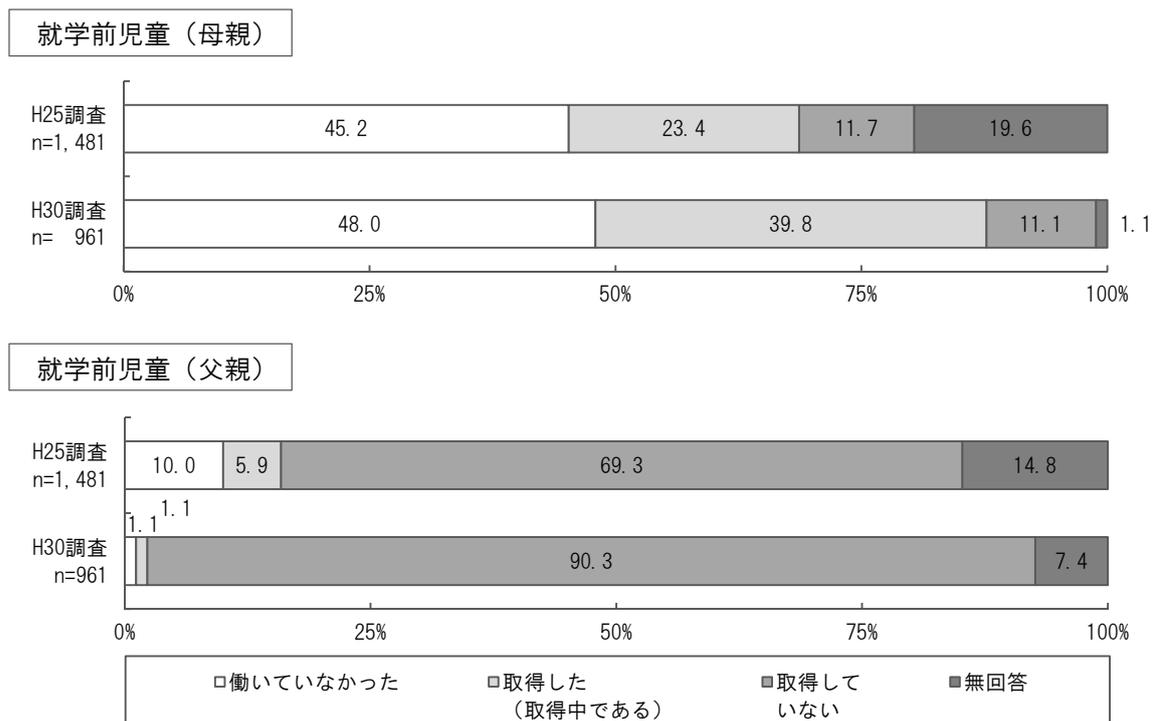
○国の両立支援制度（職場における育児休業給付と保険料免除）の認知状況をみると、就学前児童では、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」は36.4%、一方「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」は19.6%となっています。



(2) 育児休業制度の利用状況

○育児休業制度の利用状況をみると、「取得した（取得中である）」母親は39.8%、父親は1.1%となっています。前回調査と比較すると、「取得した（取得中である）」母親は16.4^{ポイント}高く、父親は4.8^{ポイント}低くなっています。

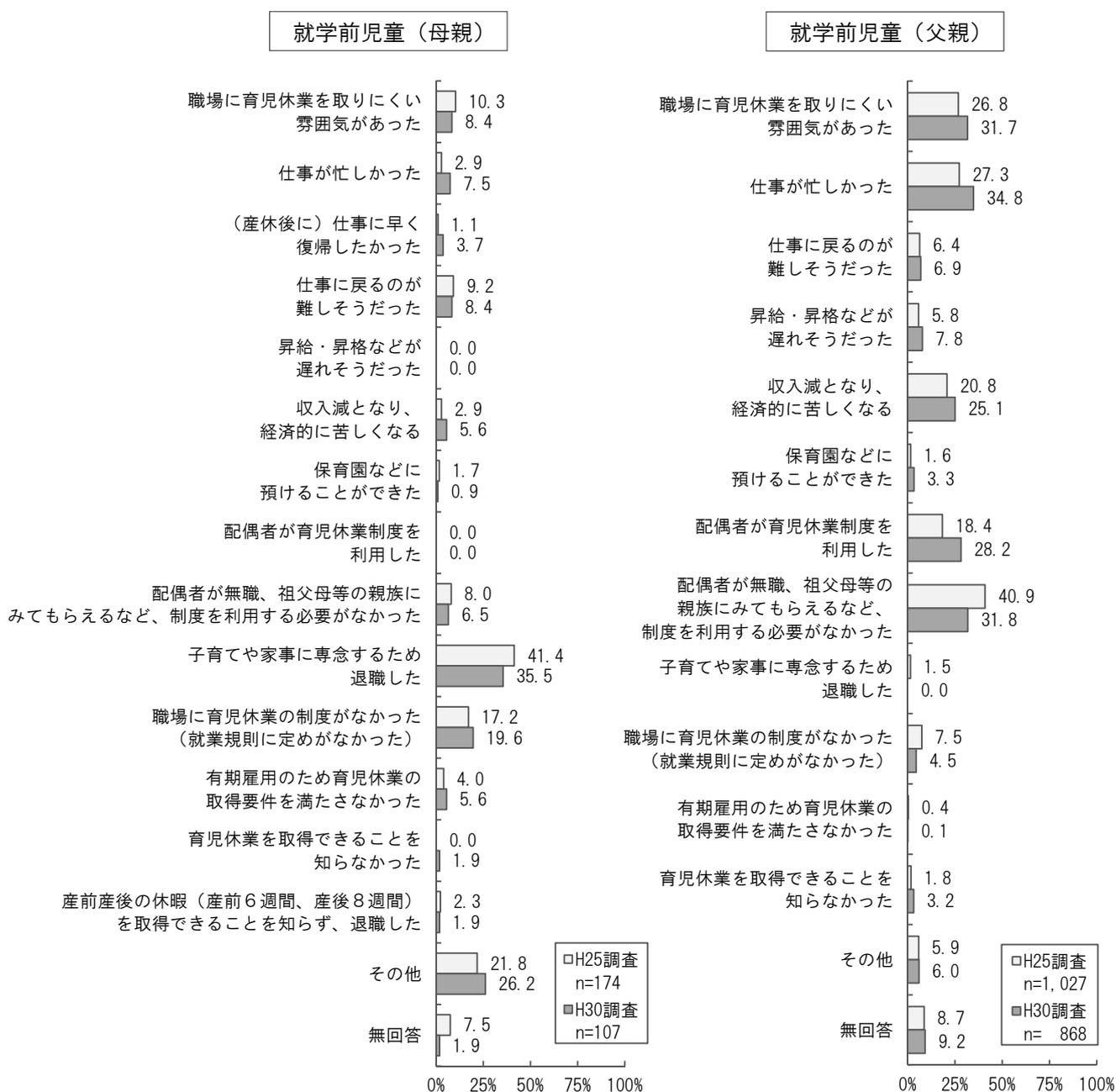
問31 育児休業制度の利用状況（経年比較）



○母親の育児休業を取得していない理由をみると、「子育てや家事に専念するため退職した」(41.4%)、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(17.2%)が高くなっており、前回調査と比べても同様の結果となっています。

○父親の育児休業を取得していない理由をみると、「仕事が忙しかった」(34.8%)、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(31.8%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(31.7%)が高くなっています。前回調査と比べると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」、「配偶者が育児休業制度を利用した」で前回調査より割合が高くなっています。

問31-1 育児休業を取得していない理由(複数回答)

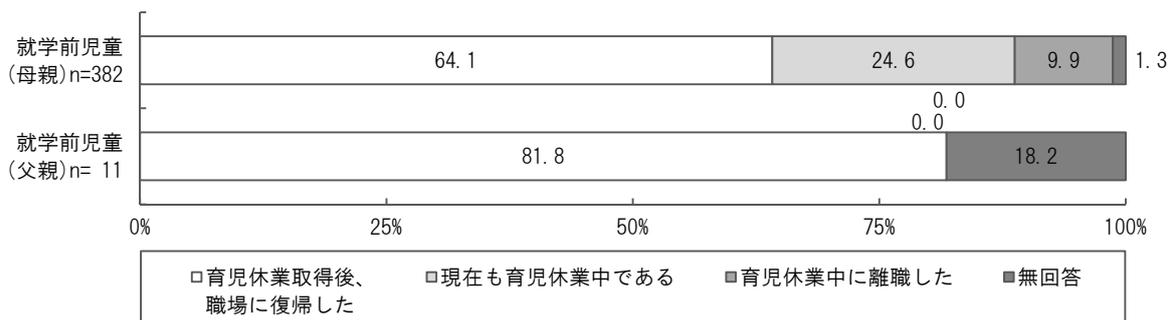


(3) 育児休業取得後の職場復帰の状況

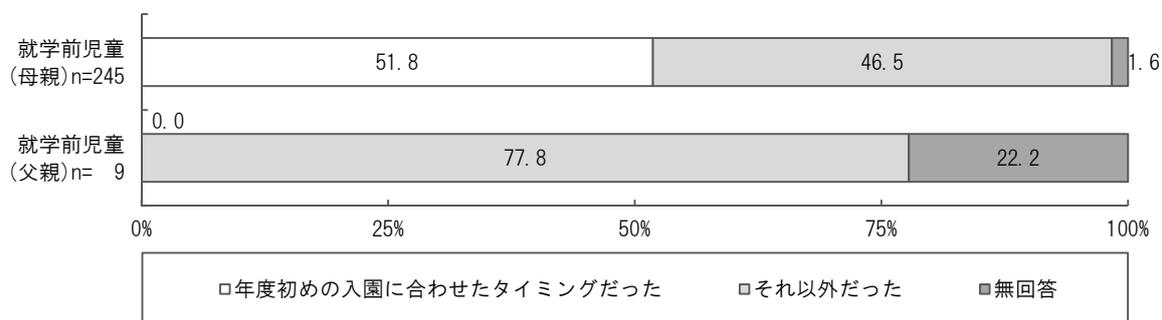
○育児休業取得後の職場復帰の状況をみると、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」(64.1%)が最も高くなっており、次いで「現在も育児休業中である」(24.6%)、「育児休業中に離職した」(9.9%)の順となっています。一方父親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が大半を占めています。

○育児休業取得後に職場へ復帰した時期をみると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」と「それ以外だった」と回答した母親の割合は同程度となっています。

問31-2 育児休業取得後の職場復帰の状況



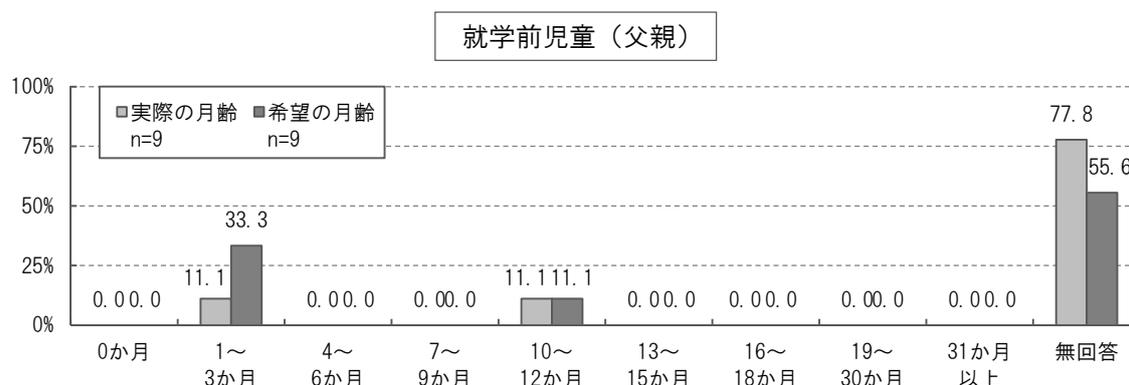
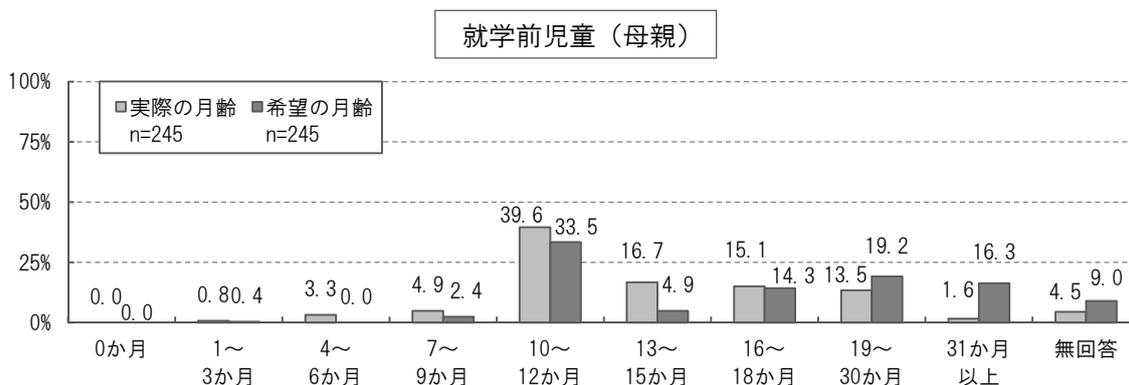
問31-2-1 育児休業から職場へ復帰した時期



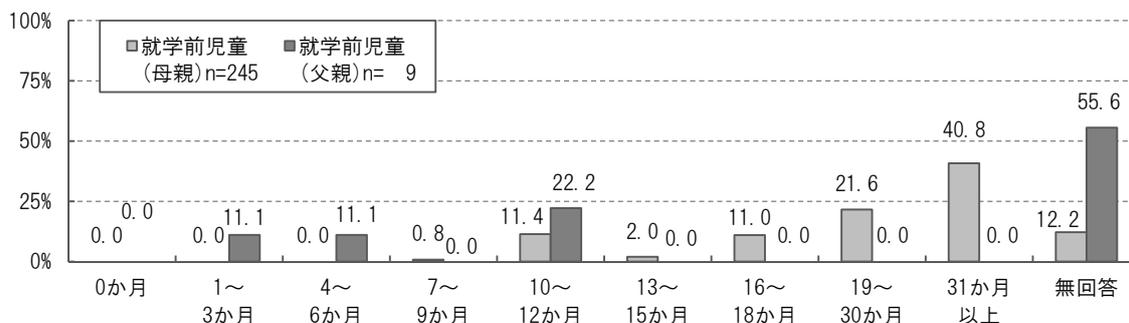
○母親が育児休業から復帰したときの子どもの実際の月齢をみると、「10～12か月」（39.6%）、希望する月齢でも、「10～12か月」（33.5%）の割合が最も高くなっています。また、希望する月齢のうち、「16～18か月」（14.3%）、「19～30か月」（19.2%）、「31か月以上」（16.3%）の長期休業を希望した母親は合わせて約5割を占めています。

○3歳までの育児休業制度があった場合に取得を希望する子どもの月齢をみると、母親では「31か月以上」（40.8%）が最も高くなっています。

問31-2-2 育児休業から復帰したときの子どもの実際の月齢と希望する月齢



問31-2-3 3歳までの育児休業があった場合の子どもの希望する月齢

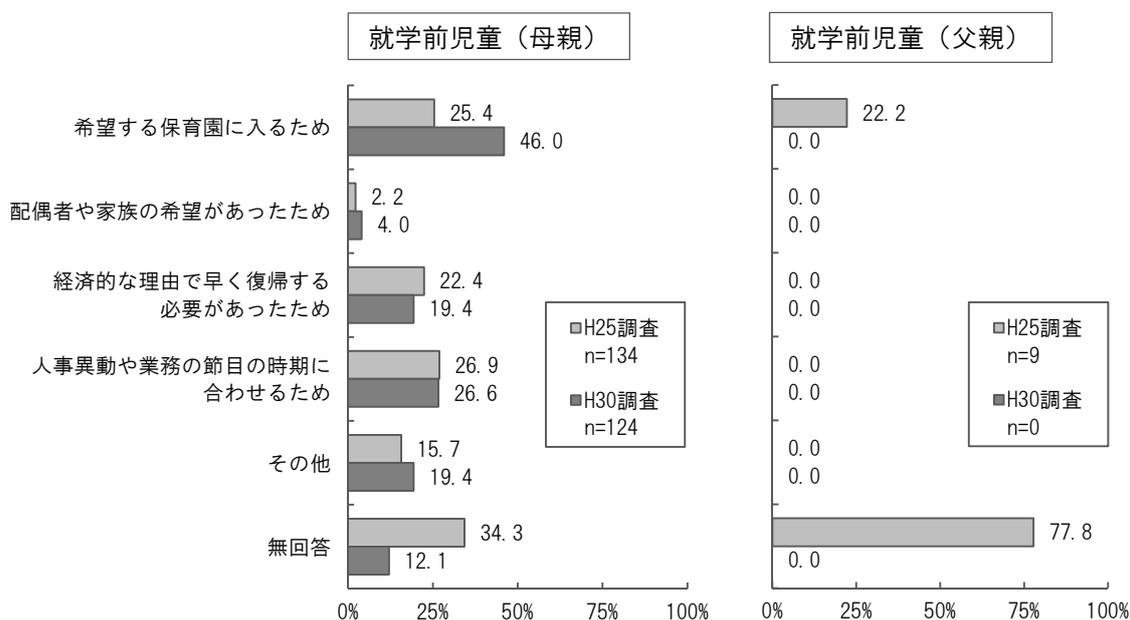


○母親が育児休業から「希望」より早く職場復帰した理由をみると、「希望する保育園に入るため」(46.0%)が最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(26.6%)、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(19.4%)がとなっています。前回調査と比較すると、「希望する保育園に入るため」が前回調査(25.4%)を20.6ポイント上回っています。

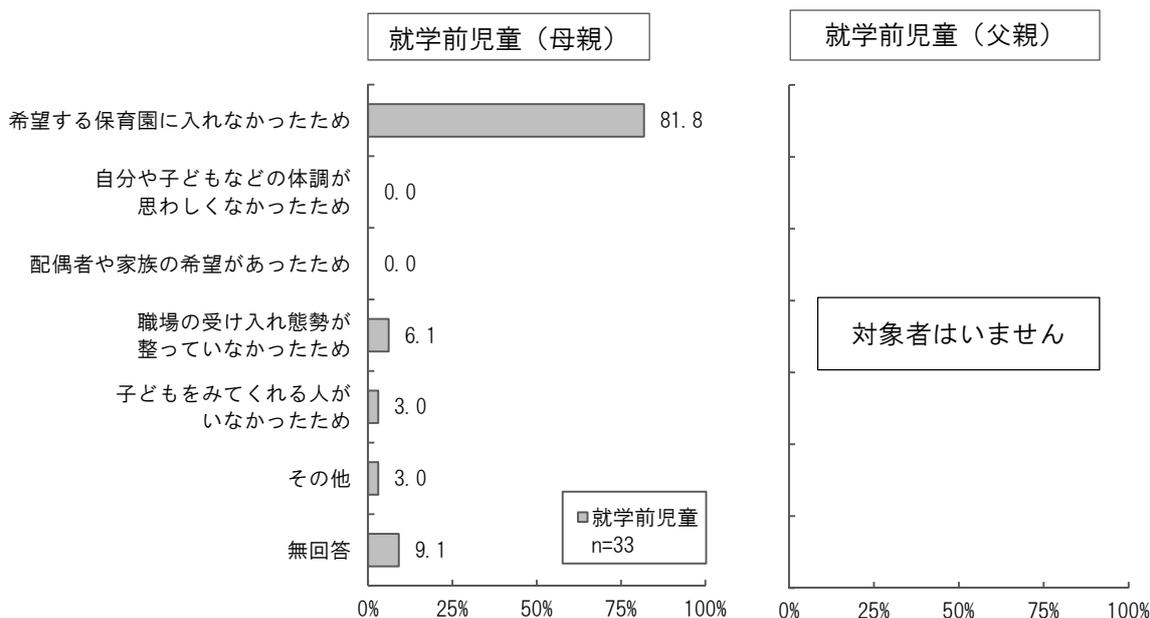
○母親が育児休業から「希望」より遅く職場復帰した理由をみると、「希望する保育園に入れなかったため」(81.8%)が大半を占めています。

○父親は、今回調査では対象者はいませんでした。

問31-3(1) 育児休業から「希望」より早く職場復帰した理由(経年比較)(複数回答)



問31-3(2) 育児休業から「希望」より遅く職場復帰した理由(複数回答)



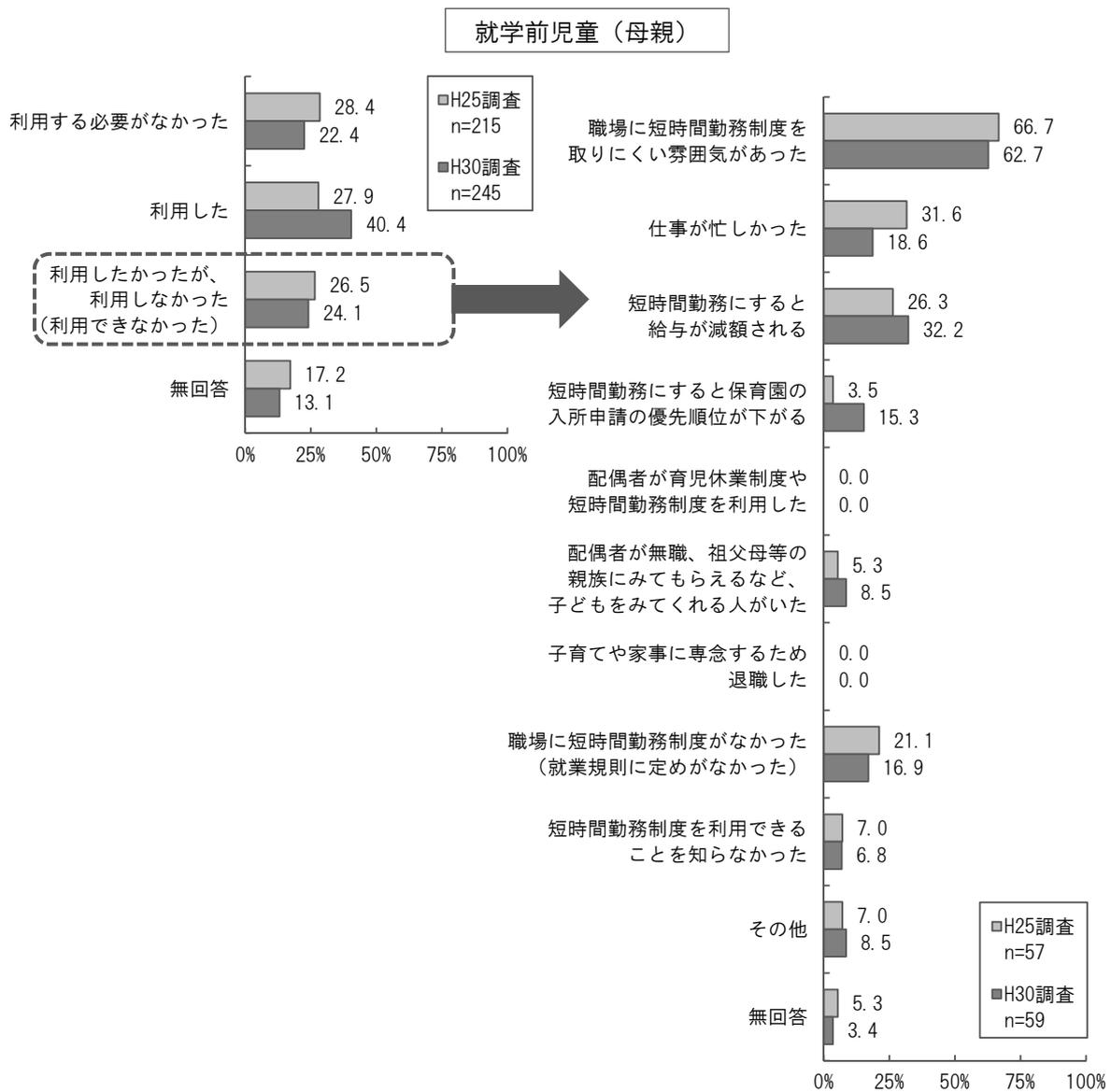
(4) 短時間勤務制度の利用状況

○母親の職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況をみると、「利用した」(40.4%)割合が約4割となり、前回調査(27.9%)と比較すると12.5ポイント上回っています。

○職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった理由をみると、母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(62.7%)が最も高くなっており、「短時間勤務にすると給与が減額される」(32.2%)、「仕事が忙しかった」(18.6%)となっています。前回調査と比較すると、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」、「職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」で前回調査より割合が低くなっています。

問31-4 職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況(経年比較)

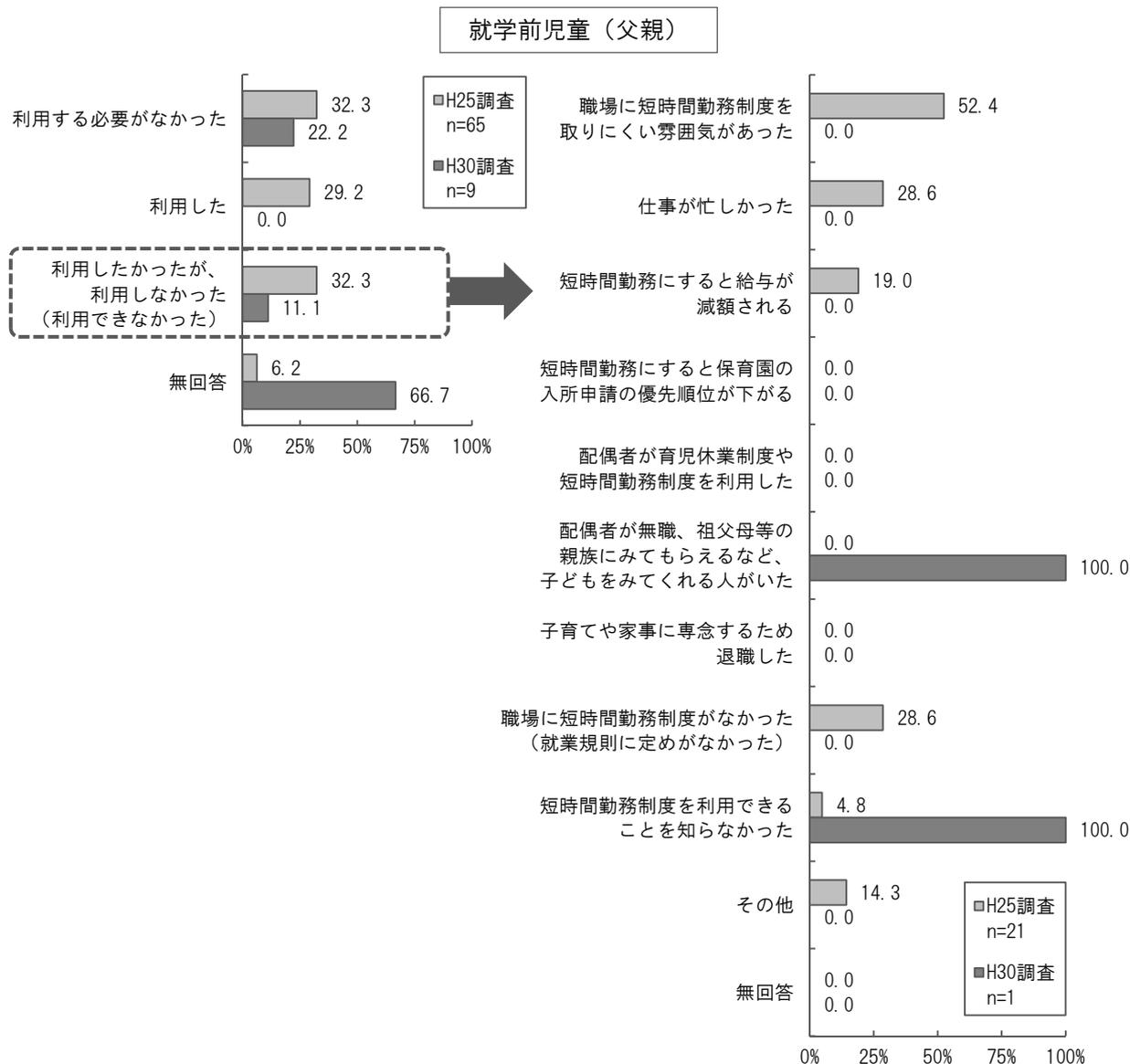
問31-4-1 短時間勤務制度を利用しなかった理由(経年比較)(複数回答)



○父親の職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況は、以下のとおりです。

問31-4 職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況（経年比較）

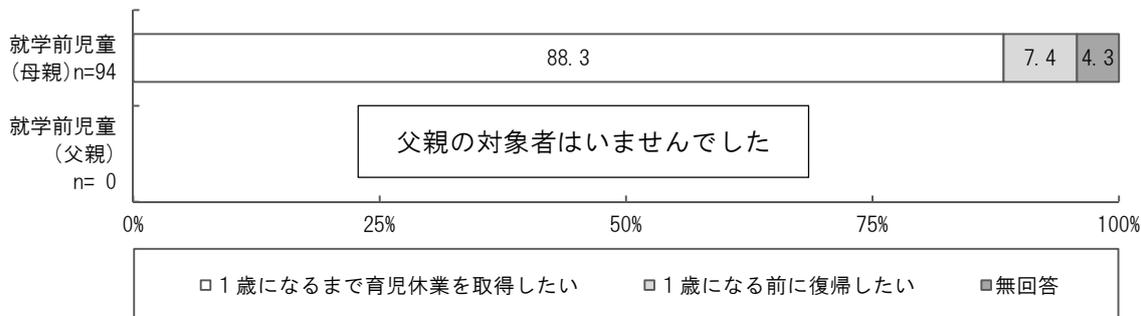
問31-4-1 短時間勤務制度を利用しなかった理由（経年比較）（複数回答）



(5) 育児休業取得期間の希望

○1歳になった時に預け先が保障される場合の育児休業取得の希望をみると、母親では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が約9割を占めています。

問31-5 1歳になったときに預け先が保障される場合の育児休業取得の希望

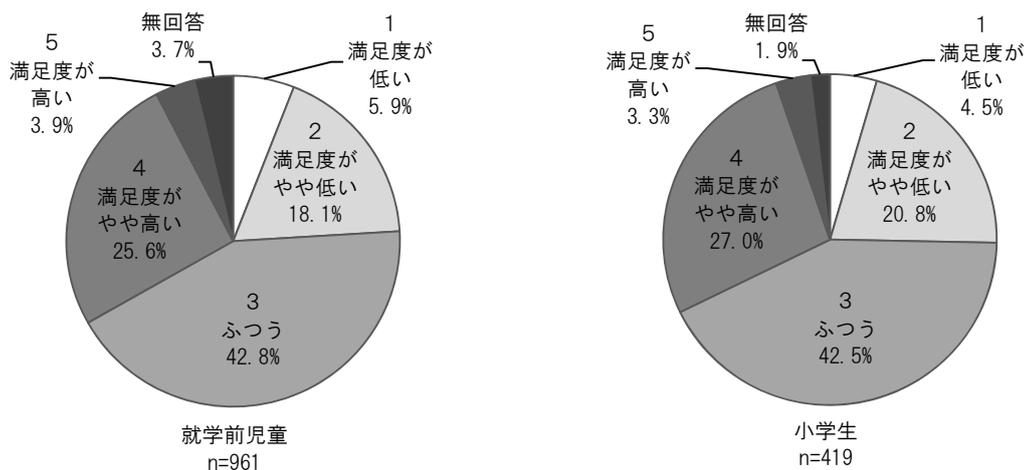


2 子育ての環境や支援への満足度

(1) 地域の子育て環境や支援への満足度

○地域の子育て環境や支援への満足度をみると、就学前児童・小学生いずれも、満足度が高い（「満足度が高い」＋「満足度がやや高い」）と回答した方の割合が、満足度が低い（「満足度が低い」＋「満足度がやや低い」）と回答した方の割合を上回っています。

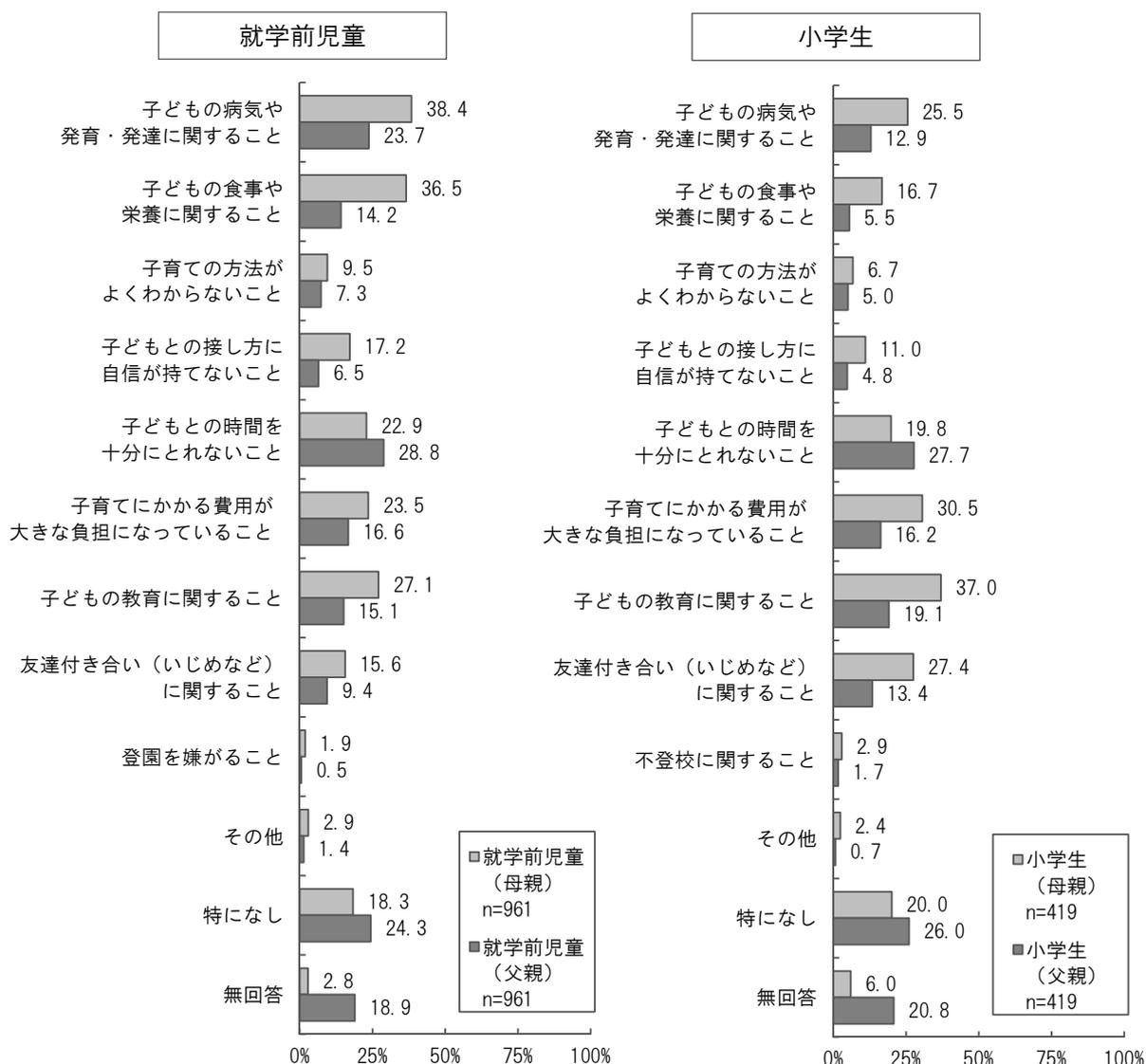
問32[問21] 地域の子育て環境や支援への満足度



(2) 子育ての悩みや不安

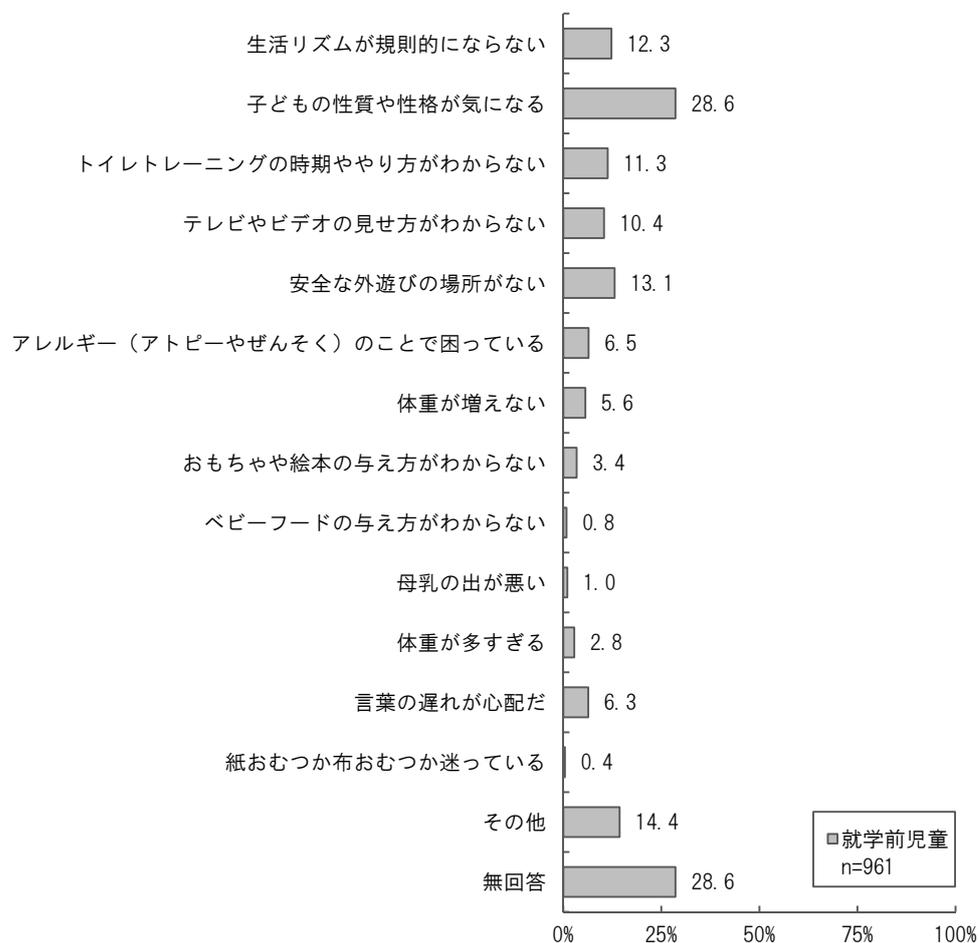
○日ごろ悩んでいることや不安に思うことをみると、就学前児童の母親では、「子どもの病気や発育・発達に関すること」(38.4%)、「子どもの食事や栄養に関すること」(36.5%)が高くなっています。小学生の母親では、「子どもの教育に関すること」(37.0%)、「子育てにかかる費用が大きな負担になっていること」(30.5%)が高くなっており、就学前児童と小学生の母親の回答の割合にばらつきがありますが、父親では、就学前児童・小学生いずれも「子どもとの時間を十分にとれないこと」(就学前児童28.8%・小学生27.7%)が最も高くなっています。

問33[問22] 日ごろ悩んでいることや不安に思うこと (複数回答)



○悩みや具体的な内容をみると、「子どもの性質や性格が気になる」(28.6%)が最も高く、次いで「安全な外遊びの場所がない」(13.1%)、「生活リズムが規則的にならない」(12.3%)となっています。

問34 悩みや不安の具体的な内容（複数回答）

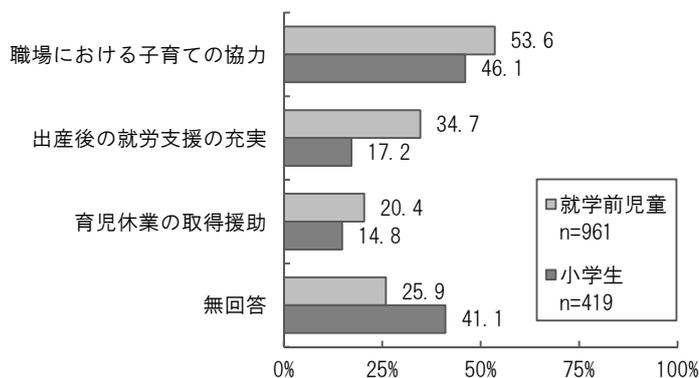


(3) 行政に期待する支援について

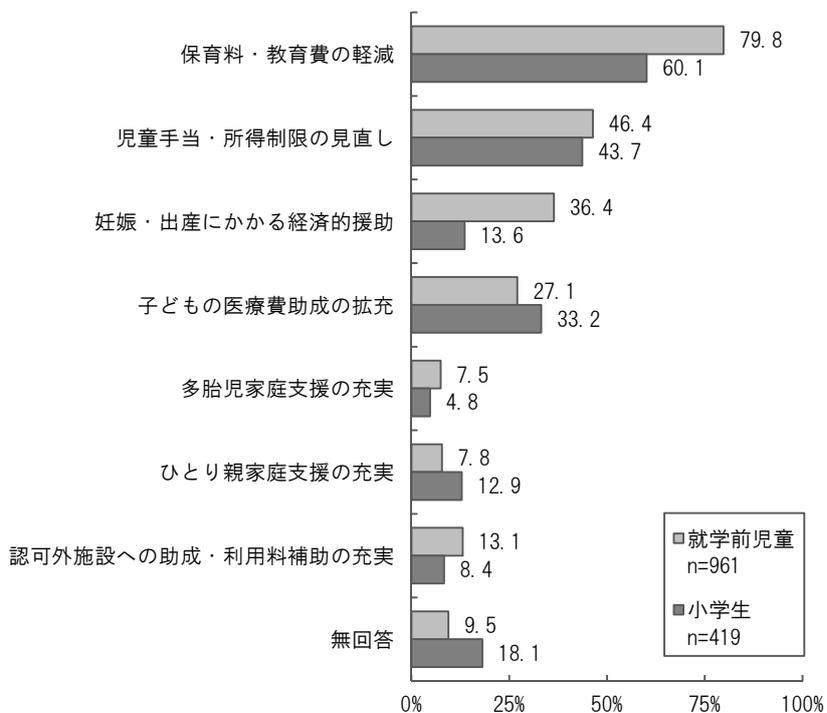
○行政にしてほしい子育て家庭の就労環境についてみると、就学前児童・小学生いずれも「職場における子育ての協力」(就学前児童53.6%・小学生46.1%)が最も高くなっています。

○行政にしてほしい子育ての経済的負担についてみると、就学前児童・小学生いずれも「保育料・教育費の軽減」(就学前児童79.8%・小学生60.1%)、「児童手当・所得制限の見直し」(就学前児童46.4%・小学生43.7%)で割合が高くなっています。

問35(1) [問23(1)] 行政にしてほしい子育て支援(子育て家庭の就労環境について)(複数回答)

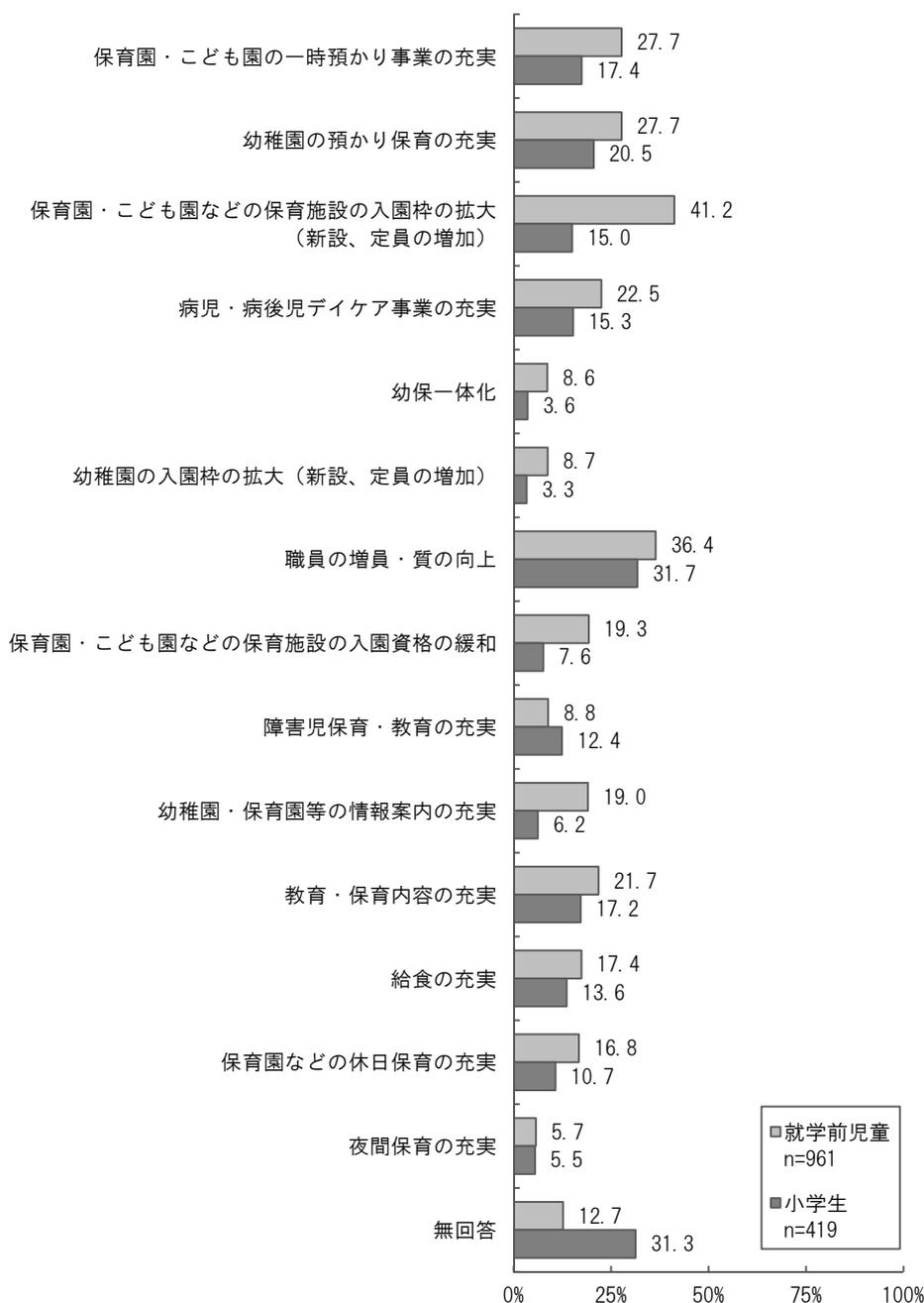


問35(2) [問23(2)] 行政にしてほしい子育て支援(子育ての経済的負担について)(複数回答)



○行政にしてほしい幼稚園・保育園・こども園・その他認可外施設に関することについてみると、就学前児童では「保育園・こども園などの保育施設の入園枠の拡大（新設、定員の増加）」（41.2%）が最も高く、次いで「職員の増員・質の向上」（36.4%）、「保育園・こども園の一時預かり事業の充実」、「幼稚園の預かり保育の充実」（各27.7%）となっています。小学生では、「職員の増員・質の向上」（31.7%）が最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育の充実」（20.5%）、「保育園・こども園の一時預かり事業の充実」（17.4%）となっています。

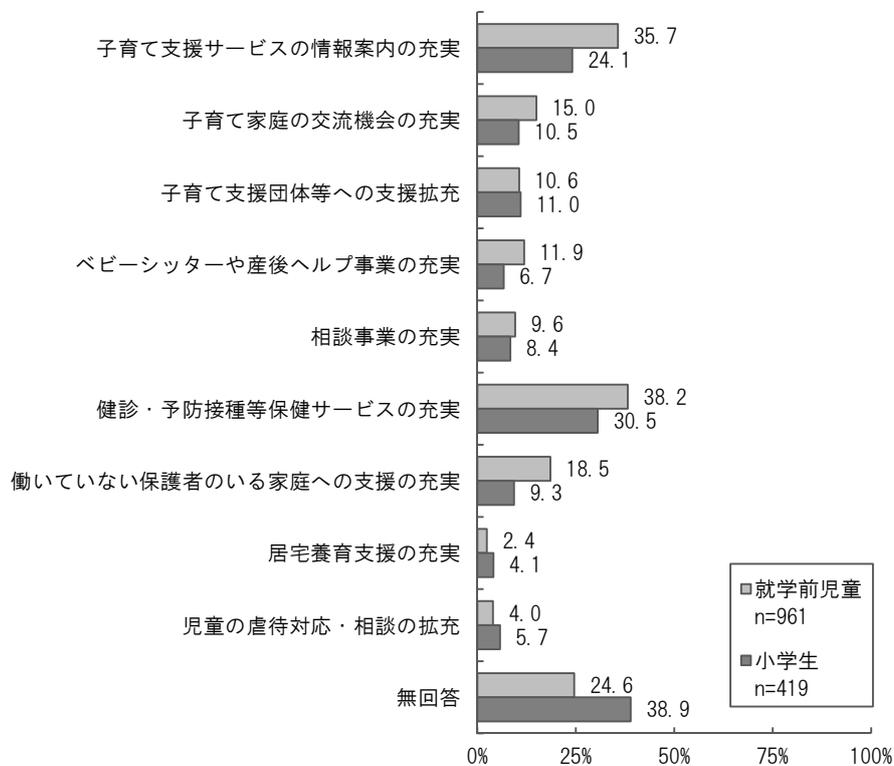
問35(3) [問23(3)] 行政にしてほしい子育て支援
 （幼稚園・保育園・こども園・その他認可外施設に関することについて）（複数回答）



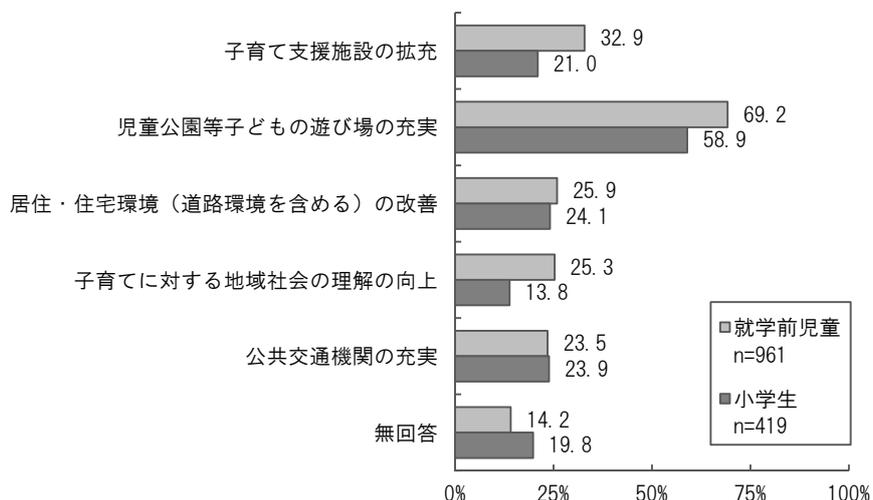
○行政にしてほしいその他の子育て支援サービスについてみると、就学前児童・小学生いずれも「健診・予防接種等保健サービスの充実」（就学前児童38.2％・小学生30.5％）、「子育て支援サービスの情報案内の充実」（就学前児童35.7％・小学生24.1％）で割合が高くなっています。

○行政にしてほしい子育て環境についてみると、就学前児童では、「児童公園等子どもの遊び場の充実」（69.2％）が最も高く、次いで「子育て支援施設の拡充」（32.9％）、「居住・住宅環境（道路環境を含める）の改善」（25.9％）となっています。小学生では、「児童公園等子どもの遊び場の充実」（58.9％）が最も高く、次いで「居住・住宅環境（道路環境を含める）の改善」（24.1％）、「公共交通機関の充実」（23.9％）となっています。

問35(4) [問23(4)] 行政にしてほしい子育て支援(その他の子育て支援サービスについて)(複数回答)

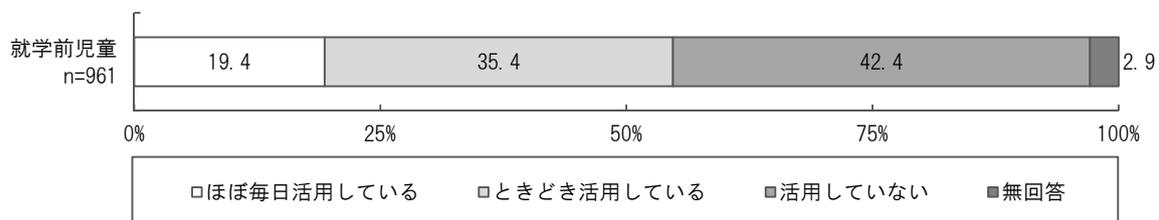


問35(5) [問23(5)] 行政にしてほしい子育て支援(子育て環境について)(複数回答)



○子育てに活用しているスマートフォンなどのアプリの仕様状況をみると、「ほぼ毎日活用している」「ときどき活用している」を合わせて54.8%となっており、約半数の方が子育てにスマートフォンなどのアプリを活用している状況です。

問37 子育てに活用しているスマートフォンなどのアプリの使用状況



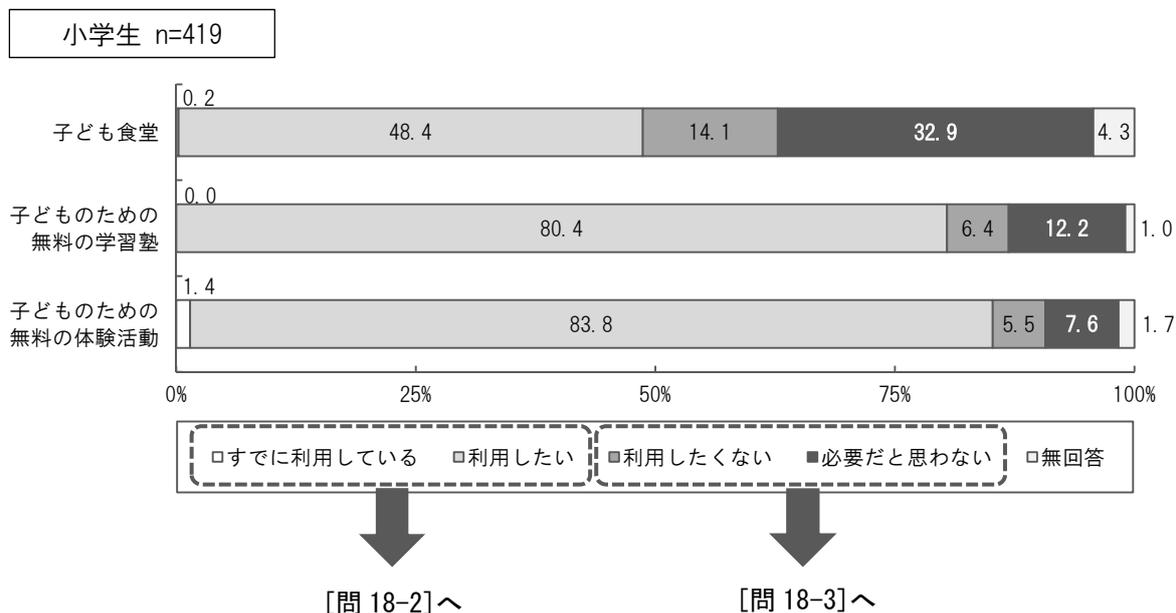
第5章
子どもの居場所について

第5章 子どもの居場所について

1 子どもへの支援活動について

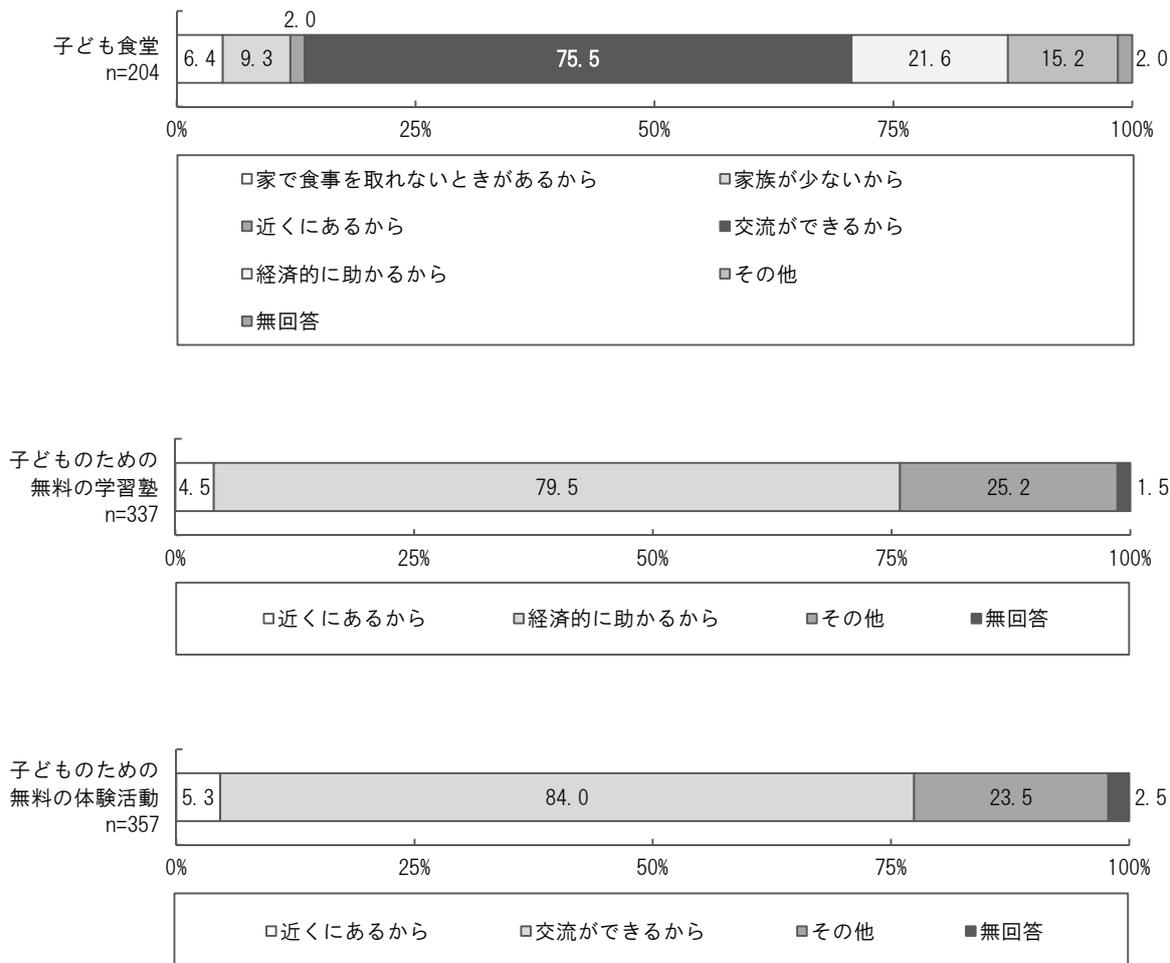
○子育て支援の利用希望をみると、「子ども食堂」は『すでに利用している』+『利用したい』(48.6%)と『利用したくない』+『必要だと思わない』(47.0%)が同程度となっています。「子どものための無料の学習塾」、「子どものための無料の体験活動」は『利用したい』がともに8割を超えています。

[問18] 子育て支援事業の利用希望



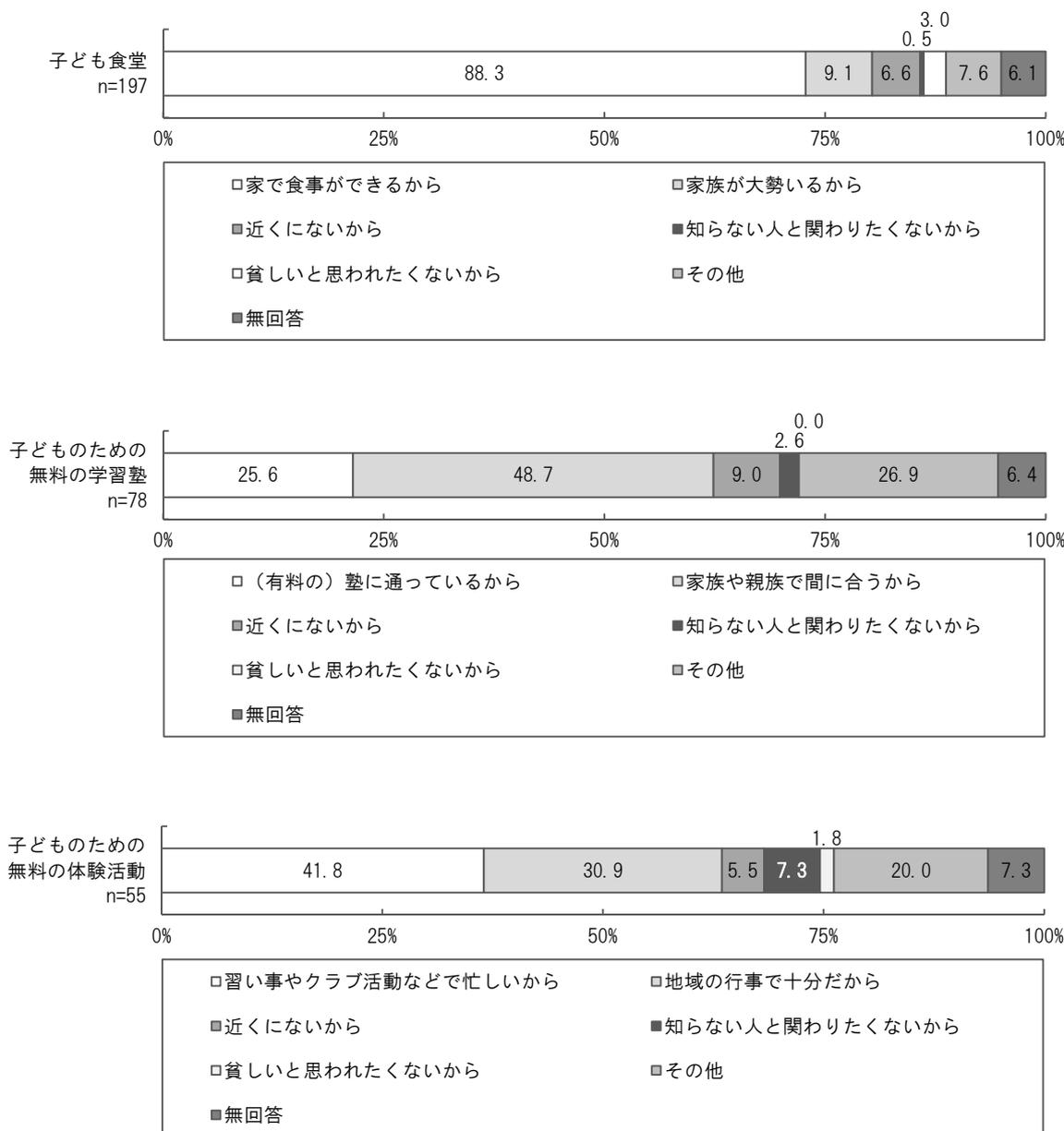
- 「子ども食堂」を『すでに利用している』・『利用したい』と回答した方の理由をみると、「交流ができているから」(75.5%)が最も高くなっています。
- 「子どものための無料の学習塾」を『すでに利用している』・『利用したい』と回答した方の理由をみると、「経済的に助かるから」(79.5%)が最も高くなっています。
- 「子どものための無料の体験活動」を『すでに利用している』・『利用したい』と回答した方の理由をみると、「交流ができるから」(84.0%)が最も高くなっています。

[問18-2] 子育て支援事業を利用したい理由(複数回答)



- 「子ども食堂」を『利用したくない』・『必要だと思わない』と回答した保護者の理由をみると、「家で食事ができているから」(88.3%)が最も高くなっています。
- 「子どものための無料の学習塾」を『利用したくない』・『必要だと思わない』と回答した方の理由をみると、「家族や親族で間に合うから」(48.7%)が最も高く、次いで「(有料の)塾に通っているから」(25.6%)となっています。
- 「子どものための無料の体験活動」を『利用したくない』・『必要だと思わない』と回答した方の理由をみると「習い事やクラブ活動などで忙しいから」(41.8%)が最も高く、次いで「地域の行事で十分だから」(30.9%)となっています。

[問18-3] 利用したくない、必要ではない理由(複数回答)



第6章
子ども・子育て支援に関する
自由意見

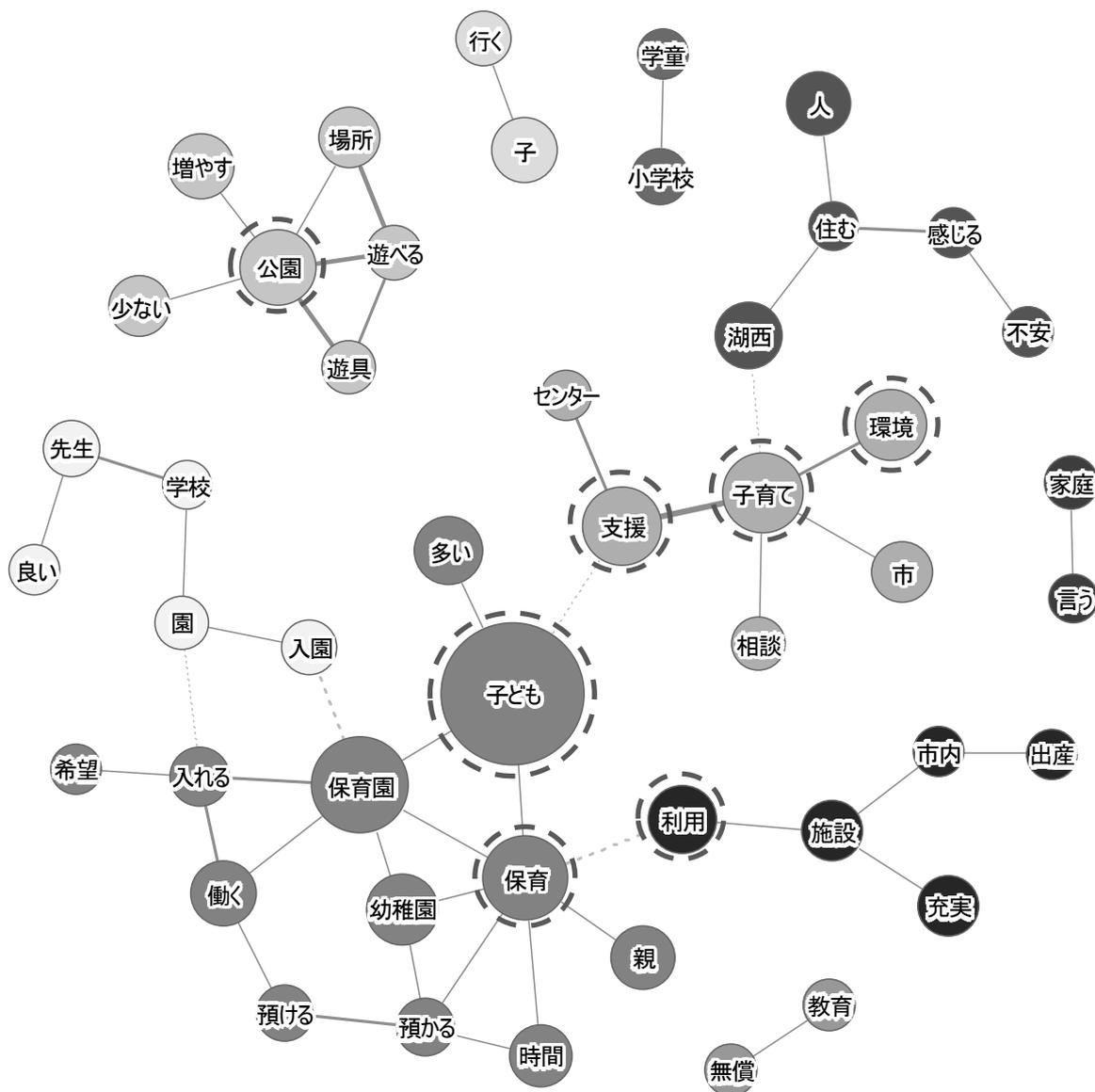
第6章 子ども・子育て支援に関する自由意見

1 就学前児童の保護者の自由意見

(1) 共起ネットワーク

下図は自由意見の「どんな言葉が多く出てきていて、どの言葉とどの言葉と一緒に使われていたのか」を表した共起ネットワーク図で、強い共起関係ほど太い線、出現数の多い語ほど大きい円となっています。

共起ネットワーク図からみられる皆さんの関心の高い単語を抽出し、自由意見としてまとめます。



(2) 教育・保育環境の充実についての自由意見

アンケート調査の自由意見内容を分類し、多い順に示した結果は下表のとおりです。

■抽出語件数

抽出語	子ども	保育	子育て	支援	公園	環境	利用
件数	164	82	79	71	63	61	47

■就学前児童の保護者の自由意見

抽出語	件数	代表的な自由意見
子ども	164	子どもが夜間熱を出して病院にかかりたい時に子どもの夜間救急（小児科）専門医が少なく困ります。点滴をして欲しかった時に、ここではできないので浜松の病院へ行ってくださいと言われ困りました。
		少子化と言われていますが、自分は3人の子育てをしています。もっと3人、4人の家庭に対して支援してくれると助かります。子どもが好きでも子育ては正直お金もかかります。そこを考えてくれればもっと1人だけではなく、2人3人兄弟姉妹が増加するのではないのでしょうか。
		1～2時間ほど買い物に行くとき、病院に行くときなどに気軽に子どもをみてる場所、預かってくれる場所がもっと増えたらと思う。各地区があれば助かります。車がないと子育て支援センターにも行けないので。
		働いている親が優遇され、働いていない親への風あたりが強く思える事がある。そこから解放される為に働きに出て「保育に掛ける」状況を作り、未満児に負担を強いるのも良くないと思っているので、いろいろな事情があると分かってほしい。働かないといけない家庭もある。親になったのだから、頑張るのは当たり前。母親は太陽であれ。実際に保健師さんから言われた言葉です。小さな子どもしかいないので、子育て支援手当と就園助成金が打ち切りになったのが負担増です。
		発達にデコボコのある子どもを継続的に支援する窓口や、支援者があるとありがたい。日々手一杯で先が読めない。発達支援を0～18才くらいまで共有して、同じ課もしくは隣り合った環境でもらえたら、同じ相談でいろいろな所を回らずにすむかと。今は3歳健診で医療者につなげて終了になっている気がする。その先は親が臨床心理士や医者からうまく情報をもらえれば療育につながるが、正直数か月に1度の診療では難しい。市として行っている相談事業や支援策、多種手続きなど湖西病院と連携するなど就学時健康診断書を利用する。親に寄り添った分かりやすい相談、しやすい支援を望みます。

保育	82	<p>保育料を安くしてほしい。預けられる時間を長くして。補助金の拡大。</p>
		<p>待望の子どもを授かり、大変ながらも毎日子どもと過ごす時間は幸せで、日々の成長が楽しみであり、ゆっくりと一歳になるまでは近くで成長を見たいのですが、保育園に入れないと復職が難しい為、泣く泣く、一歳未満での保育園申し込みをせざるを得ない状況です。働く親としては保育園に子どもを預けられるよう環境を整えて欲しいです。</p>
		<p>以前あまりに保育園に入れず市役所に相談しにいった所、早生まれで生まれたからなどひどい事を言われました。保育園に入れなかったのは早生まれで産んだ私たち親のせいだといわれた気持ちになりました。今は共働きの時代なのに、ここまで入れないのはなぜでしょうか。まわりにも入れない友人が多いです。</p>
		<p>現状、保育料が高額で家計の大きな負担になっています。この点、見直しをよろしく願います。親類が近くにいないため、親の子育てをサポートしてくれる事業が今後増えていくことに期待したいです。(親が病気のときに子どもを見てくれるなど)</p>
		<p>仕事との両立を考えると病児保育ができる施設が出来てほしい。なるべく親がみてあげたい気持ちはもちろんあるけど、長引いたり元気だけど保育園は通えない時などがなんともつらく思ってしまう。また、いざという時に頼れる病院が湖西病院しかないのがつらい。(最悪な先生にあたってしまったただけだと思うけど、病院が少ないのだったら、良い先生に来てほしい)</p>
子育て	79	<p>幼稚園の保育時間がもう少し長いといいなあと思います。長期休暇前は一週間程前から11時降園、もう少し長くなりませんか？小学生以上だと親が就労していると放課後児童クラブに入るそうですが、枠を増やしてほしいなあ。一時的に入れたりとか。20時頃までとか。親2人残業になると困るなあ。幼稚園、保育園に着ていく服に(指定の)名札をぬわなきゃいけないが、何とかならないか？浜松は名前をどこかに書いておけばいいと聞きました。幼稚園用と休みの時の服と分けなくてはいけなくなり、もったいない。</p>
		<p>もう3年前の話になりますが、上の子がいて下が双子の我が家。まだ双子が10か月くらいの頃、上の子の体力消耗に広くておもちゃもたくさんある「のびりん」に行こうと思いました。行く前に電話で1人で3人見るのが難しいと思うので、手伝ってほしいができますか？と聞くと「トイレなどでいなくなる時は見てあげられるが、それ以外は無理」だと言われた。活発な上の子、ハイハイ、つたい歩き、なんとも口に入れる双子にでも家で過ごすのも、と思って少し頑張って行ってみようかと思ったのに、すごく残念で何の為の子育て支援なのか？と怒りもあり、複雑な気持ちになった。基本的に親が子守りし見守るのは当たり前だけれど、お母さん同士が息をつける場にする為には、一緒に手伝ってくれる人が居てほしいと思う。</p> <p>赤ちゃんの頃は子育てについて相談できる所があるが、小学生や中学生になると学校の先生にしか相談できる場所がないと思っているので、学校以外に気軽に相談できる所があると嬉しいです。思春期の子の対応に悩んでいるので、子育て経験者専門家の方の意見を聞いてみたいです。</p>

<p>子育て</p>	<p>79</p>	<p>子どもがけいれんを起こして救急車要請をした際、受け入れてもらえる病院が市内に無く、結局浜松の病院まで1時間以上かけて行き入院となりました。正直車中で何かあったらと思うと恐ろしかったですし、入院後家族が面会に来ることも大変でした。我が家は3人子どもがいますが、そのうち2人が熱性けいれんを持っているため、熱を出す度いつもひやひやしています。救急車要請も3度もしています。そういった緊急時に親や家族のサポート（上の子を預かってもらえたり、家事を手伝ってもらえたり）してくれる制度があったら安心します。また医療の面でも湖西市は子どもを出産できる施設が無い上に、小児科も少なく、医療費はかからないものの、もう少し充実させて欲しい気持ちです。自分自身が助産師をしていたので、市内に産科があれば、また湖西病院が産科分娩再開してもらえたら働く場所も確保でき、有難いと思います。（余談ですが）それ以上に産科、小児科医療の充実、医師の確保は子育て環境の改善や子育て支援をしていく上で欠かせないのではと感じます。またわたしの住む地域は子どもがとても少なくなってきました。産む場所ができ小児科も充実すればここで出産し、子育てをしたいと思う人たちも増え人口増、子どもの増につながっていくのでは。</p> <p>医療費助成や児童手当、子育て支援センターなどとても助かる部分もあります。しかし、父の不在（消防団、お祭りの練習等）が多く、とても子育てしやすい環境ではないと感じています。子育て世代に優しい環境づくりを地域にしてほしいです。</p> <p>妊婦健診時「豊橋の人や豊川の人なら無料だけど、湖西の方は〇〇の検査有料です」とたまに言われたことが気になった。湖西に産院が無いから、豊橋市の病院へ行ったのに、そのような差があるのはしかたがないこととはいえ、不平等に感じる。でも、湖西はにこにこ広場のスタッフの方も保健師さんも栄養士さんもどの方もとても親切で親しみがあるので相談しやすいし、浜松も含め公園もたくさんあって子育てしやすいと感じています。（引越し前に知り合いでこちらに住んでいる人にそう聞いていた）にこにこ広場はいつも午前中だけですが、たまには午後からの日がほしい。午前中にぐずって開館時間に間に合わないこともあるから。</p>
<p>支援</p>	<p>71</p>	<p>私たち親子はつくしんぼ教室、のびのび預かり保育、子育て支援センターの遊びの広場ににこにこ広場を利用して頂いており、いつも保健師、保育士の先生方に気兼ねなく、又積極的に相談や話しをさせて頂いております。先生方も嫌な顔ひとつせず、私の話しに耳を傾けて下さり、精神的にも支えられています。これからもこの様な素晴らしい先生方が湖西市にいて下さると、それだけでも心が救われます。先生方に心から感謝、そしてエールを送りたいと思っています。</p> <p>医療費（子ども）の支援はこのまま是非続けて欲しい。長男が来年度入学にあたり、支援級への話しをされた（園の先生から）が湖西全域から園児受け入れをしているせいか、発達について判断する病院（湖西病院、小児、精神化）と市（子育て支援課）及び園との連携が取れていないと感じた。各機関に電話で問い合わせることとなり、たらいまわしの状態だったので、改善が必要だと思う。</p>

支援	71	<p>家庭の経済格差＝子どもの学力格差とならないよう、学校教育、放課後支援の質の向上を希望する。</p>
		<p>小学校の補助教員増員など、通常学級で支援の必要な子どものサポートの充実。担任教諭に余裕があることが望ましい。</p>
		<p>ちびっこ相談で療育をすすめられたが、湖西市で受けられる療育の情報提供がなく、病院受診をすすめられても病院、医療機関の情報提供もなく、紹介状もだしてもらえず困りました。（浜松市では発達支援センターから医療機関へ紹介状を出してもらえるとのことでしたが）自力でなんとかしましたが、すすめるだけで情報提供なしという支援のあり方はひどいと思いました。</p>
公園	63	<p>九州から実家のある湖西に嫁と子どもと転入してきましたが、嫁は湖西に友人等もなく不安でしたが、身内や自分の友人の嫁さんに仲良くして頂き、保育園の親たちとも仲良くできて安心しています。今後湖西市に転入（県外）した人が来た時に、子ども、親が孤立しないような支援、取組みを期待しています。子どもはもちろん、親の支援も大切だと思います。</p>
		<p>近所の公園が夕方になると小中学生がサッカーをしていたり、小さい子どもには危ない為、小学生くらいの子もたちが広々と遊べる場所がもっとあるといいです。</p>
		<p>子育てのサービスを広げるよりも、既存のサービスの見直しや老朽化した施設の修繕などをしっかりして欲しい。（特にトイレ、洋式化、公園トイレの整備など）</p>
		<p>近所に公園があっても狭く遊具等が何もない（ほとんどない）ので、生活道で遊んでいる子が目立ちます。野外で大きな広場等遊べる場所をもう少し作って欲しいです。</p>
環境	61	<p>週末に湖西で過ごそうと思って行くところもすることもなく、どうしても市外へ出ないといけないので、公園をバージョンアップするとか駐車場のある遊び場があるとか、図書館の近くにもう少しちゃんとした公園が欲しい。（図書館近くの公園に歩いていくのに歩道がないので危険）</p>
		<p>歩道がガタガタで、ベビーカーをひいて散歩するのに苦労した。公園が草だらけ、タバコ、ガラス片が落ちていて危険。文化公園を日当たり良くし、遊具を増やして欲しい。（小さい子でも乗れるブランコ、長いすべり台、地面の木の根むきだしているところをなくす等）</p>
環境	61	<p>通っているこども園の先生方の働く環境を充実させて欲しい。人員不足、長時間、土日祝日勤務と激務なうえ、発表会等の準備では残業代はつかない等あるそうで、先生が定着しない。子どもを大切に育ててくれて、行事や食育おひさま食堂や子育て支援等とても力を入れてくれる園なので、先生方が頑張れる気持ちになるような支援をして欲しいと思います。</p>
		<p>分娩できる病院がないのは子育て以前の問題だと思います。わざわざ別の市の病院に通うのであれば、この市に住む必要もないなど他市から来た者としては感じてしまいます。2人目を考えた時に正直この環境では難しいと思います。</p>

<p>環境</p>	<p>61</p>	<p>公園の中や駅の前などあらゆる所に花壇があり、きれいに植えられていて子どもが花を見て喜びますし、私も心が温まります。こんな環境で子育てできてよかったと思います。手入れされている環境は気持ちが良いです。</p> <p>湖西市は老人にとって住みやすい街であり、子育てするのに不便な街だと思います。幼稚園や高校は隣の豊橋市のような数や魅力が全くなく、選択肢がないので妥協をして仕方なく通いたくもない所へ通うか、生活が苦しくてもお金をかけて市外へ行くしかない。子の性質や性格に合わせて環境を全く選べない。特に、中学までほぼ全員が同じ学校へ行くので、(豊橋のように中学で他の小学校だった子が合流しないので)小学校でいじめなどがあった場合、中学卒業まで全く同じ環境でつらい思いをするか、引越し等をして市外へ行かねばならない。入学してからでない先生との質も分からず、幼稚園入園の際に市内の色々な園へ見学・相談へ行ったが、子の性格や状態によって延長や先生方に露骨に嫌な態度をとられたり、遠回しに入園を拒否するところもあり、先生の数も少なく先生方1人1人の負担が大きく、みんな顔が疲れている。保育園も田舎なのに、なんでこんなに待機が多いのかと思う。老人優先の街作りじゃなくてもっと子どものこと見てほしい。</p> <p>幼稚園の休校日数時間(11時までの日を減らしてほしい→家でお昼を作る日が多すぎて負担)を増やしてほしい。春休み、夏休み長い→公立の幼稚園は子どもが減っている?働こうと思った時に預けられない可能性が高い。預けられる環境をもって整えてほしい。子育てをしていると働いた方が気分転換にもなる。預けられる所がもっと増えたらいいと思う。</p>
<p>利用</p>	<p>47</p>	<p>学童保育を充実させてほしい。共働きやシングル世帯には必ず利用を希望する為、希望者が漏れることなく利用できるように改善してほしい。</p> <p>病気の時でも預けられる施設があるとよいです。(どうしても仕事が休めない時などに利用)現在保育園から幼稚園をこども園化していくようですが、保育園の送迎と小学生の登下校と重なり、事故や渋滞がおきないか心配です。体験学習施設やおんぱくのようなものを拡張・充実してほしい。</p> <p>なろっぴみたいな施設を増やしてほしい。兄弟がいると(上が小学生、下が幼稚園)夏休みの学童保育と予測保育(幼稚園のみ)は場所が離れすぎるので利用しにくい。なろっぴだと兄弟で利用できるし、送迎も同じで便利。</p> <p>幼稚園の預かり保育に預けたいのですが、1時間250円は金額が高すぎて家計への負担が大きすぎます。2人預けたら500円と人数が増えると利用しづらいです。慣らしも必要ですが半日で帰る日が多すぎます。働きたくてもとても融通が利かず、働きに出られません。アレルギー対応の給食などアレルギー児への対応を手厚くしてほしいです。</p> <p>小学校も中学校も私が子どもの時から変わってなくて、古くなっているので新しい学校で学ばせたい。1ヶ月健診の補助や予防接種(任意)の補助があるといい。(1ヶ月健診豊橋は無料(0才~2歳の保育園の利用料が高いので補助があると嬉しい。祝日も小さい子は高い。園によって金額が違うのも統一してほしい。(税目料金)</p>

(2) 教育・保育環境の充実についての自由意見

アンケート調査の自由意見内容を分類し、多い順に示した結果は下表のとおりです。

■抽出語件数

抽出語	子ども	学校	子育て	支援	公園
件数	57	36	23	21	17

■小学生の保護者の自由意見

抽出語	件数	自由意見（抜粋）
子ども	57	少子化により、子ども会等保護者の負担が大きくなる一方、(市子連役員も) 選出の仕方考え直すべきだと思う。
		子どもたちに悪しきしきたりや地域のルールを残さない。少子化なのにルールを変えて良くしていこうとしない古い考えの人が多い。
		中学までは子ども達だけで留守番させることのない環境が理想です。勉強を教えてもらえる所(無料で)子ども達が気軽に行ける場所があると助かります。登下校の大人の見守りがあるといいです
		子どもたちが地元で就職することを優位にして欲しい。就職したらお祝金をだしてくれたら、子どもたちも地元に残る意識も高まると思う。
		西部地域センターなど公共の施設で子どもの習い事など出来るようになれば便利だと思う。
学校	27	近年、温暖化が進み、夏は暑さが増々厳しくなっています。熱中症で死亡する事も多くなってきたので、学校への空調の導入をなるべく早くしてもらいたいです。あと、新居小学校は津波が来た時に避難する場所が全児童を考えると小さいのではないかと心配です。
		学校行事等で父兄参加の場面が多すぎるように思います。
		学校に行く時のコーちゃんバスを無料にしてほしい。学校が終わる頃にもコーちゃんバスを出してほしい。
		学校に車で送迎が出来るように、周辺に駐車場を確保してほしいです。
		学校行事に参加すると小さな子を連れての方がたくさんいますが、子どもを休憩させ、おむつを替える場所が無いので、できればいいと思います。
子育て	23	出産前の子育て教室の内容充実。
		子育て支援など子どもの為にある施設がある事を詳しく知りません。分かりやすく教えてくれると分かりやすいかもしれないです。
		安全な街で子育てをできるよう、パトロールの強化をお願いしたいです。
		父親は交代制勤務で、ほとんど母親1人での子育ては息がつまった。今は子どもが成長して、働きはじめたのでお金の余裕も少しはでてきたが、昔は大変だった。そういった家庭を支援するサービスを充実してほしい。
		湖西市は放課後子ども教室(以前利用しました)やNPOボレボレなどがあり、子育てをするのにとても良い環境だと思います。これからも子育ての事業が更に充実してもらえると嬉しいです。(今川子ども自然クラブなどもとてもいいと思います。)

支援	21	母子家庭では支援や情報が充実しているが、父子家庭はそこまでない。行政にあてにせず生活しています。
		ホームステイなど勉強のため海外に行くことを支援してほしい
		グレーゾーンや発達障害の子が、多くの子たちの中で成長するための支援をしてほしいです。支援学級は中学でなくなって、知的に障害のない子は、いずれ普通の人と同じ社会で生きなくてはいけないので、本人にはそのために必要な支援や逆に普通の子たちはそういう子たちに対する差別のない社会を作っていくしてほしいので。
		産前産後の支援があると嬉しい。特に2子目の妊娠でつわりの時、第1子が小さいと遊んであげたり世話が出来ない。産後も新生児を連れて外遊びはできず、第一子が室内で体力を持て余し苦勞した。ファミリーサポートを知っていれば、つわり時は外遊びを頼み産後は新生児を1時間でも預ければ、第一子と外遊びができたのと思った。
公園	17	一人親家庭や子どもの発達に悩む人が気軽に相談できる場所や、具体的にどこでどのような支援を受けられるか教えてくれる場所、そういった支援を受けやすいようにしてほしい。
		公園等の不満が目立ちます。(駅南公園の休憩スペースの屋根など)市できちんと整備してください。
		どの公園もサッカー禁止、ボールを使うことを禁止している。いったいどこでボール遊びをすればよいのでしょうか
		おもいっきり遊べる大きな公園を作してほしいです。
		子どもが外で遊べる公園などの設備を充実させてほしい。老朽化で取り壊されてそのままになっているので、自分達が子どもの時に遊んでいた遊具などがあつたらいいのと思います。
近くに公園があるが、公園内に用水池があり危ない。		

資料編

資料編

1 就学前児童の調査票

【本就学児保護者用】

湖西市の子ども・子育て支援に関するアンケート調査

【調査ご協力をお願い】

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。
さて、本市では、「子ども・子育て支援法」に基づき、平成27年3月に「湖西市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、様々な子育て支援事業に取り組んでおります。現行計画は平成27年度から平成31年度までの5か年計画であることから、来年度には2020年度を始期とする次期計画を策定する予定です。
このため、市民の皆様の子育て状況や、子ども・子育て支援に関するご要望・ご意見などを把握するべく、「湖西市の子ども・子育て支援に関するアンケート調査」を実施することとなりました。
この調査は、湖西市にお住まいの、就学前のお子さんをお持ちの保護者の方にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子ども・子育て施策の検討にのみ利用させていただきますので、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用することは一切ございません。
つきましては、ご多用のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年12月

湖西市長 彩山剛士

あなたの声が、子育てしやすく、子どもが健やかに育つ湖西市をつくります！

子育て家庭 → アンケート調査等により、子育て家庭の子育て実態の把握と有効活用策を把握 → 湖西市 子ども・子育て委員会 → 調査等によって把握された利用希望等を考慮して、今後の計画を策定 → 湖西市 子ども・子育て支援事業計画 → 幼児期の学校教育・保育や地域の子育て支援について「要の見込み（現在の利用状況・利用希望をふまえて策定）」、「運営方策（確保の内容・実施時期）」を記載

加齢児発達クラブ、地域子育て支援拠点事業、一時預かり、育児・病後児保育等
幼稚園、保育園認定子ども園、小規模保育、家庭的保育等
計画に基づいて実施

記入にあたって

- 特にことわりの場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
- アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
- 数字で時間を記入いただく際は、24時間制でご記入ください。例：午後5時～17時
- ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて

平成30年12月21日（金）までにポストに投函してくださいようお願いいたします。

このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
湖西市 健康福祉部 子育て支援課
電話：053-576-1813（直通） FAX：053-576-1220

子ども・子育て支援新制度の目的

- 一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現
- 一人ひとりかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることができる環境の整備
- 親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じるようなことができるような支援

この調査は、子ども・子育て支援に関する各種事業・サービスについての「量の見込み」を算出するため、みなさんにご協力いただき、「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

【用語の定義】 この調査票では、①～③の用語について以下のように定義しています。

①保育園	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設です。（児童福祉法第39条）
②幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設です。（学校教育法第22条）
③認定子ども園	幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設です。（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）

※サービス希望のご回答にあたっては、**利用にあたり、一定の利用者負担が発生します。**利用希望のご回答にあたっては、以下の料金設定一覧表をご参照いただき、**利用料の負担やサービスの内容をご確認の上**でご答えいただきますよう、よろしくお願いたします。

【料金設定一覧表】

施設	費用	サービス内容等
保育園	【公・私立】3歳未満児 月 0円～80,000円 3歳児 月 0円～35,000円	児童世帯の所得により異なる
認定子ども園（保育部分）	内容 園が定める基準に適合した施設で県の認可を受けたもの	
一時預かり	費用 3歳未満児 1,800円、3歳以上児 1,000円	内容 私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業
幼稚園	費用 【公立】0円～8,900円 【私立】0円～20,600円	内容 通常の就園時間の利用
幼稚園の預かり保育	費用 【平日】時間単位 250円 【長期休園日】1日1,000円 【平日】通常の就園時間を延長して預かる事業 【長期休園日】保護者の就労等により長期休園日に預かりを必要とする児童を預かる事業	
ファミリー・サポート・センター	費用 時間 600円～800円、差利用日割により異なる	内容 地域住民が子どもを預かる事業

※上記は現在の制度の内容です。

あてはまる番号に○をつけてください。
なお、「その他」を選択された場合は、（ ）内に具体的に記入ください。

1. お住まいの地域についてうかがいます

問1 お住まいの地区はどちらですか。（○は1つ）

1. 藤津小学校区	2. 白須賀小学校区	3. 東小学校区
4. 岡崎小学校区	5. 知波田小学校区	6. 新屋小学校区
7. わからない（地区名をご記入ください）		

2. お子さんご家族の状況についてうかがいます

問2 お子さんの生年月日を数字でご記入ください。
平成 ____年 ____月 ____生まれ

問3 お子さんのきょうだいは何人いますか。
※あて名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください。
※お兄さんが2人以上の場合は、末子の生年月日を数字でご記入ください。
きょうだい数 ____人 末子の生年月 平成 ____年 ____月 ____生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。（○は1つ）
※あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 母親	2. 父親	3. その他（ ）
-------	-------	-----------

問5 この調査票に回答いただいている方の状況について（1）～（3）にお答えください。（それぞれ○は1つ）

(1) 配偶者について

1. 配偶者がいる	2. 配偶者がいない
-----------	------------

(2) 世帯の状況について

1. 核家族世帯	2. 三世帯世帯	3. その他（ ）
----------	----------	-----------

(3) お住まいの状況について

1. 戸建住宅	2. 集合住宅	3. その他（ ）
---------	---------	-----------

問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主にしているのはどなたですか。（○は1つ）
※あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親
4. 主に祖父	5. その他（ ）	

3. お子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問7 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなたか（どこ）ですか。（○はいくつでも）
※あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 母親	2. 父親	3. 祖父
4. 幼稚園	5. 保育園	6. 認定子ども園
7. その他（ ）		

問8 お子さんの子育て（教育を含む）に、大きく影響すると思われる環境は何だと思いますか。（○はいくつでも）

1. 家庭	2. 地域	3. 幼稚園	4. 保育園
5. 認定子ども園	6. その他（ ）		

問9 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。（○はいくつでも）

1. 日常的に祖父等親族のみてもらえる	⇒問9-1へ
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父等親族のみてもらえる	
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	⇒問9-2へ
5. いずれもない	⇒問10へ

問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。
問9-1 祖父等親族にお子さんを見てもらっている状況についてお答えください。（○はいくつでも）

1. 祖父等親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父等親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父等親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たちの立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
6. その他（ ）

問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。
問9-2 友人・知人にお子さんを見てもらっている状況についてお答えください。（○はいくつでも）

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たちの立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
6. その他（ ）

問10 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（○は1つ）

1. いる/ある ⇒問10-1へ 2. いない/ない ⇒問11へ

問10で「1. いる/ある」に○をつけた方にかがいます。

問10-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）

1. 配偶者 2. 祖父母等の親族 3. 友人や知人
4. 近所の人 5. インターネット（子育て支援サイトやSNS、LINE等）
6. 子育て支援施設（地域子育て支援センター等） 7. 保健所
8. 保育園・幼稚園 9. 民生委員・児童委員 10. かかりつけの医師
11. 市の子育て関連担当窓口 12. その他（例：ベビーシッター）

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からのどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。自由にご記入ください。

4. 保護者の就労についてうかがいます

母親についてうかがいます ※母子家庭の場合は記載不要です。⇒問13へ

問12 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（○は1つ）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ⇒問12-1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である ⇒問12-3へ
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

3

問12で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にかがいます。

問12-1 以下の（1）、（2）の設問にお答えください。

（1）1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）を数字でご記入ください。日数や時間が一定でない場合は、最も多いパターンで、産休・育休・介護休業の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり 日 1日当たり 時間

（2）家を出る時刻と帰宅時刻について、数字でご記入ください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンで、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制でご記入ください。

家を出る時刻 時 分 帰宅時刻 時 分

問12で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にかがいます。

問12-2 フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問12で「5.」または「6.」（就労していない）に○をつけた方にかがいます。

問12-3 就労したいという希望はありますか。（あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけて、該当する選択肢には数字で記入）

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに働きたい
3. すぐにも、もしくは1年以内に働きたい

→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア.」以外）
→1週当たり 日 / 1日当たり 時間

4

父親についてうかがいます ※母子家庭の場合は記載不要です。⇒問14へ

問13 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（○は1つ）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・介護休業中ではない ⇒問13-1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である ⇒問13-3へ
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

問13で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にかがいます。

問13-1 以下の（1）、（2）の設問にお答えください。

（1）1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）を数字でご記入ください。日数や時間が一定でない場合は、最も多いパターンで、産休・介護休業の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり 日 1日当たり 時間

（2）家を出る時刻と帰宅時刻について、数字でご記入ください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンで、産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制でご記入ください。

家を出る時刻 時 分 帰宅時刻 時 分

問13で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にかがいます。

問13-2 フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問13で「5.」または「6.」（就労していない）に○をつけた方にかがいます。

問13-3 就労したいという希望はありますか。（あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけて、該当する選択肢には数字で記入）

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに働きたい
3. すぐにも、もしくは1年以内に働きたい

→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア.」以外）
→1週当たり 日 / 1日当たり 時間

5

5. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育園など、問14-1（2）に示した事業が含まれます。

問14 お子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（○は1つ）

1. 利用している ⇒問14-1へ 2. 利用していない ⇒問14-2へ

問14で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。

問14-1 以下の（1）～（4）の設問にお答えください。

（1）現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。（○は1つ）

1. 湖西市内 2. 他の市町村

（2）お子さんは、平日のような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（○はいくつでも）

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模保育事業（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員おおむね6～19人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもを家庭で保育する事業）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が有償で子どもを預かる事業）
12. その他（ ）

（3）平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。（○はいくつでも）

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定である/求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病状や障害がある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（ ）

6

(4) 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。
 (1 週当たり何日、1 日当たり何時間(何時から何時まで)かを、数字で記入)
 ※時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制でご記入ください。

※現在の利用状況

①現在の利用状況
 1 週当たり _____ 日 1 日当たり _____ 時間 (_____ 時～ _____ 時)

②希望の利用状況
 1 週当たり _____ 日 1 日当たり _____ 時間 (_____ 時～ _____ 時)

問14で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
 問14-2 利用していない理由は何ですか。
 (○はいくつでも。利用を希望する子どもの年齢を数字で記入)

1. 利用する必要がある(子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で)
 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
 4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
 6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
 8. 子どもがまだ小さいため(_____ 歳くらいになったら利用しようと考えている)
 9. その他(_____)

すべての方にうかがいます。
 問15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。
 (○はいくつでも)
 ※これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。認可保育園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)
 2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
 3. 認可保育園(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)
 4. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
 5. 小規模保育事業(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員おおむね6～19人のもの)
 6. 家庭的保育(保育者の家庭等で子どもを保育する事業)
 7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員に運営する施設)
 8. 自治体の認証・認定保育施設(認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設)
 9. その他の認可外の保育施設
 10. 居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
 11. ファミリー・サポート・センター(地域住民が有償で子どもを預かる事業)
 12. その他(_____)

7

問15-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。(○は1つ)

1. 滋西市内 2. 他の市町村

問15で「1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3. ～12.」にも○をつけた方にうかがいます。
 問15-2 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

<幼児教育の無償化>

幼児教育の無償化については、消費税率引上げ時の2019年10月1日から実施の予定です。主な内容は次のとおりです。
 ○3歳から5歳までの子どもたちの幼稚園、保育園、認定こども園などの利用料を無償化する見込みです。
 ○0歳から2歳時の子どもたちの利用料については、住民税非課税世帯を対象として無償化する見込みです。

すべての方にうかがいます。
 問16 この無償化が実施された場合に、お子さんの平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(○はいくつでも)

1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)
 2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
 3. 認可保育園(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)
 4. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
 5. 小規模保育事業(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員おおむね6～19人のもの)
 6. 家庭的保育(保育者の家庭等で子どもを保育する事業)
 7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員に運営する施設)
 8. 自治体の認証・認定保育施設(認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設)
 9. その他の認可外の保育施設
 10. 居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
 11. ファミリー・サポート・センター(地域住民が有償で子どもを預かる事業)
 12. その他(_____)

8

6. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

問17 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」にここに広場)等と呼ばれています)を利用していますか。
 (○はいくつでも。また、おおよその利用回数(頻度)を数字で記入)

1. 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)
 1 週当たり _____ 回 もしくは 1 か月当たり _____ 回程度

2. その他当該自治体で実施している類似の事業(具体的: _____)
 1 週当たり _____ 回 もしくは 1 か月当たり _____ 回程度

3. 利用していない ⇒問17-1へ

問17で「3. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
 問17-1 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)を利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)
 ※母親、父親それぞれについてお答えください。(ひとり親世帯は該当する方のみお答えください。)

母親	父親
1. 場所が遠いので利用しづらい	1. 場所が遠いので利用しづらい
2. 開催時間や日数が利用しづらい	2. 開催時間や日数が利用しづらい
3. 知人がいないので行きづらい	3. 知人がいないので行きづらい
4. 知らなかった	4. 知らなかった
5. 利用する時間がない	5. 利用する時間がない
6. 利用の仕方がわからない	6. 利用の仕方がわからない
7. 親同士の付き合いがわずらわしい	7. 親同士の付き合いがわずらわしい
8. 外出するのが面倒	8. 外出するのが面倒
9. 子どもが大きくなって必要ない	9. 子どもが大きくなって必要ない
10. 特に利用する必要性を感じない	10. 特に利用する必要性を感じない
11. その他(具体的に _____)	11. その他(具体的に _____)
12. 特に理由はない	12. 特に理由はない

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。
 (○は1つ。また、おおよその利用回数(頻度)を数字で記入)
 ※事業の利用には、一定の利用料が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい
 1 週当たり _____ 回 もしくは 1 か月当たり _____ 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
 1 週当たり _____ 回 もしくは 1 か月当たり _____ 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

9

問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。
 (①～⑨の事業ごとに、A～Cのそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれか1つに○)
 ※事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
① 子育て支援センター「のびりん」 ・子育てに係る交流、相談、情報の提供など、総合的に支援します。また、玩具があり、親子で安心して遊ぶことができます。	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
② にここ広場(市内5か所) ・親子が集まって過ごしたり、相談したり情報提供を受けたりする場です。	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
③ 遊びの広場(健康福祉センター「おぼと」) ・玩具があり、親子で安心して遊ぶことができます。	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
④ おひさま広場(西部地域センター) ・玩具があり、親子で安心して遊ぶことができます。	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
⑤ ファミリー・サポート・センター ・会員制の事業で、登録会員が子どもを預かり、子育てを支援します。	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
⑥ のびのび預かり保育 ・2歳から就学前の幼児を保育士が一時的に預かります。	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
⑦ 保育園・こども園一時預かり ・お子さんを一時的に預けることができます。	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
⑧ ふたば学級 ・2歳児の保護者が子育てを学習する場です。	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
⑨ 保育園・こども園の子育て相談 ・子育ての悩みを相談に保育士が応じます。	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ

10

問20 様々な支援の場に活かすため、子育ての困りごとについてお答えください。
(〇はいくつでも)
※母親、父親それぞれについてお答えください。(ひとり親世帯は該当する方のみお答えください。)

母親	父親
1. 家の中に子どもが遊べるスペースがない	1. 家の中に子どもが遊べるスペースがない
2. 住宅の間取り等が悪く、家事や育児が難しい	2. 住宅の間取り等が悪く、家事や育児が難しい
3. 子どもを預かってくれる人を見つけるのが難しい	3. 子どもを預かってくれる人を見つけるのが難しい
4. 夫婦2人で過ごすスペースを確保するのが難しい	4. 夫婦2人で過ごすスペースを確保するのが難しい
5. 大勢の人がいる公共の場で子どもの扱いに困る	5. 大勢の人がいる公共の場で子どもの扱いに困る
6. 自分1人で過ごすスペースを確保するのが難しい	6. 自分1人で過ごすスペースを確保するのが難しい
7. 子どもに文句や不平を言われたり、駄々をこねられたりする	7. 子どもに文句や不平を言われたり、駄々をこねられたりする
8. 夜泣きがひどい	8. 夜泣きがひどい
9. 自分のための時間を確保するのが難しい	9. 自分のための時間を確保するのが難しい
10. 夫婦2人の時間を確保するのが難しい	10. 夫婦2人の時間を確保するのが難しい
11. 子どもに遊んでとせがまれる	11. 子どもに遊んでとせがまれる
12. あなたがおもちゃや散らかっているものを片付けている	12. あなたがおもちゃや散らかっているものを片付けている
13. その他(具体的に)	13. その他(具体的に)

7. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

問21 お子さんの土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます) (〇は1つずつ。希望がある場合は、利用したい時間帯を数字で記入)
※時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制でご記入ください。
※これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。
※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含まれません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1~2回は利用したい

利用したい時間帯 _____時~_____時

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1~2回は利用したい

利用したい時間帯 _____時~_____時

問21の(1)または(2)で、「3. 月に1~2回は利用したい」に〇をつけた方にうかがいます。

問21-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何かですか。(〇はいくつでも)

1. 月に数回仕事が入るため

2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため

3. 親族の介護や手伝いが必要なため

4. リフレッシュのため

5. その他()

【幼稚園】を利用されている方にうかがいます。

問22 お子さんの夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(〇は1つ。希望がある場合は、利用したい時間帯を数字で記入)
※時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制でご記入ください。

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3. 休みの期間中、週に数日利用したい

利用したい時間帯 _____時~_____時

問22で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に〇をつけた方にうかがいます。

問22-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何かですか。(〇はいくつでも)

1. 週に数回仕事が入るため

2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため

3. 親族の介護や手伝いが必要なため

4. リフレッシュのため

5. その他()

**8. お子さんの病気の対応についてうかがいます
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

平日の定期的な教育・保育の事業を利用してると答えた保護者の方(問14で「1. 利用している」に〇をつけた方)にうかがいます。 ⇒利用していない方は、問14へ

問23 この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。(〇は1つ)

1. あった ⇒問23-1へ

2. なかった ⇒問24へ

問23で「1. あった」に〇をつけた方にうかがいます。

問23-1 お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどのようなことですか。半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。(〇はいくつでも。日数を数字で記入)

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	_____日
イ. 母親が休んだ	_____日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	_____日
エ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	_____日
オ. ベビーシッターを利用した	_____日
カ. ファミリー・サポート・センターを利用した	_____日
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	_____日
ク. その他()	_____日

⇒問23-2へ

⇒問24へ

問23-1で「ア.」または「イ.」に〇をつけた方にうかがいます。

問23-2 その他、「ア.」または「イ.」で言えば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたが。(あてはまる番号1つに〇をつけて、該当する選択肢には日数についても数字で記入)
※病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. であれば病児・病後児保育施設等を利用したい 年間日数 _____日

2. 利用したいとは思わない

9. お子さんの不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用についてうかがいます

問24 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(〇はいくつでも。1年間の利用日数についても数字で記入)

利用している事業	年間日数
1. 一時預かり(私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業)	_____日
2. 幼稚園の預かり保育(通常の遊園時間を超えて預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ)	_____日
3. ファミリー・サポート・センター	_____日
4. ベビーシッター	_____日
5. その他()	_____日
6. 利用していない ⇒問24-1へ	_____日

⇒問25へ

問24で「6. 利用していない」に〇をつけた方にうかがいます。

問24-1 現在利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 特に利用する必要はない

2. 利用したい事業が地域にない

3. 地域の事業の質に不安がある

4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない

5. 利用料がかかる・高い

6. 利用料がわからない

7. 自分が事業の対象者になるのかわからない

8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない

9. その他()

問25 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用したいと思いませんか。

(あてはまる番号・記号すべてに〇をつけて、日数についても数字で記入)
※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を記入してください。
※事業の利用には、一定の利用料が発生します。

利用希望	希望日数
1. 利用したい	計 _____日
ア. 私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の買い物等)、リフレッシュ目的	_____日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	_____日
ウ. 不定期の就労	_____日
エ. その他()	_____日
2. 利用する必要はない ⇒問26へ	_____日

⇒問25-1へ

問25で「1. 利用したい」に〇をつけた方にうかがいます。

問25-1 問25の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いませんか。(〇はいくつでも)

1. 幼稚園・保育園

2. 地域子育て支援拠点(子育て支援センター等)

3. ファミリー・サポート・センター等

4. その他()

問26 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを預りかけて家族以外にみてもらわなければならないことはありませんでしたか。(預け先が見つからなかった場合も含まれます)
(あてはまる番号・記号すべてに〇をつけて、日数についても数字で記入)

有難	1年間の対処方法(〇はいくつでも)	日数
1. あった	ア. 親族・知人(同居者を含む)にみてもらった	_____日
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	_____日
	ウ. 認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した	_____日
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	_____日
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	_____日
	カ. その他()	_____日
2. なかった		_____日

10. お子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます

※あて名のお子さんが5歳未満の方は、問30へ
問27 お子さんが、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後の）時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも。週の利用日数及び「放課後児童クラブ」の場合は利用を希望する時間を数字で記入）
※時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制でご記入ください。

過ごさせたい場所	日数
1. 自宅	週 ____ 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 ____ 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	週 ____ 日くらい
4. 放課後児童クラブ（学童保育）※1	週 ____ 日くらい ⇒下校時から ____ 時まで
5. 放課後子ども教室※2	週 ____ 日くらい
6. ファミリー・サポート・センター	週 ____ 日くらい
7. その他（公園等）	週 ____ 日くらい

※1 放課後児童クラブ…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料が発生します。
※2 放課後子ども教室…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問28 お子さんが、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後の）時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも。週の利用日数及び「放課後児童クラブ」の場合は利用を希望する時間を数字で記入）
※時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制でご記入ください。
※少し先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

過ごさせたい場所	日数
1. 自宅	週 ____ 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 ____ 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	週 ____ 日くらい
4. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 ____ 日くらい ⇒下校時から ____ 時まで
5. 放課後子ども教室	週 ____ 日くらい
6. ファミリー・サポート・センター	週 ____ 日くらい
7. その他（公園等）	週 ____ 日くらい

問27または問28で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方うかがいます。

問29 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日は、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（○は1つずつ。希望がある場合は、利用したい時間帯を数字で記入）
※時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制でご記入ください。
※事業の利用には、一定の利用料が発生します。

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯
____ 時～ ____ 時

(2) 日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯
____ 時～ ____ 時

(3) 長期休暇期間中（夏休み・冬休みなど）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯
____ 時～ ____ 時

11. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます

※ここからは母親、父親についての設問がある場合、それぞれについてお答えください。（ひとり親世帯は該当する方のみお答えください。）

問30 現在、国には下記のような職場での両立支援のための制度がありますが、ご存じでしたか。（○は1つ）

- ※1 育児休業給付…子どもが原則1歳（保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み
※2 保険料免除…子どもが3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問31 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。（○は1つずつ）

母親	父親
1. 働いていなかった ⇒問32へ	1. 働いていなかった ⇒問32へ
2. 取得した（取得中である） ⇒問31-2へ	2. 取得した（取得中である） ⇒問31-2へ
3. 取得していない ⇒問31-1へ	3. 取得していない ⇒問31-1へ

問31で「3. 取得していない」に○をつけた方うかがいます。

問31-1 育児休業を取得していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

母親	父親
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3. （産後）仕事に早く復帰したかった	3. 仕事に関するのが難しそうだった
4. 仕事に関するのが難しそうだった	4. 昇給・昇格などが遅れそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	5. 収入減となり、経済的に苦しくなる
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	6. 保育園などに預けることができた
7. 保育園などに預けることができた	7. 配偶者が育児休業制度を利用した
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	8. 配偶者が無職、祖父母等の親族にのみもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にのみもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9. 子育てや家事に専念するため退職した
10. 子育てや家事に専念するため退職した	10. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12. 育児休業を取得できることを知らなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	13. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した	13. その他（ ）
15. その他（ ）	

⇒問32へ

問31で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方うかがいます。

問31-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（○は1つずつ）

母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒問31-2-1へ	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒問31-2-1へ
2. 現在も育児休業中である ⇒問31-5へ	2. 現在も育児休業中である ⇒問31-5へ
3. 育児休業中に離職した ⇒問32へ	3. 育児休業中に離職した ⇒問32へ

問31-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方うかがいます。

問31-2-1 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（○は1つずつ）
※年度初めでの認可保育園入園を希望して、1月～2月間復帰して、1年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1.」を選択していただきます。

母親	父親
1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった	1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった	2. それ以外だった

問31-2-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何月何日に職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何月何日のときまで取り戻したか。（それぞれ数字で記入）

①実際の取得期間

母親	父親
____ 歳 ____ 月	____ 歳 ____ 月

②希望の取得期間

母親	父親
____ 歳 ____ 月	____ 歳 ____ 月

問31-2-3 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何月何日のときまで取り戻したか。（それぞれ数字で記入）

母親	父親
____ 歳 ____ 月	____ 歳 ____ 月

問31-2-2で実際の復帰と希望が異なる方うかがいます。

問31-3 希望の時期に職場復帰しなかったのは、どのような理由からですか。（○はいくつでも）

(1) 「希望」より早く復帰した方

母親	父親
1. 希望する保育園に入園するため	1. 希望する保育園に入園するため
2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ ）	5. その他（ ）

(2) 「希望」より遅く復帰した方

母親	父親
1. 希望する保育園に入園できなかったため	1. 希望する保育園に入園できなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため	2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他（ ）	6. その他（ ）

問31-4 育児休業からの職場復帰時は、短時間勤務制度を利用しましたか。（○は1つずつ）

母親	父親
1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった。もともと短時間勤務だった） ⇒問32へ	1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった。もともと短時間勤務だった） ⇒問32へ
2. 利用した ⇒問32へ	2. 利用した ⇒問32へ
3. 利用したが、利用しなかった（利用できなかった） ⇒問31-4-1へ	3. 利用したが、利用しなかった（利用できなかった） ⇒問31-4-1へ

問31-4で「3. 利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方うかがいます。

問31-4-1 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。(○はいくつでも)

母親	父親
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される	3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる	4. 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した	7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他()	10. その他()

⇒問32へ

問31-2で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方うかがいます。

問31-5 お子さんの育児休業期間が満了したときに、お子さんを預けられる事業(保育園への入園等)があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(○は1つずつ)

母親	父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になる前に復帰したい

12. すべての方に、子育てに関する市の施策等についてうかがいます

問32 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。(○は1つ)

満足度が低い ← 2 3 4 5 満足度高い

【理由】()

問33 子育てについて、日ごろ悩んでいることや不安に思っていることはどのようなことですか。(○はいくつでも)

※母親、父親それぞれについてお答えください。(ひとり親世帯は該当する方のみお答えください。)

母親	父親
1. 子どもの病気や発育・発達に関すること	1. 子どもの病気や発育・発達に関すること
2. 子どもの食事や栄養に関すること	2. 子どもの食事や栄養に関すること
3. 子育ての方法がよくわからないこと	3. 子育ての方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと	4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと	5. 子どもとの時間を十分にとれないこと
6. 子育てにかかる費用が大きな負担になっていること	6. 子育てにかかる費用が大きな負担になっていること
7. 子どもの教育に関すること	7. 子どもの教育に関すること
8. 友達付き合い(いじめなど)に関すること	8. 友達付き合い(いじめなど)に関すること
9. 登園を嫌がること	9. 登園を嫌がること
10. その他()	10. その他()
11. 特になし	11. 特になし

問34 具体的に悩んでいることや不安に思っていることはどのようなことですか。(○はいくつでも)

1. 生活リズムが規則的にならない	2. 子どもの性質や性格が気になる
3. トイレトレーニングの時期ややり方がわからない	
4. テレビやビデオの見せ方がわからない	5. 安全な外遊びの場所がない
6. アレルギー(アトピーやぜんそく)のことで困っている	
7. 体重が増えない	8. おもちゃや絵本の与え方がわからない
9. ベビーフードの与え方がわからない	10. 母乳の出が悪い
11. 体重が多すぎる	12. 言葉の遅れが心配だ
13. 紙おむつか布おむつか迷っている	
14. その他()	

問35 日頃の悩みや困りごと等をふまえて、特に行政してほしい子育て支援がありましたらお聞かせください。(1)～(5)についてそれぞれ○はいくつでも)

※今後の希望または経験等をふまえてお答えください。

(1) 子育て家庭の就労環境について

1. 職場における子育ての協力	
2. 出産後の就労支援の充実	
3. 育児休業の取得援助	

(2) 子育ての経済的負担について

1. 保育料・教育費の軽減	2. 児童手当・所得制限の見直し
3. 妊娠・出産にかかる経済的援助	4. 子どもの医療費助成の拡充
5. 多胎児家庭支援の充実	6. ひとり親家庭支援の充実
7. 認可外施設への助成・利用料補助の充実	

(3) 幼稚園・保育園・こども園・その他認可外施設に関することについて

1. 保育園・こども園の一時預かり事業の充実	
2. 幼稚園の預かり保育の充実	
3. 保育園・こども園などの保育施設の入園枠の拡大(新設、定員の増加)	
4. 病児・病後児デイケア事業の充実	5. 幼保一体化
6. 幼稚園の入園枠の拡大(新設、定員の増加)	
7. 職員の増員・質の向上	
8. 保育園・こども園などの保育施設の入園資格の緩和	
9. 障害児保育・教育の充実	10. 幼稚園・保育園等の情報案内の充実
11. 教育・保育内容の充実	12. 給食の充実
13. 保育園などの休日保育の充実	14. 夜間保育の充実

(4) その他の子育て支援サービスについて

1. 子育て支援サービスの情報案内の充実	2. 子育て家庭の交流機会の充実
3. 子育て支援団体等への支援拡充	4. ベビーシッターや産後ヘルプ事業の充実
5. 相談事業の充実	6. 健診・予防接種等保健サービスの充実
7. 働いていない保護者のいる家庭への支援の充実	
8. 居宅養育支援の充実	9. 児童の虐待対応・相談の拡充

(5) 子育て環境について

1. 子育て支援施設の拡充
2. 児童公園等子どもの遊び場の充実
3. 居住・住宅環境(道路環境を含める)の改善
4. 子育てに対する地域社会の理解の向上
5. 公共交通機関の充実

問36 「子育てをこんなふうにしてみたい」、「お子さんにどう育てほしいか」等、子育てについての希望や夢についてお聞かせください。

※母親、父親それぞれについてお答えください。(ひとり親世帯は該当する方のみお答えください。)

①母親 ()

②父親 ()

問37 近年スマートフォンやタブレットPC端末の普及が進んでいますが、子育てにスマートフォンなどのアプリを活用していますか。(○は1つ)

※活用している方は具体的なアプリの内容もご記入ください。

1. ほぼ毎日活用している → アプリの内容

2. ととき活用している

3. 活用していない

問38 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由に記入ください。

.....

.....

.....

ご協力、ありがとうございました。

切手を貼らずに同封の封筒に入れ、12月21日(金)までにポストへご投函ください。



2 小学生の調査票

【小学生保護者用】

湖西市の子ども・子育て支援に関するアンケート調査

【調査ご協力をお願い】

皆様には日頃より市政のご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。
さて、本市では、「子ども・子育て支援法」に基づき、平成27年3月に「湖西市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、様々な子育て支援事業に取り組みしております。現行計画は平成27年度から平成31年度までの5か年計画であることから、来年度には2020年度を始期とする次期計画を策定する予定です。
このため、市民の皆様の子育て状況や、子ども・子育て支援に関するご要望・ご意見を把握するべく、「湖西市の子ども・子育て支援に関するアンケート調査」を実施することとなりました。
この調査は、湖西市にお住まいの、小学生のお子さんをお持ちの保護者の方にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子ども・子育て施策の検討にのみ利用させていただきますので、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用することは一切ございません。
つきましては、ご多用のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年12月

湖西市長 彩山剛士

あなたの声か、子育てしやすく、子どもが健やかに育つ湖西市をつくりまします！

湖西市 子ども・子育て支援事業計画
5か年計画
「量の見込み（現在の利用状況+利用希望をふまえて設定）」
「実施方針（確保の内容+実施時期）」を記載

湖西市 子ども・子育て会議
調査等によって整備された利用希望等を考慮して、今後の計画を策定

子育て家庭
アンケート調査等により、子育て家庭の子育て支援の利用状況や利用希望等を把握

放課後児童クラブ、地域子育て支援拠点事業、一時預かり、病児・病後児保育等
幼稚園、保育所
認定こども園
小規模保育園、定額制保育等

放課後児童クラブ（学童保育）
ファミリー・サポート・センター

費用 月 5,000円～10,000円 ※施設によって異なる
内容 保護者が放課等により延滞家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するもの（地域によって学童保育などと呼ばれる）
費用 月額 600円～800円 ※利用日数により異なる
内容 地域住民が子どもを預かる事業

※上記は現在の制度の内容です。

●特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
●アンケートには、おさんの保護者の方がご記入ください。
●数字で時間を記入いただく際は、24時間制でご記入ください。例：午後5時～17時
●ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて
平成30年12月21日（金）までにポストに投入していただくようお願いいたします。

このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
湖西市 健康福祉部 子育て支援課
電話：053-576-1813（直通） FAX：053-576-1220

子ども・子育て支援新制度の目的

- 一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現
- 一人ひとりかけがえのない個性がある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることができる環境の整備
- 親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じるができるような支援

この調査は、子ども・子育て支援に関する各種事業・サービスについての「量の見込み」を算出するため、みなさんにご協力いただき、「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

*****サービスの利用希望のご回答にあたって*****
この調査では、保育サービスなどについての利用希望をおうかがいする設問があります。これらのサービスについては、**利用にあたり、一定の利用者負担が発生します。**利用希望のご回答にあたっては、以下の料金設定一覧表をご参照いただき、**利用料の負担やサービスの内容をご確認の上**でお答えいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【料金設定一覧表】

施設	費用	サービス内容等
放課後児童クラブ（学童保育）	月 5,000円～10,000円 ※施設によって異なる	保護者が放課等により延滞家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するもの（地域によって学童保育などと呼ばれる）
ファミリー・サポート・センター	月額 600円～800円 ※利用日数により異なる	地域住民が子どもを預かる事業

※上記は現在の制度の内容です。

あてはまる番号に○をつけてください。
なお、「その他」を選択された場合は、() 内に具体的に記入ください。

1. お住まいの地域についてうかがいます

問1 お住まいの地区はどちらですか。(○は1つ)

1. 藤津小学校区 2. 白須賀小学校区 3. 東小学校区
4. 岡崎小学校区 5. 知波田小学校区 6. 新藤小学校区
7. わからない（地区名をご記入ください：)

2. お子さんご家族の状況についてうかがいます

問2 おさんの生年月を数字でご記入ください。
平成 年 月 生まれ

問3 おさんのきょうだいは何人いますか。
※あて名のおさんを含めた人数を数字でご記入ください。
※時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制でご記入ください。
きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(○は1つ)
※あて名のおさんからみた関係でお答えください。
1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 この調査票に回答いただいている方の状況について (1)～(3)にお答えください。(それぞれ○は1つ)

(1) 配偶者について
1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

(2) 世帯の状況について
1. 核家族世帯 2. 三世帯世帯 3. その他()

(3) お住まいの状況について
1. 戸建住宅 2. 集合住宅 3. その他()

問6 おさんの子育て（教育を含む）を主にしているのはどなたですか。(○は1つ)
※あて名のおさんからみた関係でお答えください。
1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖母 5. その他()

3. おさんの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問7 日頃、おさんをもてらえる親族・知人はいますか。(○はい/つても)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをもてらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをもてらえる友人・知人がいる
5. いずれもない ⇒問8へ

問7で「1.」または「2.」に○をつけた方うかがいます。
問7-1 祖父母等の親族におさんをもてらえている状況についてお答えください。
(○はい/つても)

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
6. その他()

問7で「3.」または「4.」に○をつけた方うかがいます。
問7-2 友人・知人におさんをもてらえている状況についてお答えください。
(○はい/つても)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
6. その他()

問8 おさんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

1. いる/ある ⇒問8-1へ 2. いない/ない ⇒問9へ

問8で「1.」いる/あるに○をつけた方うかがいます。
問8-1 おさんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
(○はい/つても)

1. 配偶者 2. 祖父母等の親族 3. 友人や知人
4. 近所の人 5. インターネット（子育て支援サイトやSNS、LINE等）
6. 子育て支援施設（地域子育て支援センター等） 7. 保健所
8. 学校 9. 民生委員・児童委員 10. かかりつけの医師
11. 市の子育て関連担当窓口 12. その他（例：ベビーシッター）

問9 お子さんは携帯電話やスマートフォンをもちますか。(〇はいくつでも)

1. 携帯電話をもちている
2. スマートフォンをもちている
3. もっていない

問10 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からのどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。自由にご記入ください。

4. 保護者の就労についてうかがいます

母親についてうかがいます ※父子家庭の場合は記載不要です。⇒問12へ

問11 保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。(〇は1つ)

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	⇒問11-1へ
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	⇒問11-3へ

問11で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問11-1 以下の(1)、(2)の設問にお答えください。

(1) 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間を含む)を数字でご記入ください。日数や時間が一定でない場合は、最も多いパターンで、産休・育休・介護休業の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり	日	1日当たり	時間
-------	---	-------	----

(2) 家を出る時刻と帰宅時刻について、数字でご記入ください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンで、産休・育休・介護休業の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制でご記入ください。

家を出る時刻	時	分	帰宅時刻	時	分
--------	---	---	------	---	---

3

問11で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問11-2 フルタイムへの転換希望はありますか。(〇は1つ)

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問11で「5.」または「6.」(就労していない)に○をつけた方にうかがいます。

問11-3 就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけて、該当する選択肢には数字で記入)

1. 子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)	
2. 1年より先、一番下の子どもが_____歳になったころに働きたい	
3. すぐにも、もしくは1年以内に働きたい	
希望する就労形態	ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
	イ. パートタイム、アルバイト等(「ア.」以外)
	→1週当たり _____日/1日当たり _____時間

父親についてうかがいます ※母子家庭の場合は記載不要です。⇒問13へ

問12 保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。(〇は1つ)

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・介護休業中ではない	⇒問12-1へ
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	⇒問12-3へ

問12で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問12-1 以下の(1)、(2)の設問にお答えください。

(1) 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間を含む)を数字でご記入ください。日数や時間が一定でない場合は、最も多いパターンで、産休・介護休業の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり	日	1日当たり	時間
-------	---	-------	----

(2) 家を出る時刻と帰宅時刻について、数字でご記入ください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンで、産休・介護休業の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制でご記入ください。

家を出る時刻	時	分	帰宅時刻	時	分
--------	---	---	------	---	---

4

問17で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問12-2 フルタイムへの転換希望はありますか。(〇は1つ)

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問12で「5.」または「6.」(就労していない)に○をつけた方にうかがいます。

問12-3 就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけて、該当する選択肢には数字で記入)

1. 子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)	
2. 1年より先、一番下の子どもが_____歳になったころに働きたい	
3. すぐにも、もしくは1年以内に働きたい	
希望する就労形態	ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
	イ. パートタイム、アルバイト等(「ア.」以外)
	→1週当たり _____日/1日当たり _____時間

5. お子さんの病気の際の対応についてうかがいます

問13 この1年間に、お子さんが病気がけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。(学校を休んだ、通学できなかった等)(〇は1つ)

1. あった	⇒問13-1へ	2. なかった	⇒問14へ
--------	---------	---------	-------

問13で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問13-1 お子さんが病気がけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどのようなことですか。半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。(〇はいくつでも。日数を数字で記入)

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	_____日
イ. 母親が休んだ	_____日
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	_____日
エ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	_____日
オ. ベビーシッターを利用した	_____日
カ. ファミリー・サポート・センターを利用した	_____日
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	_____日
ク. その他()	_____日

5

問13-2 その際、「1」できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(あてはまる番号1つに○をつけて、該当する選択肢には日数についても数字で記入)

※病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	年間日数 _____日
2. 利用したいとは思わない	

6. お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます

問14 お子さんは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。(〇はいくつでも。週の利用日数及び「放課後児童クラブ」の場合には利用している時間を数字で記入)

※時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制でご記入ください。

過ごさせたい場所	日数
1. 自宅	週 _____日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 _____日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)	週 _____日くらい
4. 放課後児童クラブ(学童保育)※1	週 _____日くらい ⇒下校時から _____時まで
5. 放課後子ども教室※2	週 _____日くらい
6. ファミリー・サポート・センター	週 _____日くらい
7. その他(公園等)	週 _____日くらい

※1 放課後児童クラブ…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等によりは開室しない場合などは、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用には、一定の利用料が発生します。

※2 放課後子ども教室…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

6

問15 お子さんについて、小学生のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも。週の利用日数及び「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間は数字で記入）

※時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制でご記入ください。
※事業の利用には、一定の利用料が発生します。

過ごさせたい場所	日数
1. 自宅	週 _____ 日くらい
2. 祖父宅や友人・知人宅	週 _____ 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	週 _____ 日くらい
4. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 _____ 日くらい ⇒ 下校時から _____ 時まで
5. 放課後子ども教室	週 _____ 日くらい
6. ファミリー・サポート・センター	週 _____ 日くらい
7. その他（公園等）	週 _____ 日くらい

問15で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」に〇をつけた方にうかがいます。

問15-1 放課後児童クラブを利用したい理由は何ですか。（〇はいくつでも）

お子さんの身の回りの世話をしている方

- 現在就労しているから
- 就労予定がある・求職中であるから
- 家族・親族などを介護しなければならぬから
- 病気や障がいをもっているから
- 学生であるから
- その他（ _____ ）

問15で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」に〇をつけていない方にうかがいます。

問15-2 放課後児童クラブを利用していない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

お子さんの身の回りの世話をしている方

- 現在就労していないから
- 就労しているが、放課後児童クラブを知らなかったから
- 就労しているが、近くに放課後児童クラブがないから
- 就労しているが、放課後児童クラブに空きがないから
- 就労しているが、放課後児童クラブの開設時間が短いから
- 就労しているが、利用料がかかるから
- 就労しているが、子どもは習い事をしているから
- 就労しているが、短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから
- 就労しているが、他の施設に預けているから
- その他（ _____ ）

7

問14または問15で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」に〇をつけた方にうかがいます。

問15-3 放課後児童クラブに今後希望することは何ですか。（〇はいくつでも）

- 利用時間を延長してほしい
- 利用できる学年を延長してほしい
- 日曜日・祝日も開いてほしい
- 施設を整備してほしい
- 指導内容を工夫してほしい
- 費用負担を安くしてほしい
- その他（ _____ ）
- 現在のままでよい

問16 お子さんについて、現在利用している、していないに関わらず、土曜日と日曜日・祝日は、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

（〇は1つずつ。希望がある場合は、利用したい時間帯を数字で記入）

※時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制でご記入ください。
※事業の利用には、一定の利用料が発生します。

（1）土曜日

- 低学年（1～3年生）の間は利用したい
- 高学年（4～6年生）になっても利用したい
- 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯 _____ 時～ _____ 時

（2）日曜日・祝日

- 低学年（1～3年生）の間は利用したい
- 高学年（4～6年生）になっても利用したい
- 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯 _____ 時～ _____ 時

（3）長期休暇期間中（夏休み・冬休みなど）

- 低学年（1～3年生）の間は利用したい
- 高学年（4～6年生）になっても利用したい
- 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯 _____ 時～ _____ 時

問17 お子さんの、放課後や土日の過ごし方についてうかがいます。それぞれ主に誰とどのようにして過ごしていますか。（自由に記入ください）

①平日の放課後
[_____]

②土日等の休日
[_____]

8

7. お子さんの育ちをめぐるその他の支援についてうかがいます

問18 子どもの居場所づくりの一環として推進されている事業についてうかがいます。次の「A. ～C.」について、利用したいと思いますか。（それぞれ〇は1つ）

	すでに利用している	利用したい	な利用したくない	必要ないと思わない
A. 子ども食堂	1	2	3	4
B. 子どものための無料の学習塾	1	2	3	4
C. 子どものための無料の体験活動	1	2	3	4

※「子ども食堂」とは、子どもがひとりでも時間を過ごすことができ、無料あるいは安価に食事ができる場所のことを言います。

問18で「1. すでに利用している」に〇をつけた方にうかがいます。

問18-1 差し支えなければ、すでに利用している事業名、実施場所を教えてください。

具体的な事業名や実施場所
[_____]

問18で「1. すでに利用している」または「2. 利用したい」に〇をつけた方にうかがいます。

問18-2 そう思う理由は何ですか。（「A. ～C.」についてそれぞれ〇はいくつでも）

	理由
A. 子ども食堂	1. 家で食事を取れないときがあるから 2. 家族が少ないから 3. 近くにあるから 4. 交流ができるから 5. 経済的に助かるから 6. その他（具体的に： _____ ）
B. 子どものための無料の学習塾	1. 近くにあるから 2. 経済的に助かるから 3. その他（具体的に： _____ ）
C. 子どものための無料の体験活動	1. 近くにあるから 2. 交流ができるから 3. その他（具体的に： _____ ）

9

問18で「3. 利用したくない」または「4. 必要だと思わない」に〇をつけた方にうかがいます。

問18-3 そう思う理由は何ですか。（「A. ～C.」についてそれぞれ〇はいくつでも）

	理由
A. 子ども食堂	1. 家で食事ができるから 2. 家族が大勢いるから 3. 近くないから 4. 知らない人と関わりたくないから 5. 貧しいと思われたくないから 6. その他（具体的に： _____ ）
B. 子どものための無料の学習塾	1. （有料の）塾に通っているから 2. 家族や親族で間に合うから 3. 近くないから 4. 知らない人と関わりたくないから 5. 貧しいと思われたくないから 6. その他（具体的に： _____ ）
C. 子どものための無料の体験活動	1. 習い事やクラブ活動などで忙しいから 2. 地域の行事で十分だから 3. 近くないから 4. 知らない人と関わりたくないから 5. 貧しいと思われたくないから 6. その他（具体的に： _____ ）

問19 あなたの世帯は何人で暮らしていますか。（単身赴任や進学などで一時的に別居している方も含む）また、世帯員の内訳と生計関係についてもお答えください。
※生計を別にする世帯員には「別」とご記入ください。

【記入例】

お子さんからみた続柄	祖父母	父母	兄弟姉妹	おじ・おば	その他
人数	2人	1人	1人	1人	0人
生計が別				別	

【解答欄】

お子さんからみた続柄	祖父母	父母	兄弟姉妹	おじ・おば	その他
人数	人	人	人	人	人
生計が別					

10



湖西市
子ども・子育て支援事業に関する
アンケート調査報告書

発行日 平成31年3月
発行元 静岡県 湖西市 子育て支援課
住 所 〒431-0492 静岡県湖西市吉美 3268 番地
TEL 053-576-1813 (直通)
FAX 053-576-1220
URL <https://www.city.kosai.shizuoka.jp/>

